(明治四十八年十二月五日第三種郵便物認可)

滿洲日報 夕刊 九月二十九日

我軍撤退時期決定の委員會新設に同意す

我代表領土的野心なきを斷言

きのふの聯盟理事會

【ジユネーヴ二十八日發】國際聯盟理事會は二十八日午後の會議で滿洲事變に關する討議を再開、先づレルー議長と芳澤日本代表の王正廷氏遭難に關する慰問演説あり、次で更に芳澤代表は滿洲における日本軍の撤退は確實に行はれつゝあり予は日本代表として何等領土的野望を有せずと斷言すと述べ次で支那代表施肇基氏立ち日本軍總撤退の期日を聯盟において確定されんことを望むと提議し芳澤大使はこれにつき本國政府に訓電を求めやうと約した結果、理事會も新委員會を設置して右期日確定につき研究せしめることに同意した施肇基氏は更に日本軍撤退期日決定委員會には日支兩國のみならず中立第三國からも委員を選定したいと述べ、芳澤大使は憤然これに反對し茲にこの問題は停頓状態に陥り、ために議長は日支紛爭に關し今日まで理事會が爲した努力及び兩國の態度に關し公正なるステートメントを作成しこれを二十九日の聯盟最終總會に提出發表するであらうと宣し閉會した

保障程度に應じ撤兵

芳澤代表會議劈頭に聲明

【東京特電廿九日發】ジユネーヴ發電によると、芳澤大使は廿八日の理事會劈頭大要左の如き聲明を爲した

前會議にて余は日本は在留民に危險を感ぜざる範圍にて撤兵する覺悟あり又支那は外人保護の責任を執ると宣言した、吉林における日本軍は金曜日(廿五日)余が理事會に報告した後更に撤兵を行つた、吉林、奉天以外で鐵道地域外に尚駐在せるは新民屯と鄭家屯のみである、日本は事件の現場及び解決の方法を詳しく理事會に報告するであらう、現在の状態にあつては他の方法は全く無用と信ずる、日本政府は邦人の生命財産の安全保障が出來る程度に應じて撤兵する意向で之が實現の速かならん事を切望する

日本を誣ふる支那の回答

米國務長官に提出

【ワシントン二十八日發】滿洲事變に關する米政府の通牒に對する支那政府の回答文は本日支那公使館を通じ國務長官スチムソン氏に提出された、その內容左の如し

日本軍の侵略的行動の結果、支那の領土は侵害され或る場合の如きは掠奪の暴學を受け、支那公吏及無辜の市民にして或は侮辱を加へられ、或は負傷を受け又は虐殺された者もある、現に米國々務長官スチムソン氏が支那へ通牒を發せられたる去る二十五日にも奉天、北平間の鐵道において支那側客列車が飛行機よりの爆彈投下機關銃の亂射を浴びて多數の被害者を出したのである、而して日本軍の戰事行動は今なほ繼續して居り日本側が國際法を滿足せしむべき途は發見されてゐない、支那は日本軍が即時完全に撤退し支那政府及國民に對し損害賠償陳謝その他によつて充分滿足を與へられんことを期待するものである

對米回答

聯盟支持要望か

【ワシントン二十八日發】本日支那公使館より米國務長官スチムソン氏に提出された滿洲事變に關する米政府の通牒に對する支那政府の回答文においては支那政府はケロッグ不戰條約並にその他國際的諸條約は支那の現在の立場を支持するものなりとの見地から滿洲事變に對し右諸條約の精神を喚起せんことに極力努力しつゝありと解せらる、右支那政府の回答提出後駐米日本大使出淵氏は同じくスチムソン氏に對し日本は支那に對して毫も戰爭を構へる意圖なく事態を制御するに全力を盡しつゝある旨を聲明せる日本政府の回答を手交した

寫眞說明

(上)に林出征軍慰問に向つた江口滿鐵副總裁、廿八日朝十時吉長線プラットホームにて、向つて左副總裁、伍堂滿鐵理事、南里本社特派員、八木副總裁秘書(下)長春驛頭における貴族院議員團一行向つて前列左より二人目ステッキを手にせる黑外套姿が團長大久保立子爵

中村大尉事件の「責任者關玉衡」

威張りちらして評判の惡い男

日支衝突の一原因である中村大尉事件の責任者たる屯墾軍第三團長關玉衡(三二)は吉林双城縣生れで屯墾督辦の鄒作華氏と同郷關係で砲兵科に身を投じ奉天講武學堂の第四期卒業である、郭松齡事件の折は少校で鄒氏の副官を勤めて居た、其後中校に昇進し軍械處長に就任した、其後鄒氏の屯墾督辦に任ぜらるゝや共軍務處長に補せられ陸軍砲兵上校となり今年五月頃前任趙三團長病氣にて歸奉するや其代理となり間もなく大事件を惹起したのである、關玉衡の性質は非常な惡人といふよりも輕率で空威張りする方で同僚や部下にも氣受けがよくなかつた、寫眞は民國十七年鄒氏の砲兵司令部が北京城外萬壽寺に在つた時、同所で撮影したもので、中校中隊處長時代のものである

南京政府が密にわが意嚮を探る

齊世英氏が既に渡日

【南京二十八日發】國民政府は滿洲問題に關する日本朝野の意嚮を探るため齊世英氏を極秘裡に二十五日渡日せしめた

駐米我大使館撤兵を言明

【ワシントン二十八日發】駐米日本大使館は滿洲事件に關し記者團に左の如く言明した

日本軍は既に新民屯及鄭家屯から撤退した、目下吉林及奉天に一部軍隊が留まつてゐるに過ぎない狀態である

經濟絕交徹底決議

上海市商會で

【上海特電二十九日發】上海市商會は昨日臨時特別會員大會を開催し國難に關し國策を討論の結果中央政府へ對日出兵を請願、廣東政府に妥協勸告等を決議した外

一、對日永久經濟絕交を徹底させるため對日經濟絕交委員會を組織す

一、錢業公會に日本銀行との取引中止を通告し違反者は民衆裁判により處罰す

等を決定し、出席代表は即日一切の日本品を購買せざる事を申合せ、なほ同會では昨夕在滬各國商業會議所代表約三十名を招待し日本軍の行動につき報告した

學生軍事教育施行準備を命令

【上海特電廿九日發】南京來電に依れば蔣介石氏は學生運動の昂るを抑へ切れず國民軍事教育處長に對し中學校以上の學生に對する軍事教育施行の準備を命じたが、

學生運動の裏に共產黨動く

【南京特電廿九日發】學生運動の背後には共產黨の手が動いてをり排日救國の名のもとに蔣介石政府打倒の陰謀あり、政府當局は日本領事館乃至邦人襲擊の作戰に出づべしとも傳へられるが、支那當局は民衆の愛國運動抑壓は反つて彼等の憤慨を增す惧れありとて居留民保護はするか反日取締は出來ぬといつてをり王正廷氏が學生に襲はれ流血の慘事を起しても何等停止の方法を講じなかつた事實は正に國民政府が民衆を取締る事の出來ぬ證據で邦人の不安は益々たかまりつゝある

王外交部長生命に別條無し

【上海廿八日發】南京における學生暴動事件で王正廷氏重傷せる事は既報のごとくであるが、その後我領事館に達した公報によれば學生暴徒は午前十時半外交部警衛の巡警を叩き伏せ亞細亞司長室を目茶々々に破壞した後外交部長室に闖入し折柄執務中の王氏を棍棒で毆り倒し王氏は頭部に重傷を負ひ昏倒したものである、日本領事館はこの暴徒の襲來を惧れ時を移さず支那公安局に保護を要求し百餘名の武裝警官隊急派され來り警衛に當つたが暴徒は解散しなうつて國府に向ひ領事館は事なきを得た上海より來た學生代表は南京學生と共に「聯盟における失敗は王の責任である」と王打倒のビラを全市に貼り廻り形勢險惡である、なほ王氏の負傷は相當重傷なるも生命に別狀なき模樣である

宣戰請願學生團

六千名南京へ向ふ

【上海廿八日發】交通大學々生を中心とする學生五千名は對日宣戰布告の第二次請願團として南京に赴くべく停車場に殺到、鐵道當局に特別列車仕立を要求し鐵道當局及び公安局は事件の發生を虞れ之を制止する能はず十時までに特別列車を三回に仕立て三千名を出發せしめ殘り二千名は十一時の普通急行で出發せしめたが學生等は猛烈な勢ひで殘り立つ抗日運動の限りを盡し猛り立つ抗日運動に拍車をかけてゐる、二十九日朝南京着蔣介石氏に會見を強要し

一、對日即時宣戰布告

二、王正廷彈劾

三、張學良の處罰

その他七ヶ條の猛烈なる反日決議を突きつけ實行を要求するはず

鄭家屯の治安維持

公安隊が當る

【鄭家屯特電】二十八日午後四時鄭家屯に於て我が駐屯隊長は領事館に領事、李商業公會長、新治安維持會常務委員の三名を招致し左の如く通達した

一、臨時公安大隊長を任命し日本軍憲兵直接指揮の下に公安隊に當ること

二、治安維持方法に就いては從來の慣習に從ひ一切は隊長において全責任を負ふことを誓約せしむること

三、公安隊には差當りさきに解除の小銃五十挺を貸與すること

【鄭家屯電話】

黒龍江省その他でも獨立宣言を準備

省行政刷新を目的として

吉林省熙洽參謀長の吉林獨立政府組織宣言は全く從來の東北政權から離れ獨自の立場より省行政に當らんとするもので一般省民より歡迎されて居るが、吉林省の獨立宣言と共に日和見的態度を執つて居た黒龍江省その他各方面においても吉林に倣つて省行政刷新の意味でそれぞれ獨立を宣言すべく諸般の準備を進めて居る【長春電話】

遼寧省政府の移動愈よ準備に着手す

米春霖氏錦縣へ赴く

【天津特電廿九日發】遼寧省政府は愈々錦縣に臨時政府移動設置に決し、新任代理主席米春霖氏以下建設廳長彭濟群氏、財政廳長張振鷺氏、省政府委員邢士廉氏等は昨夜十二時當地を通過錦縣へ向つた米春霖氏は語る

余今回の錦州行きは省政府維持のためだ、臧式毅氏は奉天にあるが職權を行使せず事務停滯し全く無政府狀態に陥つてゐるので張副司令が取敢ず自分に命じた譯だ、自分は萬事中央と歩調を一致してやつて行くつもりだ日本軍が若し現在の占領範圍を擴大して更に前進するが如き事あらば我方としても已むを得ず正當なる防衛手段に出るかも知れない

南京妥協使節廣東到着

【廣東特電二十八日發】南京と廣東の和平解決を圖るため南京代表として南下した張繼、蔡元培、陳銘樞三氏は本日香港に到着した、尚學良氏秘書朱光沐氏は天津から米氏等と同行した

之に對し廣東側から汪精衛、唐紹儀、孫科三氏が香港に赴き同地で交渉を開始するが妥協條件の要點は

一、蔣介石氏は主席を辭するも總司令は留任す

一、王正廷氏は外交部長たらしめる事

といふにあると云はれてゐる

全國在鄉軍人に蹶起を促す

第一師團管下支部大會宣言

【東京二十九日發】滿洲事變の勃發に鑑み在鄉軍人會第一師團管下聯合支部では二十七日靖國神社に大會を開き宣言を發し全國三百萬在鄉軍人の蹶起を促したこの結果近く全國代表東京に參集滿蒙問題に對し態度を決する事となつた

「承王府は支那軍隊で嚴戒」

【北平廿八日發】市民大會示威行列を終つた學生の一團約一千名は午後二時半副司令部行轅に押し寄せ張學良氏に面會し日支開戰の決議文を手交せんとし同署門內に頑張つてゐた、急を聞いた順承王府では學生が同方面に押寄せん事を惧れ軍隊憲兵多數を以て同所を固め門前には輕機關銃を据え附近の交通を禁止し物々しき陣を見せた

學良氏代表と會見

【北平廿八日發】副司令部に押寄せた北平學生團は、學良氏の代表として會見した載秉然氏に市民大會の決議書に東北政府撤廢の要求を……

蛇角

全支に亘る反日と慘虐とその損害、倍加する赤字、それは誰が征伐する、今度は下駄船から火花が飛ぶ番だ。

◇

女房から亭主を離縁した、遼寧の亭主にはもうこりた、女房のための亭主が欲しいと遼寧省民衆はいふ。そんな亭主はないか。

◇

王正廷は棍棒で毆られた瞬間に自己の畸道外交を知つた、蔣介石は斬られてから檣道政治を覺るそうである、學良は漸くにして知つたが、既に生きたるミイラとなつてからではもう遲い。

◇

生きたるミイラが泣き出した、とられた菓子の味はうまい、南京は面目上その涙を拭いてやる。

◇

事變で競馬はのびた、騎師らに秋に肥えてアクビをして居る、理事長は馬よりもいゝ味を覺えた。

人事

▲矢野恒太氏(第一生命社長)二十九日午前十一時半入港のはるぴん丸にて來連

▲竹內寬氏(陸大教官)同上

▲井上輝夫氏(滿洲恐慌會社專務)同上輸連

▲宮下忠雄氏(關東廳醫院眼科醫長)同上

▲相川米太郎二(議士)同上

▲松本松五郎一座二十九名同上

▲川村龍雄氏(大汽上海支店長)二十九日午前十一時出帆の大連丸にて上海へ

▲旭川視察團一行十一名 同上

▲首藤正壽氏(滿鐵理事)事務打合のため廿八日夜奉天へ

吉林敗走兵五常方面へ移動

吉林の北方五常と吉林の間に約一個旅の支那敗殘兵が集結し附近土民より食料その他の徵發をなし漸次五常の方面へ向つて移動しつゝある【長春電話】

對馬上海到着

【上海二十八日發】軍艦對馬は定時頃無事錨會した

書を交附し更に午後四時半から市內游行を行つて氣勢をあげ午後六時頃無事散會した

東亞の謎 (15)

國枝史郎 挿畫 伊藤順三

犠牲の女 (二)

ダットと武村とは奥へ通り、それから二階へ上つて行つた。

武村の居間の前まで來ると、武村は鍵を出して錠を開けた。

部屋へ這入ると武村は、加工的の嚴しい錠をかけて、部屋のソファーに腰をかけて古雜誌を讀んでゐた光子の顏を、先づダット眺みつけ。

「どうだ、すべた、寂しかつたらう」

するとも光子は媚を含んだ、甘へたやうな笑ひ方をしたが

「えゝ隨分寂しかつたわ」それからダットの顏を見ながら「お客樣いらつしやいまし」そこで一層媚をつくり「ねえ貴郎、お茶でも入れませうか」

「うん、さうだな、入れて貰はうか」

「待て待て、チエッ、てめえではいけねえ!」

「あら何うして、いゝぢやないの」

……

(以下、小説本文判読困難)

外國人を暗殺して奉天擾亂計畫
列國干渉の口實を狙ひ張氏から密命

二十六日以來張學良氏より二、三十名の密偵を奉天に放ち奉天の治安を擾亂し我軍の行動を密かに探査しをることは既報の通りであるが、その密偵張德勝の學良氏より受けた任務はその目的のほか英、佛、獨、米、露の各國人を暗殺し奉天を擾亂の巷と化し列國をして干渉の口實を與へしめんとするものであると傳ふ【奉天電話】

香港の邦人 軍艦派遣を要請
場合により全部引揚 依然無警察狀態續く

【香港廿八日發】在留日本人會の陳情により邦人警備のためイギリス軍六十名增派されたが、暴徒の跳梁依然はなはだしく邦人の避難留守宅は破壞掠奪され通行邦人毆打さる等依然たる無警察狀態で日本人會では本日も非常理事會を開き外務省を通じ帝國軍艦の派遣方を要求し場合によつては在留民全部の引き揚げを斷行するに意見一致したので香港政廳長官の意向を確めた上手配する模樣である、邦人會社銀行の支店を除く一般在留民全部は日本人小學校に九百名千歲ホテル、九龍三菱住宅、邦船淺間丸に各百名、その他各ホテル本願寺碇泊邦船に各十名宛收容してゐるが、邦人の外出市場の買出し等不可能のため食糧饑饉の叫び各方面に揚り不安は刻々加はりつゝある暴動による邦人死傷判明の分は死者八名、重輕傷者十五、六名である

廣東でも人心惡化 沙面に引揚げ

【東京二十九日發】在廣東遠藤領事館通信員二十八日發電によれば廣東の人心惡化し在留邦人全部沙面に引き揚げた

い、又官憲は奉天事變の死者及び又二十六日の列車遭難者中苦力の死體の腕類を切取り當地驛前に置き日本軍の所爲なりとして群衆の反日感情を高めてゐる

上海租界境に支那兵駐屯
陸戰隊と對抗計畫か

【上海廿八日發】今朝十時頃共同租界の東方街外れにある邦人經營中華電氣工場に淞滬警備司令部の支那正規兵約四百名が來り附近の警備に當るから我等の駐屯所として工場(休業中)を貸して呉れと申込みしも邦人番人はこれを謝絶するや附近支那家屋を宿舍として駐屯する事となつたが、多分租界外に日本陸戰隊進出の際は武裝對抗せよとの中央からの指令に基くものらしく附近には紡績工場多數あり我陸戰隊にてはこれを監視してゐる

邦人外出の差留要求
危險極る南京

【南京特電二十九日發】本日の學生暴動は上海各大學代表三十名の使嗾煽動によつたものだと斷ぜられてゐる、上海學生代表は之によつて對日宣戰の請願を達成するまでは上海各大學々生六千を上京せしめ野營しても政府を督促すると決意してゐる程で之に連れ一般の對日惡感は加速度的に惡化し邦人の外出危險となり外交部は領事館に對し邦人の外出差留めを要求して來た、在城内にある邦人は領事館員陸海軍武官新聞記者のみで他は今部日清汽船ハルクに生活してゐるが、數來邦人に對し嚴重な糧食不賣運動起り愈々生活まで脅かされるに至つた

出稼ぎ苦力續々歸る
關内へ避難民

【天津特電廿八日發】奉天事變以來關内への避難民は每日三個列車に滿載今朝までに當地を通過したる總數は三萬五千九百餘に達しその

天城丸 門司歸港

【東京特電廿九日發】支那水災同情會の天城丸は傭船料其他の費用十餘萬圓は空費して空しく昨夜門司入港總間使深尾隆太郎男も二十八日午後四時五十五分東京着と共に直に緊急會議、議員倶樂部で委員會を開催幹部全部出席の上深尾男の報告を聽取し贈品の處置に就き協議處分法を決定し六時半散會した

寄附金は返還

【東京特電二十九日發】支那水災同情會本部の二十八日受付寄附金總額は四十九萬六千百五十二圓で大阪各地未着分十五萬圓に達したが處分方法は總額中三十萬圓で購入した白米毛布其の他は現金に替へ名前のわかつた人達には返金無名氏の義捐金は全部同情會に寄附する事となつた

宮下醫長歸る

本年一月留學を命じられ歐洲諸國を歴遊し科治療手術を研究した旅順關東廳醫院 科醫長宮下忠雄氏は二十九日入港のはるびん丸にて歸連した

敗兵、西安で邦人婦女虐殺說
鐵嶺領事館で調査命令

西安大瘟疫の居住邦人は一部十四名のみ開原に避難したが、なほ幾留ぜる者あり何れも避難準備中であつたが突如二十七日約一千名の敗兵集團同地に流れ込み暴行掠奪を開始し殊に邦人に對する暴行甚だしく遂に邦人婦女一名(氏名不詳)は彼等の毒手に罹つて虐殺され他の者は全部縣公安隊に避難保護を受けてゐるが當時の狀況不明につき鐵嶺領事館では西安出張所に對し至急眞相調査を命じた【鐵嶺電話】

秋冷深まる 昨年よりは暖い
氣溫は上つても永續せぬ

二十八日の明け方から急に寒さが加はつて早くも合オーヴァーを着た姿が增えた、この天候の急變について若草山觀測所の話を聞くとこれは氣壓配置の急な變化のためで廿七日渤海に起きた低氣壓は日本東海岸を北東に進行してゐた七百四十四ミリの颱風と合流して東方へ進みその後へ蒙古內部に發生した七百六十五ミリと云ふかなりの高氣壓が漸次發達して行つたゝめ、風の方向は北にまわり、今まで暖かゝつた滿洲地方は急に溫度が下ることゝなつた

廿八日の最低溫度は大連が一〇度三長春が四度九で滿鐵沿線は大體この間の溫度をとつてゐるものと思へばよい、天候は日本內地より滿鮮地方まで一樣に、曇りがちで所々驟雨をもよほしてゐる所もある、しかし溫度の點から云ふと昨年よりもむしろ暖かい方で、決して秋の深まるのが早いとは云へない、今後の模樣は、今朝の灘に依ると高氣壓は南下して揚子江流に移つたから風も西から南へ移るものと思はれ、從つて溫度も幾分昂るものと思はれる、しかしもう十月も迫つたことであるから天氣も段々大陸性氣候の特徵を發揮し、暖かくなつても長續きはせず所謂三寒四溫的な形式をとる

長春に初霰

長春における溫度昨夜來急に低下し北滿都市らしい朔風に襲はれてゐる廿九日このシーズンの最低溫度四度二を示し、午前十時過ぎより初霰がバラ〳〵襲つた、駐箚の軍隊も急激の溫度の變化に閉口してゐるが、バラつく霰の中に軍隊中にすつかり冬仕度に移る等【長春電話】

講會不始末の告訴が激增
調査員を設けて內偵の上 嚴罰主義で取締る

深刻な不況のため最近庶民金融機關たる講會が續々不始末を露し告訴沙汰となつて每日大連署司法係に二三件の訴狀が提出されてゐる、これ等告訴の內容は最初から詐欺を目的に架空人物を會員に加入せしめ落札後掛金を怠り尻尾を出したもの、講長の橫領など悪辣な手段によるものが多く被害者多數に上り某知名士に絡る講金橫領事件なども發覺したもの、如く目下司法係が鋭意取調べを進めてゐるが大連署では細民階級に打擊を與へるが如き非社會性の犯罪は年末を控へて斷然嚴罰主義をもつて臨むこととなり特に不正講會調査員を設け徹底的內偵を行ふこととなつた、更に最近また不許可の講會が簇出し八月以來告發處分されたもの十數件の多數に達してゐる

躍如たる綽名『うさぎの參謀長』
一齊射擊の板垣高級參謀 關東軍オンパレード

本庄軍司令官の片腕となつて計帷幄の中に廻らし、一萬二千の鐵騎を滿洲の曠野に縱橫に動かしてゐる三宅參謀長、この人は陸軍省時代に省詰の新聞記者達から「うさぎ」といふニックネームを頂戴した、由來は三宅さんは非常に丁寧で、廊下トンビの記者連に摑まへられていろんな質問を受ける際決して立止まつて突つ立つたまゝでは答へないで、チョコ〳〵と走つて質問者の下風に立ち、丁寧に擧手の禮をした上で返事をする、そのこまめな動作が素目な記者達に親み深い「うさぎ」の綽名をつけられたのだが、こんどの日支事件で東拓樓上の參謀長室に收まつてゐる三宅さん、面會人の隙を覗らつて覗する記者連との立話にもこの癖が拔けず、チャンと對話者と位置を代へ、擧手の禮をしてから話を始める樣子がニックネームそつくりの「うさぎ」……◇……

三宅參謀長を補佐してゐるの首腦板垣高級參謀は、昭和三年聯隊長として奉天に駐なつた人で、無口だが豪快な河本大佐の後を繼いで高級する豪快さで、練兵の時は大音聲を張り上げ「射てッ」と命ずると必ず張學良官邸を一齊射擊をやつて衆人のド拔いたものだが、颯爽たるんの馬上姿を知つてゐる

人「もう一度あの人を聯隊長に……」……◇……における劍法の創始者」と謂れてゐるが、新井少佐參謀……太鼓腹を突き出して……と歩くところを布袋さんコロしてゐるやうだが、見かけによらぬ敏捷さで劍道は四段、劍道の創始者だといはれる、この人、試合で鍔ぜり合になると、きッと對手の睾丸を蹴上げる妙手を出し、驚勝を占める「變な劍法もあるものだなア」と對手が首を捻るさん濟ましたもので「あれぢやア、あれを必ずやるんだ」鍔ぜり合の時に必勝を期す太鼓腹で語られて、睾丸を蹴る新戰術を日支事件で應用……さうと知人間で囁き合ふ(以上は三宅參謀長)

赤露から脫出した露人送還され來る
虐殺されるから樺太へ逃げた 甲板に集り心配顏

二十九日入港のはるびん丸でソウエート、ロシアを脫出し南樺太に逃げ出して來た十二人のロシア人が神戶から送還されて來た、何れも二十代の至つて質朴な若者揃ひで「皆獨身か」と問へば「さア、一人々々聞いて見なければ解らない」と答へる程の暢氣さ、それでも今後の身の振り方を心配して何とかして仕事にありつけないものかと甲板に集まつてしきりに相談してゐた、百姓や、漁師や脫獄者などが混じつてゐる、團長格のラードとは語る

沿海州のラゲルから脫け出して來たのです、六人の一組は四ケ月前に船で南樺太にたどりついて他のものは一ケ月半前に思ひ〳〵に逃げ出して北樺太から徒歩で來たものもあります、何故逃げたかつて?虐待されるからです、それに職業はなし金はないし稀に職業にありついても月六留位の收入ではとても食へません、上海には避難民協會があつて世話をしてくれると聞いたからそこに行きたかつたのですが、行くことが出來なくて送還されて來ました當地の避難民協會を訪れたいのですが何でも支部長が最近死んで現在あるのか無いのか解らないとのことで心配してゐます、われ〳〵の中には鍛冶屋もゐるし自動車の運轉出來るものもゐるし音樂の出來るものもゐるから何とか當地で職業にありつきたいと思つてゐます【寫眞は送還されて來た一行】

世界難局を說く
矢野第一生命社長來る

第一生命保險相互會社々長矢野恒太氏は……

う、この世界的經濟難に善處するにはやはり英國の如く政治家……

か、或はそれは反動的議論だと思ふ、獨逸のバウルハッターだつたか、現在は資本主義の黎明期だと云つてゐる、卽ち資本主義は未だ子供の時代でこれから成長するので其の間に色々缺點も現はれるだらう、現にレーニンの行つた共產主義もスターリンに至つて資本主義化し後退せざるを得なくなつてゐるぢやないか、尤も成長期にある資本主義社會にも色々缺點もあるから俺だつて大學を出たばかりの若者なら共產主義者になつたらう大連で講演會をするさうだが俺は財界の前途についてこの點を少し論じてみたいと思ふ(寫眞は矢野恒太氏)

に來たのだが僕の來連はこれで五、六回目だ、日支時局かれ、振り上げた拳固なら下さればならぬ、大體我々から云へば支那の問題は寧ろ小さい問題で今の世界難局に際してこれ位のことが解決出來ないやうなら日本は潰れて了つても仕方がない、英國の財政破綻は世界の大問題だ、銀問題とからまつて實に經濟界の前途は暗たんたるものだ英國の金本位廢棄聲明から既に爲替は四弗を割つたらう、平常五弗近いものが二割以上も下るのだから、新平價の國なら良いが諸國の蒙る影響は大きいだら

橫斷機淋代へ

【東京二十九日發】パングボーンハンドン兩氏の太平洋橫斷機は午前九時五十五分橫斷出發基點淋代に向つた

昨日から出火頻々

廿九日午前二時二十分市內若松町五八番地張寶珍方から出火し折柄の北風に煽られて同家木造建三坪を全燒した原因は目下大連署で取調中

◇廿九日午前四時市內千代田町三六番地鐵工職孫仲泉方から出火、木造建四坪を全燒した、原因は小業の火の不始末から

◇廿八日午後九時二十分市內若狹町六三番地松本西次郎方大工小屋から發火し直に消止めたが煙草の吸殼が鉋屑に燃え移つたものである

◇廿八日午後四時二十八分市內黃金町九六番地魚 稗彥方風呂場から出火し炊事場の一部を燒いたのみで消止めたが原因は煙突の不始末から

密告したと毆り込む
苦力が兇行

廿八日午後六時三十分大連市內華鑛隊會第七十九番戶小野田セメント會社苦力金士殿(三)は仲間の范先順(二七)方へ暴れ込み棍棒で頭部を滅多打ちに長さ一寸五分深さ骨膜に達する重傷を負はせこれを引止めた被害者の妻林氏(三)をも毆打重傷を負はせて逃走した、急報により小杉巡査駆けつけ加害者金を逮捕した

兇行の原因は金は將來の不頼漢で二十七日華鑛巡派出所警官から說諭されたがこれは被害者范が密告したものであると誤解した結果である

大連神社の祈念祭

今回の日支衝突事變に關し大連神社では二十九日午前十時から國威宣揚平安祈念祭を執行した、水野神官の祈詞に次いで山中大連民政署長代理、眞鍋市長代理、田中前市長、有賀滿鐵總裁代理その他氏子役員多數の玉串奉献あり極めて嚴肅に行はれた

汎太平洋產業博覽會 東京で開催計畫
昭和十年に大々的規模で

【東京特電廿九日發】今回東京府市商工課が相諮つて政府その他の後援下に汎太平洋產業大博覽會を東京で開催の大計畫を進めてゐる、期日は昭和十年三月十五日より六月廿五日まで會場面積二十萬坪總費九百五十萬圓の豫定で民間有力團體に主催させることになつてゐる、出品は教育、社會、美術、學藝、交通、運輸各種產業等凡ゆるものを網羅し參加を勸誘する國は北米、中米、南米、其他中國、オーストラリア、シヤム、ニウジーランド、ボルネオ、スマトラ、佛領印度支那、海峽植民地その他で餘興として運動、技藝音樂其他の設備もする

南西の風 晴時々曇

各地溫度

	廿九日午前十一時	廿八日最高
大連	一五、一	一六、三
旅順	一四、二	一九、六
營口	一四、六	一七、六
奉天	一三、〇	一七、〇
長春	七、九	一三、一

滿潮(午前 零時 午後 六時)
干潮(午前 五時 午後 五時五十五分)

けふの小洋相場(正午) 金百圓は二三九圓一五錢

暗流阿修羅館 200

生田蝶介　挿畫　藤井耕達

田沼問答(四)

「侍はあまり行つて居なかつたでせう」

「はい」

新左衛門は俯向いて笑つた。

「遊び人、職人のやう、客が多いと云つて、おかげで大變にもてました」

「さうでせう、鶴が下りたやうなものですから、以左見屋も格が上つたわけです。喜んだでせう」

「やはり、さういふところでなければもてません、いゝところへ行つてれこかした食はせられたらいゝ氣持はしませんからな」

「なかなか通な廊言葉をご存じですれ」

「昨夜覺えたばつかりです」

と、新左衛門は急いで賺解した。

そして二人が聲を立てゝ笑つた

「以左見屋、と」

と、奉行は一人言のやうに云つて、右手の机の上の、積み重なつた書類を見た。それは何でもないよくある仕草であつたが、新左衛門の目はちかりと光つた。それを由比は見たかどうか？

「それから」

と、奉行はまたこちらに顏を向けた時は、新左衛門は、やはり薄笑ひをしてゐた。

「一昨々日、章信が、行方不明になつたのです」

「何處で、どうして」

「さ、それがわからないのです。霞原へ行く道すがら駕籠をすりかへられてしまつたのでせう」

「……」

「これも田沼老人は、秘か、秘の部下がしたことだと睨んでゐるやうです、が、こちらは一向に摑えがないのです。老人の方から、もつと、思つてゐるだけでなく、お前の仕業だらうとぶつつかつて來てくれると、こちらから切り込み様もあるのですが、いまあるきつかけを待つてゐる形です」

「もし章信殿が、私の目附だとすると、そして、私が、それを飲付いてゐると思ひ込んでゐるとすると、田沼殿は私に嫌疑をかけてゐるかも知れませんれ」

「なる程、これは大きにさうかも知れませぬな、それは面白い、それでは貴方と私とで老中にぶつつかつて行きませうか」

と云つて、また奉行は、書類の方へふりかへつて、積み重ねたものを二三下すと、そこに、折り疊んだ小さい紙片が出た。

奉行は紙片をとると、

「これが、その、霞原で、章信の駕籠から、章信の代りに出たものです。見て下さい」

章信を連れて行く、といふ短い手紙である。

「これは、なかなか美事な手跡でござるな。小賊輩の、章信の懐に目をつけての仕業ではありますまい。よほど、陰にかくれた大きなものがあるとおもひます」

「貴方もそのやうにお思ひですか。この書の容子では……」

「殿様！」

この時、はじめて由比が口を出した。いままでおとなしく二人の會話をきいてゐたのであつた。

奉行は由比の方を見た、比由は奉行のうしろの方へ黙つてゐたのであつた、

「これを」

と、由比は懐から、書入れを出した。

「これを」

もう一度云つて、とり出したのは、同じやうな懐紙に、何か書いてあるものであつた。

「ごらん下さい」

二人は、のぞき込むやうにしてそれを見た。

奉行は受取ると、

「あゝ、いゝ匂ひだ」

と云つた。麝香の香が染みてゐる。

キネマと演藝

現代映畫の全盛期

時代劇は下火

本邦映畫は時代物と現代物と比較すると一昨年迄は時代物全盛時代であつたが時代につれて昨今は現代物が時代物を壓倒して來た、昭和五年度の內務省の檢閲に於ける統計を見ても時代物は四十九パーセントに對する現代物は五十一パーセントとなつてゐる、この時代物に對し現代物が稍優勢なる現象は五年に於て始めて見る現象であつて從來は常に時代物は現代物を壓し昭和四年に於て時代物五十三パーセントに對し現代物四十七パーセントであつた、本年に入つていづれも大體りとつた形勢を見ると現代物よりも遙かに多いなは米國映畫にあつては現代物は僅九十四パーセントで時代物は僅かに六パーセントに過ぎない、現代各國は現代物八十二パーセント時代物は十八パーセントといふ數字を見せてゐる

軍人慰問の歌舞伎劇

卅日から大劇

大連消防組にては大連新聞社後援にて東京梨園の若手人氣俳優松本松五郎一座の東京歌舞伎若手一座を招き來る三十日より向ふ七日間大連劇場にて出動軍人慰問品贈呈興行を主催することになつた、松本松五郎は松本幸四郎門の若手俳優として重きをなし、その他一座は何れも新進錚々たる花形揃で御目見得狂言として序幕義經千本櫻（木の實より鮨やまで）三場、中幕鈴ケ森目塚の場、二番目新門辰五郎五場を上演、入場料は階下二圓階上一圓三十錢、小人半額である【寫眞は松五郎の新門辰五郎】

噂話

滿洲事變から俄然軍人映畫の全盛期が訪れた花火線香式が知らぬが今のところ物凄い勢ひである▲スタヂオから來る通信はどれもこれも軍事映畫の宣傳ばかり▲各社とも時代物だけに他の撮影を一切中止して滿洲事變映畫に全力を傾注してゐる▲新興キネマの太秦撮影所内には忽ち奉天城内のオープンセットが出來上つたといふ騒ぎ▲たゞこの機會をさらへて撮影中止を巧に發表したのは右太プロの「恩讐三ッ巴」だけ▲また各社のニュース班が來滿して克明に働いてゐるが、このうち適當なネガを軍事劇映畫に挿入して滿洲ロケーション大作品とする計畫らしい▲各社の作品が滿洲で上映された時は、アスコが映つてゐるとココが映つてゐるといふことになりそうである▲松竹映畫は中央館落成まで寶館に行き當分用事がなくなつたといふので來月早々中野松竹重務は內地に引揚げの準備中

阪妻の相手に望月禮子出演

「風雲長門城」に次ぐ獨立第三回作品として得意の三尺物長谷川伸氏原作「雪の渡鳥」に決定した阪妻は相手女優をいろ〳〵物色の結果新興キネマのスター望月禮子の應援出演で仲秋映畫陣に封切るべくいよ〳〵撮影を開始した（寫眞は阪妻と望月の顔合せ）

新棋戰（其六）

本社特選

香落　四段　△坂口允彦

二段　▲毛利勝喜

【圖は前號指了迄の局面】

▲毛利氏　持駒　角桂歩

△坂口氏　持駒　飛歩

▲四四角　△七五銀

▲八六歩　△同・歩

▲六六歩　△同銀

▲八六角　△七七銀

▲四六飛　△四七歩

▲四四飛　△六六角

▲四五飛

【土居八段講評】▲毛利君は攻守兩用の意味を持つて四四角と打ち、以下飛車の捌きに努めたが、坂口君の應手宜しきを得、依然不利の局面に陷つたのは止むを得ない。

【萩原六段解説】毛利氏四四角は攻防を兼ねての應手であるその時坂口氏七五銀も、四四角と交換しては同飛と取られて、その時一四歩では一六歩と打たれ、同香では二四桂の手があつて上手不利となるから、七五銀は當然であつた。毛利氏八六歩も敵八四銀なら六六角で有利であるから、飛車の活用を圖る意味がある。毛利氏の四六飛は敵に四七歩と打たれて後手を引くから、強く八八飛、同銀、六六角と決戰しても自陣が堅い故に先手を取つてよいその時七七角なら五七角成以下四六馬の手や六六歩打があるから相當指せるのである。

爲替係の窓口に商人殺到

事變よりも仲秋節支拂勘定　開店した奉天の兩行

奉天交通中國兩國銀行は既報の如く二十八日より開店したが當日の營業は午前中のみであつた、今兩銀行に就いて聞くところに依れば二十八日の預金引出は中國銀行四十一萬八千六百元、交通銀行九萬四千五百元、預金は中國銀行四萬元交通銀行四萬五千三百元、上海、大洋向爲替取組高中國銀行一萬五千元、交通銀行三萬四千九百元である。中國銀行の預金引出の多額なるは英米煙草公司の一口三十七萬元といふ巨額の引出があつたゝめで之を除けば交通銀行に大差は無い、爲替取組の方は仲秋節の支拂勘定が大部分でその取組制限は東三省内は一口一千元、支那内地は一口五百元であるがその口數も案外少く二十八日中國銀行三十八口、交通銀行五十三口で事變の關係といふよりも財界不況が原因であると觀られてゐる、但し廿九日は一般商人に銀行營業開始が知れ渡つたから相當の出入がある筈で廿九日午前十一時中國銀行の現金出納の窓口は頗る閑散だつたが爲替係は商人殺到し既に三十口の取組を終つてゐた、なほ銀行營業時間は午前九時から午後四時までゝある【奉天電話】

長春中心の金融常態に

支那側銀行はけふから開業

閉鎖中の長春支那側銀行は愈々我軍の所謂りで二十九日午前より開業に至つたが我軍の執れる保險政策が效果を收め何等變りたることなく平日通り行務は進捗して居る、なほこれに依つて長春を中心とさせる金融機關の運行も常態に復したわけで一般商民は喜んでゐる【長春電話】

奉天で開催の全滿商議聯合會

きのふ午後の議事經過

第十四回滿洲商工會議所聯合大會は廿八日午前九時より奉天取引所信託會社樓上會議室において開催されたことは既報の通りであるが挨拶報告あり議事に入る前に大連奉天兩商議の提案たる時局に對する電議の件及び大連商議提案の治安維持並に現地保護に關し電議の件を一括して審議することになり結局議長指名で營口、長春、安東、奉天、大連の五ケ所が委員に擧げられ

委員會

を開き協議の結果奉天案を基準としてこれに一部の字句修正を加へ直に各要路に電報した、而して更にその實を擧げるため上京委員を安東、奉天、大連、長春の四ケ所より出すことになり續いて聯合會としての在滿軍隊慰問方に關し打合せの結果、奉天の各部隊は聯合會代表が訪問しその勞を犒ひ又沿線各地駐屯部隊に對しては同地にある商議又は實業協會より聯合會を代表して

慰問す

ることに決定、次いで議長より各地提出議案につき書記長會議に於て決定した議案整理の報告があつた、即ち

▲第一號議案　滿洲産木材の輸出奬勵策に關し滿鐵及び關東廳に要請の件(長春)

▲第二號議案　滿洲商工會議所聯合會に彩票の發行を特許方關東長官に要請の件(長春)

▲第三號議案　大連港二重課税問題に關し支那政府に嚴重交渉方要望の件(大連)

▲第五號議案　電話使用料金の低減に關し當局に要請の件(遼陽)

▲第六號議案　對滿政策の確立を當局に要望の件(鐵嶺)

▲第七號議案　支那の國民教科書中より排日的教材を除かしむることを國民政府に交渉方政府に要請の件(奉天)

▲第八號議案　在滿商工業者に對する資力補救並に之が發展策に關し政府に要請の件(奉天)

▲第十號議案　滿洲商工會議所聯合會規則中改正の件(奉天)

▲第十一號議案　滿洲に産業補償制度實施に關する建議(哈爾濱)

▲第十二號議案　貨物運賃引下方を滿鐵東支兩鐵道に要望の件(哈爾濱)

の諸議案は何れも時局のため撤回され第四號議案の農産物内地輸入關税引上阻止に關する件(大連)より

審議に

入る、之に先立ち過日長春商議で開かれた輸出組合設立問題委員會の經過報告あり更に大連の緊急動議として拓務省存續方に關し要請の件は異議なく可決し直に電請案を作成し各要路に電請した、第四號議案は原案可決し晝食となる午後一時より來賓側藤村奉天領事の挨拶に次いで續會、第九號議案滿鐵會社の政府納當金を廢止しこれを滿蒙開發の資源に充當方政府に要望の件(奉天)は大連の緊急動議案滿鐵及び滿洲に於ける業界建直しに關し要請の件と一括審議の結果委員附託となり譯案に一部修正を加へて趣旨し原案可決す、また大連の動議案たる商工會議所令制定に關し請願の件は議論百出し結局原案可決議事を終へ

閉會の

辭に對し村井大入江議長の謝辭あり午後三時無事閉會した、尚午後六時から出席者一同の懇親會が千代田通志城館に於て催された【奉天電話】

南支の排日で荷役は一切止る

今後の成行を注目

日支衝突事件の勃發以來南支方面における各地の排日運動は日毎に熾烈さを加へつゝあり殊に順炭の輸出市場として年額百二三十萬噸に達する取引關係を有する滿鐵撫順部では上海、香港、廣東、漢口等の各地における排日運動の今後の推移に深甚の注意を拂つてゐるが今日までに現はれた排日運動の直接の影響としては香港方面は英國官憲の取締にも拘らず支那人の排日行動極めて猛烈となり在住邦人の生命財産が危殆に瀕したゝめ廿七日頃より石炭其他の荷役は一切中止となり代理店側も全部避難し目下のところでは荷役作業の復舊時機等不明であり、上海方面も邦人側の直接取扱ひに係るものは別として支那側では二十八日約五千噸(積込船三隻)の引取拒絶を通告して來たが今後の各地の成行は極めて注目されてゐる

滿鐵線による新穀輸送規定

滿鐵々道部にては去る十九日以來左記の如き新穀輸送方の規定を設け荷主の便宜を計つて殿けられたもので各方面から非常に歡迎されてゐる

期間、自昭和六年九月十九日至十月卅一日

一車積の新穀走り物にして受荷主より特に急送方申出の際荷主より驛は運滯なく所管鐵道事務所または奉天事務所鐵道課に報告すること

鐵道事務所または奉天事務所鐵道課において前號の報告を受けたるときは可及的速に所要貨車の配給およびこれが輸送の手配をなすこと

本貨物積車には特に急送車票を使用し記事欄に「新穀」と記入すること

在外資金補充に正金が正貨現送

金額は二、三千萬圓程度

【東京特電二十九日發】滿洲事變と英國の金本位制停止を反映して内外市場は圓賣弗買俄に增加正金の弗賣持最近十日間六、七千萬圓に達し、このため正金は在外資金補充策として正貨現送方針を決定近く實行の筈で金額は現状では精々二、三千萬圓と觀られてゐる

福昌華工會社整理

福昌華工會社では秋山專務就任と共に職制の改正並に人員の整理につき愼重研究中であつたが廿八日附を以て職員三名、雇傭員十二名中國人五名、合計二十名の整理を發表した、主なる退職者は庶務課長深川金一郎氏、作業課長淺野政成氏、專務室附調査主任藤山一雄氏である、後任は近く職制改正と共に決定する筈である

滿鐵鐵道減收四百萬圓臺突破

事件勃發の連絡取扱中止と南支向石炭輸送減で

滿鐵々道部經理課の調査になる鐵道部收入概算によれば、本年度鐵道收入は昨年に比し遂に四百萬圓を突破するに至り、廿七日までの鐵道收入は三千五百十萬九千九百六十圓にて前年に比し四百一萬二千百十七圓の

減收

となり、更に二十八日現在にては四百二萬九千三百七十九圓の減收を示してゐる、即ち事件突發前九月十八日現在の減收三百六十二萬七千五百十三圓に比して十日間の減收は四十萬圓餘の減收となつてゐるのである、この急激な減收の直接の原因は事件突發による各連絡取扱貨物の中止と南支向石炭輸送の激減によるものとされてをり之に從つて旅客收入は却て事件以後好況を示してゐる、

なほ今後の業績についての鐵道部の觀測によれば既に四洮線を除いては連絡取扱ひも開始され一方北寧瀋海兩線の連絡は當分中止の見込みであり

今後

は徐々に常態に復しつゝあるものとすれば反つて特産出廻り期における業績は昨年以上の成績を收め得るではないかと見てゐる、尚十八日および廿七日の收入概算を示せば

(單位圓、△印減)

	十八日	前年比
客車收入	一六、一九九	△二、七九八
貨物噸數	四一、〇四五	五、五四四
貨車收入	一六三、三五六	三、三五八
收入合計		
	廿七日	前年比
客車收入	一九、三八一	△九、八八一
貨物噸數	三六、八三一	△一〇、五七七
貨車收入	一二四、六〇三	△六三、〇五五
收入合計	一四六、八六	△八〇、一六三

支那新關税の本質と現状 (三)

釐金の概觀 (B)

廣東の苛税

それから四川における税捐の徴收状況について好適な實例があるから一應附加して置く、一九二八年七月合江の通信に依れば「該縣は年來八萬圓の立替課税を徴收さること三度に及んだが、最近また八萬八千元の借款が發表された。これは二十四年の糧税を擔保としたもので一週間以内に人民に命じて取纏める意圖であつた、各區の總代により告示され戸毎に兵を派遣して促し若し遲延するものあれば「命に抗ふ」として二十倍の重課を施行した、十七區の總代は多忙のため殆ど瀕死の状態となり百姓は兒女を賣り嫁は、稼ぎし家畜を搬殺して債局の需めに應じてゐる、之がため流轉するもの日々多きを加ふ云々」何と言語に絶する事實ではないか?而してさらに革命の淵源地、孫文の出生地である廣東は何うであるか?ここにもまた苛捐雜税累々たるものありその他の地方と大差ないのである、すなはち連江、廣州市間を航運する新柴積込船は白銀坑にて徴收さるゝ軍費五元、小舍にて徴收する軍費八元八毫、連江の民團費一元二毫、清遠縣航軍茶代一元二毫等々繁瑣な大小關卡に於て合計二十五種の税捐を課せられ總て五百廿餘元に達してゐる、すなはち革命の發生地として中國人の誇る廣東においても廣金の賦課行程は特種な苛正が行はれゐないのである

僻陬地の苛税

さらに僻陬地方の苛捐の實例を擧げて見やう、貴州の西陲に對陽といはれる一縣があるが一九二八年六月同地方新聞に掲載された苛捐税は實に驚目に價するものがある、すなはち

一、該縣城には從來市政公所はなかつたのであるが一九二六年王天培來市の際始めて創立されたが、この機會に乘じて豪劇劣紳等は育嬰堂、救生局、惜字會所有の公田二百餘畝を市政公所の所屬に歸せしめ慈善公益事業は措いて顧みることなく彼等の私腹を肥す糧とした

二、勸學總代人は俗に第二の縣知事と呼ばれる程勢力絶大なるものがあり、あらゆる縣政及び民刑訴訟に關し全權を以て獨斷を敢てし凡庸の知事は常に彼等のために利用されてゐる、そして次の如き苛捐を實施してゐる、

(A)月賦課金—毎月七十餘串徴收

(B)爐賦課金—毎月十串以上徴收

(C)夫役賦課金—毎月百串

(D)茶錢—市民間に爭突あるときは總代が解決に當るがその際双方から茶代三千二百文宛を徴收し、不足の際は種々害を加へる

三、團防課金

(A)田賦附加税として田賦一兩納入者は團防附加捐四兩を納付するを要する

(B)其他

甲、火燵課金を納入せしむるがその額は團防局の喜怒により決定される

乙、任意臨時に金員を徴收する例へば殺傷事件等發生の場合には派遣し、草鞋料の納付を受けて始めて行動を開始し賊が遠く逃亡するを待つて故意に銃數發を發射し彈丸費百元以上を徴收するものさへある

丙、一事件發生して被告人を拘禁する場合には旅費、茶代、令状認可費、草鞋費……等々を原告人より强徴する

四、警察課金

A、月々課金及爐課金の徴收方法は團防課金と等しく。B、看板料毎月約二千串を徴收し戸十餘串、客一人につき掛號費(書留料)四十文を徴收し。C、飲飛店課金を日納せしめこの標準はないが少くとも毎D、事件發生毎に苛階徴收することは團防に比しさらに甚だしく事件が了後は茶代數串を納付せしめる

五、軍隊招待課金—軍隊の通過する度毎に糧米、草鞋、馬糧、副食物費等の出費を要求し種々の名目下に私腹を肥やす具となしてゐる

六、彩票(富籤)課金は邑吞王機生といふ同縣に二十年も住んだ廣東人によつて强行されてゐるが彼は定職なく賭博を以て生業となし、軍隊通過、天災水旱、祭神建廟等の場合には必ず富籤券を發行しその收入は毎回数萬に達するが、この富籤券を受けぬものに對して彼は賄賂を出して警察に拘禁せしむるから貧富の別なくその弊害を蒙らぬものはない

大略右の如くであるが何と驚きに堪へたる事實ではないか?、土地の土豪劣紳なるものは封建的な個人主義的な權化であり世界無類な慘行を敢てしてゐるのである

税捐の預徴

以上は雜捐の亂雜な施行種類について一瞥したが、なほ各省縣の實施行程に於て任意に税金の預徴を實施してゐるものがあり甚だしきは數十年後の諸税を强行してゐるものさへある、次表に依つてその一斑を窺知することを得る

地	別	實施期 年	課税年度 年	預徴年數
河	南	一九二〇	一九二一	一
山	西	一九二八	一九二九	一
山	東	一九二九	一九三〇	一
渭南	(陝西)	一九二五	一九二七	二
德州	(山東)	一九二七	一九三〇	三
嘉應	(廣東)	一九二五	一九二八	三
河	南	一九二八	一九三二	四
南宮	(河北)	一九二七	一九三二	五
漳州	(福建)	一九二五	一九三〇	五
汀州	(同)	一九二六	一九三一	五
海豐	(廣東)	一九二五	一九三〇	五
彬縣	(湖南)	一九二四	一九三〇	六
興化	(福建)	一九二六	一九三三	七
郫縣	(四川)	一九二七	一九三九	一二
梓橦	(同)	一九二六	一九五六	三二

而してこの預徴は軍閥又は之に準ずるものによつて强徴されるのであるが、中國の軍閥なるものは言語に絶する亂暴なるものであることを示して十分である、以上で釐金の概觀は終つたが中國民衆はこの封建的暴壓的な傳統によつて如何に永年虐げられてゐるかを十分に了悉される

金本位制をデンマーク停止

けふ議會通過次第に

【コペンハーゲン廿八日發】デンマーク政府は金本位制停止案を決定し廿九日議會に提出しその贊同を待つて實施する事になつた、一方大連油坊にあつては…

大連油房に對する滿鐵の助成金

續行發表を期待さる

滿洲事變の突發により支那側鐵道による大豆の河北への輸送が停止されたので、從來全生産能力を擧げ一日三萬五千枚平均の豆粕を生産してゐた營口の油坊は、はやくも來月邊から採算上多少の操業短縮を行ふものと豫期せらるゝに至つた、一方大連油坊にあつても滿鐵の産業助成金の交附が九月限りで滿了となるが爾後も引續いて交附されるのか否かは目下の所判然としないゝこれがため大連油坊に完全に壓倒されてゐたハルビン油坊は營口油坊の減産と大連油坊の助成金問題に絡んで機先を制せんとするものゝ如く、二十九日…

南滿東支連絡貨物換算率

大汽の異動

取引上

一氣に

矢野恒太氏歡迎座談會

矢野恒太氏の來連を機會に二十九日午後三時半からヤマトホテルにおいて本社主催で歡迎座談會を開くが出席者は左の諸氏である

高柳保太郎、實性確成、二、田村羊三、村井啓太郎、澤丈作、津久井誠一郎、吉、藤田臣直、村田懿麿、長達、松山忠二郎

和蘭中央銀行割引歩合引上

【アムステルダム廿八日發】オランダ中央銀行は公定割引歩合を二十八日二分より一分引上げ三分とする旨公表した

◇…東北四省…

市場電報

東京期米

大阪期米

神戸期米

大阪株式

東京株式

大阪綿糸

横濱生糸

印度綿花

大阪綿花

綿花

市況 (廿九日)

特産

大勢安に押され一齊軟調

前場

銀

株

糸

豆

錢鈔

材料悪く當市緩む

定期前場

現物前場

株式

内地寄安引高五品保安

商品

麻袋變らず綿糸も保合

後場

滿鐵株(昂騰)

爲替相場

手形交換高

鮮銀

正金

奥地市況

錢鈔

各地特産發送高

大連埠頭到着高

埠頭在庫貨物

滿洲日報

發行人 鈴木 [illegible] 編輯人 [illegible] 印刷人 山下庄太郎
大連市 [illegible] 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 一部 金五錢
廣告料 [illegible]

反張の旗印を掲げて新政權樹立の機動く

奉天における新政權樹立運動 漸く表面化し來る

奉天に於ける新政權の樹立運動は袁金鎧氏を戴く地方委員會と闞朝璽氏を擔ぐ東北紳民時局解決討論會との二派が重なるものであるが前派は所謂一切の軍閥を排除する純軍事政治を旗印とするものである、從つて滿洲に新設された遼寧省政府または吉林臨時政府、張景惠、湯玉麟等の軍閥政府が内外から如何に取扱はるゝかを見定めてからでなければ起たない、之れに引き換へ後派は元來張作霖家と姻戚關係にあり乍ら常に反對の立場にあつたのと軍人出身であるから吉林、黑龍、熱河等の事情如何を問はず急速に新政權を樹立せんとするものである、故に衆望は目下のところは寧ろ前派に集つてゐるに拘らず今後の推移はこの際何れとも豫定し兼ねる、何れにせよ袁金鎧、闞朝璽または他の誰かを擁立して反張の省政權を樹立せんとの機運が醞釀しつゝある事は事實である【奉天電話】

熱河省の湯氏も獨立

支那側の確報に依ればハルビンの張景惠、熱河の湯玉麟の兩氏は萬福林、鮑文越兩氏の南京行の結果が張學良氏に頗る不利なるを看取しこの際自己の態度を定むべく考慮中熙哈氏の吉林臨時政府設立に刺戟され二十九日各自獨立を宣言し張學良氏の羈絆を脱し自己地盤の安全を圖るに決した【奉天電話】

新政權の樹立には相當の時間が掛る 地方委員會の見解

奉天獨立政權樹立に關しては東三省民衆一般の民意に基き既に東北紳民時局解決方策討論會が廿八日附にて宣言文を發表し新憲法の制定をも終つたといふことであるが右に對し地方維持委員會の袁金鎧、丁鑑修氏等の談話を綜合すると左の如きものである

二十八日さういふ話を聞いたが奉天としては何もさう急ぐことは無いと思ふ、吉林には熙洽氏を主席とする臨時政府が成立し黑龍江省にも同樣の臨時政府が成立するであらうが奉天は吉黑兩省とはその趣を異にしてゐる、吉黑兩省が手足ならば奉天は頭である、その頭が無くなつた上對内對外關係の複雜なることは吉黑兩省の比ではない、從つてさういふ自治機關が出來るにしても未だ〳〵時間が掛るまたそんなに急ぐこともない我等は一般民衆の意嚮に依り時局收拾のため起つたものでそんなことよりも先づ第一に治安維持、(一)食、金融問題の整理完成が當面の急務である、そんな譯で今朝も兵工廠職工の救濟問題で委員會一同多忙を極めてゐるやうな有樣である【奉天電話】

新吉林省長官の通電

熙洽參謀長が獨自の立場において從來よりの腐れ縁たりし東北政權と離れ新に省政府を獨立し宣言を見たが宣言と同時に左の如き通電を二十九日省内各鎭守使に發した即ち

省城は日本兵が來て以來各種の武裝を解除し秩序が整つた、時局以來省行政の收拾に努めた爲全省の各法團、各機關において協議の結果、本職を公選して吉林省長官となし吉林省長官公署を組織して民政軍政の兩廳を總括し元の副司令公署及び陸軍訓練所を閉鎖した、又吉林省軍政廳を設け治安維持及び全省の軍政事務を司らしめる郭恩霖を軍政廳長として既に編成を終る故に各官は此旨を報じ責任を以て地方の治安維持に努められ度し

右の通電はハルビンの鎭守使邢旅長、双城堡の蘇旅長、依蘭縣の李旅長、寧安の趙旅長、農安の常旅長、双陽の李琳林等の各地方行政に當る首腦者に發せられたもので引續き左の如き通電も發せられた

時局收拾と共に地方に治安維持のため從來の鎭守使の名稱を廢し警備司令を設く、而して李桂林を警備司令にその他の官署を警備署と名稱す

右二つの通電は熙新任長官の名によつてなされたものである【長春電話】

奉天兩銀行の開店 (上)昨日時局以來始めて揭げられた交通銀行の看板(下)混雜する中國銀行の窓口

新長官布告

吉林省長官公署に於ては熙哈長官の名に依つて各方面に布告を張り出し人心の安定を圖り治安の維持に努めつゝある、即ちその布告の要旨は一は

時局以來諸物價は騰上りに上り物資の缺乏により生活必需品まで高さに失する嫌ひがあるが右は市民生活を不安ならしむるものであるから宜しくその總てを九月二十日以前の物價に引下げるべし違反するものは治安を亂すものとして嚴重取締る

といふにあり尚他の一通は

時局以來治安の維持につき諸般の準備を進めてゐるがなほ敗殘兵で遠距離に逃亡中のものは直ちに武器を提供し武裝解除の上投降すべし、武裝解除者に對しては何等壓迫を加へず

といふに在る【長春電話】

吉林新政府主なる顔觸

熙洽新任長官を頂く吉林の新しき政府の主なる顔觸れ左の如し

民政廳長 孫其昌
建設廳長 富春田
高等法院長 誠允
秘書長 潘顯年

前民政長官榮厚氏は病氣により辭任長春市政籌備處長周玉柄氏は同政府顧問に省政府秘書張燕卿氏は辭任その他二、三の異動を見た【長春電話】

學良氏の密偵 奉天で暗中飛躍

張學良氏の派遣せる密偵三十名は張德馨氏引率の許に數日前より奉天に於て活躍中であるが、反張および親日の要人元老に對しては特に探偵の目を光らしてゐる、また日本軍の動靜に就いても極力偵報蒐集に努めてゐる模樣である、一說に依れば奉天に在住の外人に危害を加へ外交問題を惹き起し罪を日本になすり付けるべく陰謀を企んでゐるとも傳へられてゐる【奉天電話】

滿洲新政府樹立に日本側は關係せぬ 若槻首相閣議で言明

【東京二十九日發】若槻首相は二十九日の定例閣議席上滿洲獨立問題に關し左の如く言明した

滿洲に獨立政府樹立の運動が行はれてゐるもの如くであるがこれ等支那人に依つてなされるこれ等の運動につき我國に於て一切干涉すべきものではない從つて此の際日本側に於ては如何なる事に就ても關係せざる樣出先官憲並びに軍部に對しても嚴達してある又今日迄の處斯る問題に對し我國が關係せる事實はないであらう

と述べ正午散會した

內政に不干涉

【東京特電二十九日發】二十九日の定例閣議で若槻首相は滿洲獨立政府樹立運動に關し政府は既定方針に基き支那の內政に關しては絕對不干涉なる旨を報告し各閣僚の諒解を求めた

定例閣議

【東京二十九日發】二十九日の定例閣議は午前十時より開會先づ幣原外相より

香港に於てはイギリス軍隊の出動に依り漸次鎭靜に歸しつゝある

と述べ安保海相亦香港の模樣を補足說明し次で南陸相より

ハルビンにある張景惠が治安維持會を設立し其の會長となり全力を盡し各國人を一樣に保護する事を聲明してゐる然して二十七日を以つて黑龍江省の獨立が聲明されたと傳へられてゐるが此の黑龍江省獨立は黑龍江省全體でなく恐らくハルビン治安維持會の事であらう

と報告し井上藏相より

イギリスに總選擧が行はるゝとすれば其の期日は來月二十日頃

樞府本會議 けふ十時から

【東京特電二十九日發】樞府定例本會議は三十日午前十時より開催日本とリスアニアとの條約御批准の件を可決後樞府側の非公式要求に依り南陸相より日支軍の衝突事件突發以來の狀況軍の行動及び今後の方針事件の經過を詳細に告解し幣原外相は又同事件に對する臨機の處置全安に取る反日狀勢今後の對滿蒙支外交方針並に聯盟の經過に就き諒解を求める事となつた

滿蒙時局につき陸海軍巨頭會議 昨日陸相官邸で開く

【東京廿九日發】滿洲事變に關し二十九日午後三時より陸相官邸に陸海軍巨頭參集重要協議會を開いた、出席者は陸軍側は閑院宮、梨本宮兩殿下を始め白川、井上、鈴木、菱刈各大將、南陸相、武藤教育總監、金谷參謀總長、二宮參謀次長、杉山次官海軍側よりは伏見宮殿下、東郷元帥、岡田、財部兩大將、安保海相、谷口軍令部長、永野次長、小林次官等で滿蒙對策につき重要協議を遂げた

經過報告のみ 陸相閣議に報告

【東京二十九日發】南陸相は二十九日の閣議に於て

本日陸海軍元帥軍事參議官を陸軍省に參集して貰ふ事は特に時局に變化の生じたものではない又特に元帥並びに參議官の意見を聽取する爲めでもない時節柄陸海軍の聯絡は最も緊密なる事を要する意味から滿洲事變以來今日に至るまで陸軍の執りたる處置並びに現狀の概要を互に報告して諒解を得るがめで云はゞ經過報告交驩會に過ぎない

と報告した

民政黨から慰問使派遣

【東京廿九日發】民政黨は廿九日午後二時半から幹部會を開き山道幹事長から滿蒙方面に於る我軍隊ならびに不安に襲はれて居る居留民慰問のため此の際慰問使を派遣したいと提議し結局慰問使五名特派するに決定之れが人選を幹事長に一任して次いで拓務省廢止の件を承認して同四時散會した

府縣議戰結果

【東京特電二十九日發】府縣議戰も愈々大詰となつたが二十八日午後十時までに開票した結果は左の如くで總計一千百四十名中民政六六二、政友五〇八、無產一七、中立其他五三となり政民の差百五十四名となつた

南京廣東の代表香港で會商 各代表和平統一高調

【東京特電二十九日發】南京、廣東統一會議の陳銘樞、張繼、蔡元培三氏は昨朝オランダ船で港に到着し廣東からは汪精衛、孫科、李文範三氏が昨夕汽車で同地に赴き何れも九龍ペインスラホテルに投宿し同七時から秘密會議が開かれたが其內容は絕對秘密にされてゐるが香港よりの報道によれば張繼氏は船中にて今次の和平解決は極めて有望で南京政府とも粟々同一のものであり何等條件を附すべき性質のものでないと云ひ陳銘樞氏も國難を前にして國內が和平統一するに非ざれば國を救ふ能はずと云ひ汪精衛氏も停車場で和平交渉の爲め廣東を代表して來た宜しく一致聯合して邦家に當るべきであると述べてゐる

廣東派依然條件を固執

【東京二十九日發】二十九日某所着電に依れば南京政府は日支滿洲事變を好機會として廣東派との妥協を圖ることゝなり去る二十六日南京派要人張繼、陳銘樞、蔡元培を香港に向はしめた、三氏は二十八日香港で廣東派の妥協派汪精衛、孫科、古應芬と會見和平統一商議を行つたはずである、蔣介石は三代表に

自から政治黨務に關する一切の本職を辭し臨時陸海空軍總司令として滿洲事變解決を圖るべし

との意を含め蔣氏自ら指揮して兵を北に進め日支交渉を有利に導かんとの意嚮を齎さしめてゐるも廣東派は飽くまで

一、蔣介石の完全なる下野
二、王正廷の辭職

を要求して居り會見の結果は注視されてゐる

愛蘭銀行も引上げ

【ダブリン廿八日發】アイルランド銀行公定割引步合は五分半より一步引上げ六分半とし二十九日より實施する旨二十八日公表した

省廢合の一段落で愈豫算編成に着手 昨日閣議で大藏省查定案を說明 各省との折衝を開始

【東京特電廿九日發】省廢合問題の一段落とともに大藏省では愈々明年度豫算編成に着手する事となり井上藏相は二十八日藤井主計局長を官邸に招き協議の結果二十九日定例閣議で行政整理を含む歲出豫算の大藏省査定案を說明して各省との折衝を開始することとなつた

【同】井上藏相は二十八日首相との協議の結果今日閣議の席上で若槻首相は各閣僚に原案承認方の希望を爲すこととなつた

獨佛經濟問題審査委員會

【ベルリン二十八日發】二十七日午後非常なる歡迎裡にベルリンに到着したフランス首相ラヴアール氏及び外相ブリアン氏等は二十八日直にドイツ外相ブリューニング氏外相クルチウス氏等と會商した結果兩國に關係ある經濟の總ての問題を審査する爲め常設委員會を設置するに決した旨發表した

支那側の態度變る 蔣氏東京に密使を派し再び共同調查提議か

【東京廿九日發】既報廿六日蔣介石の命を帶び渡日せる鄒世英は蔣氏が若槻首相に宛たる親書を携へ行きたる事判明した聯盟に見放されたる國府は遂に從來の態度不明の聯盟共同調査は宋子文氏の私案なりとして蹴つけた態度を飜へし改めて共同調査を提議し和平解決の緒を巡らんとする氣配見へ國府の存立を危うくさせる程度の讓步をなし日本に泣きを入れんとする態度濃く觀測さるゝに至つた

歐亞連絡小荷物輸送を開始

【東京特電廿九日發】今春の歐亞連絡會議で決定された歐亞小荷物輸送(滿鐵經由)はこの程ソウエートから鐵道省國際課へ英、獨、佛、露語等で印刷した小荷物證券や書類を送つて來たので愈々十一月一日より實施に決した、このため日本から歐洲へ四十日を要したスエズ經由の船便も今回の列車便により十六日から二十日位でパリまで配達される事となつた

竹內中佐來連

廿九日午前十一時半入港のはるぴん丸にて陸軍大學教授竹內寛中佐が來連したが船中に訪へば語る

來春の陸大生の戰蹟視察來滿の準備に來たのです、時局がこんなになりましたので忙しくなりましたが、來年も學生は平年通り來ます、來年の一行には宮樣はいらつしやいません

第二の反抗 (45)

三宅やす子 阿部金剛畫

戀ごゝろ(十一)

「何よ、母さん、改まつて」

佐枝子は笑ひ出した。

「一寸、私がさう思つたことなんだがね」

母は落付いて

「佐枝さん。誰か、この人をつて好きな人でもあるのかい。それなら、あたしに云つといて貰へば、又話のつけやうもある。父樣はなか〳〵御承知にはなるまいけれど無理に、すぐ鮫衛さんと結婚しろとは仰しやらないだらうよ。佐枝子さんは寮一さんと仲善しだから何か、寮一さんにだけ話してあるやうなことでもありやしないかいこれはあたしの、ほんの邪推かしれないけれど、まあ寮一さんの友達とか何とか——」

「まあ」

佐枝子は、いきなり、母の言葉を遮つた。

「あたし、寮一さんのお友達なんか、一人も知らないことよ。だもの好きな人なんかありつこないわ」

「さうかい」

母は半信半疑の聲で

「それぢや、どう云ふ人だらうねえ」

「どういふ人でもありやしないわあたしは、鮫衛さんが嫌ひなの」

「何故さ」

「何故つて、嫌ひだから嫌ひなんだわ。ほかに何も理由はないわ」

「そんな駄々を云つたつて」

「駄々ぢやないことよ。はつきりした理由よ。これ以上、明瞭な理由はないことよ」

「あゝ、そんな大きな聲をするとお父樣にきこえてしまふ」

母は父の部屋を氣にするやうになだめて

「ぢやあ」

云ひかけて、母は一寸息をつく云はふか、云ふまいか、こんなことを云つてしまつて、あとで取り返しもつかないへんなことになりはしまいか、さう案じながら、

「寮一さんと、何か約束でもしたやうなことはないのかい」

「……………」

思ひがけない母の言葉だつた。それはまるで、佐枝子にとつて、きく豫期のない、意外な質問であつた。

「姉弟樣で、遠慮のない從兄妹同志だから、それに、佐枝さんは、兄さんよりも寮さんの方に、よけい遠慮がない位だから、ひよつとして」

母は口籠つた。

「……………」

佐枝子は何かしら、赧くなつた

「もしか、他の人とは結婚しないといふやうな、約束でもありやしないか、つて氣がさして來たんだよ、あんなに、寮さんが、熱心に橋本の緣談に反對するところを見るとねえ」

「違ふわ。違ふわ」

佐枝子は急テムポに叫んだ。

「寮一さんは、そんなつもりで父樣に話して下すつたんぢやないわ寮一さんは、私が不幸になるのを見て居られないからなのよ。只それだけよ。寮一さんはそんな人ぢやないわ。そんな計畫的に口を利く人ぢやないわ」

さう云ひ作ら、佐枝子は急に涙をポロ〳〵こぼした。

社説　東四省の自治

時局發生後の東四省政界は、反張氣分の勃興と共に、省民自治の運動に向つて搖ぎ初めた。吉林省の獨立宣言に次で奉天地方維持委員會の新政權樹立が畫策された。その趣旨とする所は東四省を中央政府と分離して獨立の政權となし、城内民衆の總意に依つて自治的政治を行ふといふにある。この新運動が今後如何の趨勢をたどるかは、第三者の遙かに豫想し能はざる所だが、滿蒙從來の史的經路、並に支那本部との地理的關係から見て、遂にかうした形勢を馴致せざるを得ないことは、吾人の夙に豫想し且つ評論し來つた所である。故張作霖氏時代から、保境安民主義は省民中の有力者に依つて絶えず提唱されて居た。文治派の巨頭として識見手腕共に秀でた故王永江氏が、張氏の忌諱に觸れて金州に歸臥するに至つたのも之が爲であつた。守舊派の武人張作相將軍も亦絶えず關外進出の不利を主張して居た。その動機には各々異なる點はあつたが、畢竟は東四省の民意に立脚して境内の利福と安全とを期するに外ならなかつた。◇

清朝以前の滿洲興敗史を回顧しても、關外の諸域は常に獨自の面目を有して居た。清朝が代々特別行政區としてこの地方を取扱つたのは、勿論帝基發祥の郷土であつた爲だが、而も支那本部に對して民族的に地理的に然く取扱はるべき特性を有したからだ。倒滿興漢の大旆を揭げて革命運動が激成されたのも、一面民心激勵の方策に過ぎなかつたやうだが、他面南方と種々の點に於て事情を異にした傳統を有した爲であつた。更に共和政府樹立後の經過に徵しても、滿蒙は終始獨自の勢力を有したこの地の保境安民を尊重した統治者は、多少の缺點はあつても省民の郷土感を根基として勢力を維持し得たが、この特殊性を無視するに及んで忽ち輿望を失つた。それはその筈だ。東四省の民衆と富源とは、自治的にこれを指導誘掖するに於て、居然たる一國の體裁を發揮するに足りるからだ。滿蒙が久しく未開の荒土として草賊の跳梁に任せられ、漢民族から化外の邊陲視されたのは、省民に自覺なく、又この自覺を促がすべき政治が布かれなかつた爲である。◇

幸か不幸か、露國南下の侵略主義に依つて、日本擧國の必死的支持運動が起され、他動的にこの廣域の獨自性は維持された。而して此氣運を利用して故張作霖氏の覇業は達成され、覇者としての張氏の政治は、時に屢々内外の非難する所となつたが、彼れが保境安民主義を確守した間はその盛名を失はなかつた。然るにその志を時代の大勢に逆行した帝業に繫ぎ、兵を關内に進めて北平に盤踞した際から、漸く落潮を逐ふの已むなきに至つた。滿蒙が近世の所謂民主政治に依つて固い基礎を据え得るか何うかは、一般的文化の現狀に照して遽かに斷言し得ないが、郷土の特殊性を顧みず、民富を涸渇せしめて一己の野心を達成せんとするが如きは、理利共に省民の肯定し能はざる所だ。張學良氏近時の行動も亦然りで、彼が全國統一の美名に驅られて南京政府との合作を策したのは一見時代の大勢に順應した態度のやうであるが、而も之が爲に滿蒙の財源を濫費し省民をして塗炭の苦境に彷徨させたのは非常な過失だ。最近の日支問題にしても其原因は一に玆にある。◇

南京政府の誤れる外交策が不法の排外熱を全國に彌漫させた罪はいふ迄もない。併し從來内外人の交情圓滑であつた滿蒙にすら、加速度にさうした空氣を漂はすに至らしめたのは、東省政治の缺陷からだ。政治の缺陷は省民を苦しめ、治安を紊し乘じて事端を隣邦との間に繁からしめた。時局刺戟に依つて省民を奮起せしめるやうになつたのも偶然でない。亦た同時に省内民衆の間に獨立の政治的自覺が擡頭した所以だ。思ふに之れによりて滿蒙の特殊性が發揮され開發の新基調が生れるであらう。其結果或は有名無實の未來の共和論に引摺られて、而も國民黨專制の桎梏に呻吟する全國各省民をして、各自郷土の事情に適應した自治政治を思ふに至らしめるであらう。

支那が覺醒せねば　わが誠意も効なし

國際商業會議所の照會に對し　日本國内委員會回答

【東京二十九日發】國際商業會議所パリー本部より滿洲事變に就き日本國内委員會に對し照會ありたるに對し二十九日正午より工業倶樂部に日本國内委員會と經濟聯盟理事會の聯合協議會を開き滿場一致大要左の如き回答文を決定し同夜パリー本部に打電した

一、貴電にて御照會に接したる今回の滿洲事件は日本の已むを得ず採りたる自衛的行爲にして干渉に非ず、この用語は當を得ざるものと思惟するを以て御訂正あり度し、今回の事件の眞相その動因及び平和的解決の望みありや等の件は既に二十四日附日本政府より公表の聲明書中に明記せられ居るを以てこれを御參照あらんことを望む

二、日本國委員會は今回の如き事件の發生を最も遺憾とするものなれ共この機會に吾人は日支關係の實情に就き些か貴會議所の注意を促さんとす云ふ迄もなく支那は我が國に最も近接せる締約友邦なり、併しこの締約友邦なる形式は支那政府並に一部國民(國民黨)の不誠意の結果事毎に裏切られ最近にかける支那官民の日本に對する暴戻なる言動は殆んど言語に絶するものあり、支那は絶えず自國民に對して排外思想を鼓吹涵養し政府の使嗾の下に暴力的日貨排斥を反復し或は經濟絶交をさへ標榜し甚だしきは日貨掠奪邦人の生命迫害の如き擧に出て顧ず殊に政府の首班者が公然排日思想の主たる煽動者たることは事實あるに於ては支那側に於て覺醒せざる限り我國のみ如何に圓滿なる經濟關係の持續に專念するもその效なきは明かなり、吾人は當面の時局が支那側の反省に依り兩國間直接の折衝を以て一日も速かに拾收せられんことを望むと同時にこの際多年兩國間に累積せる諸懸案を徹底的に解決し將來永久の平和を確保することが絶對的に必要と痛感するものにしてこの點貴會議所のの充分なる御諒承を得ることを信ずる

工業倶樂部　聲明書發表

【東京二十九日發】日本工業倶樂部は二十九日午後二時より緊急理事會を開き滿洲事變處理に政府は斷固たる決意を示せとの聲明を發表した

中國銀行紙幣　邊業銀號に送付

二十九日午後一時入港の奉天丸で北平中國銀行支店より中國銀行紙幣五十萬元を送つて來たが右は今明日中に奉天邊業銀號へ送付されるものである、これは張學良氏失脚により從來張學良氏保護の下に發行してゐた邊業銀號紙幣の價格暴落したためこれが救濟の爲め送付せるもので既に去る二十七日入港の大連丸にて中國銀行天津支店より三十八萬六千元の同銀行紙幣を送附して居りなほ今後も引續き相當額送付して來る筈である

東北紳民時局解決委員會の布告

宣言

我東北民衆因於軍閥暴政之下者已經十數年於此今幸此種萬惡勢力已經一掃而空此誠千載一時之機會現在吾人為擁護正義起見為增進地方人民福利起見欲實現一理想政治不可不圖新獨立政權之建設職是之故本日本會決議不特對於與張學良有關之錦州政府誓死否認即對於軍閥禍首蔣介石等之聲明亦絶對反對我東北民衆確信友邦官民對於此種真正民意決議必能尊重而且加以真摯之適當援助也用是宣言

東北紳民時局解決委員會

中華民國二十年九月廿八日

奉天では未だ商賣は杜絶狀態

村井大連商議會頭歸連談

廿八日奉天に開催された全滿商工會議所聯合會に出席し廿九日歸來した村井大連商議會頭は次の如く語る

日本人商店は大抵開店してゐるが、日支または支那人相互の商賣はまだ殆ど杜絶の狀態であり城内の支那商人が開店してゐるものは一、二割であらう、何しろ突發事變のため一時商賣が休止の狀態となつたのだから經濟上相當大きな

影響を　蒙つてゐる、それに一般に軍隊手薄の感があり、未だ城内等の整理も完全を期し得ないので兵員の充實、秩序の維持を要請した次第である、なほ經濟界を一瞥するに安東の支那銀行界は平靜に歸した樣であるが、奉天では廿八日中國、交通銀行は開店したが地場銀行たる官銀號はまだ何時開くとも見當ひつかぬが何しろこれは張學良の創立銀行として從來無茶な經營をやつてゐるのであり、大洋票の如きも一人當り百圓を支拂ふといつた具合で若し開店したら

取付に　會ひはせぬかと恐れてゐるやうだ、しかしこれに對して市政公所や地方委員會その他支那側關係者間に相當な對策があるだらうから、そのうち開店することゝならう、開店したら豫想した程ではないかも知れない、なほ官銀號が開いたとしても從來が從來で支那經濟界は非常な疲弊狀態にあつたのだから直ぐ經濟界がどうといふことはなからう、疲弊してゐた支那商の中にはこの機會を利用して開店に到らぬものも相當あらう、金融の收縮や物資の不足で物價も二割方上つてゐるやうだ

大連警察へ感謝　　大阪　靜子

◇私達の子供は腺病質で困つて居りました所友人が老虎灘方面なら空氣も良いからあちらに引越して見てはどうかと熱心に勸められたものですから、今度青雲臺へ引越ました、それで早速轉居屆を受持交番へ差出す爲め參りました處、當直の警官の方が貴殿が今度借られた家には之迄肺結核の人が住んで居られましたから念の爲め消毒して入られた方がいゝでせうとの事でした

◇尙當方面は子供の健康の爲移轉せらるゝ方が多いので交番でも傳染病の方は成る丈け調べておき若し不幸にしてそんな方が御住居になつた後に引つ越された方があつた折は他人に迷惑がかゝらない樣出來る丈け豫防方法を施して居るとの話でした

◇それで吾々の場合も早速大連署内結核豫防會に交涉していたゞいて無料で消毒して戴きました御蔭で今日ではすつかり晴々した氣持ちで住まつて居ります

◇こんな事は一寸した事ですが一般借家人にとつては大變參考になる事と存じました滿日紙を借りて大連警察署に御禮申上げます

八相　五十行以内　投書歡迎　匿名は差支なし

感激の斷片　戰線から歸りて　五百旗頭佐一

吉林の極端な排日にいぢけた邦人兒童　學校への往復にもビク〱

排日の本據吉林！それは僅の時間に極めて斷片的に聞き得ただけではあつたが如何にその排日運動が深刻であつたかといふ事を記者は充分に知ることが出來た、吉林の邦人は道を歩くにさへも遠慮をしなければならなかつたし、自分の家に歸つてゐる支那人が如何に生意氣な態度をとつたとしてもそれと爭つて感情一つ損はせても災害を恐れたのだ、吉林の一婦人が語つた小學生までが日本人を輕蔑し切つてゐるのです、そして日本人の生徒が通ると石を投げつけたり毎日いぢめて仕方がありません、それがため私達は決してこんなことを子供に言ひたくはないのですが「支那人は亂暴だから支那人の子供を見たら別の途を廻つて逃げて歸つてくるのですよ」と敎へてゐました、だから私達の子供は自然にいぢけてしまつて日本人は決して強いとは信じられないらしいんです、實際私はこの子供達の將來のことを考へてどんなにかけふの日が來るのを心待ちに待つたことでせう、御覽下さい今はあんなに快活に遊んでゐます語る婦人も語られる記者も共に思はず涙ぐんでしまつた、その話を聞いた翌日であつた領事館の庭で七八人の日本人の子供が「日本勝つた、支那負けた」と朗かに歌ひながら圓く輪を造つて踊つてゐた第二の國民はかくして確實に自分達の強さを自覺したのだ民族的破滅の危機から救はれたのだ、もしいたとしたならば恐らく第二の國民達は完全に支那に精神的に負けて了ふのではなかつたらうか、軍國主義が好いか惡いか、さうした議論は今は說くまい、唯記者は民族闘爭から生れて來る國民的感激に無條件に浸つて了つたのだつた

廿四日記者が乘込んだ軍用列車が下九臺の驛に到着した時のことであつた、由來下九臺はこの地方における最も排日氣分の旺盛な土地と言はれてゐるが、同驛でも例によつて日本の兵士達は驛務に就つてくる可愛い支那人の子供達にパンやキヤラメルを與へてゐた、然しその兵士達の贈物を心から受ける者はまだ小學校にもあがらぬ子供達で其處に來てゐた小學三年位と思はれる二人の少女はいくら呼んでも傍らには近寄らず遠く柵によりかゝつて「不要々々」を繰返しながらこの軍用列車をにらみつけてゐた、無條、無批判的に、唯その感情に訴へて注ぎ込まれた小學生への排日思想を如何にして除去するか、これが將來日本政府に課された大きな問題であることを沁々と感じさせられた(つゞく)

『お手盛り旅行』の慰問使出發

笠原、野本兩氏は辭退

日支衝突事變の爲め出動中の帝國軍人ならびに警察官の勞苦を犒ふため大連市より慰問使を派遣する事は既報の通りであるがその内容が市會議員御手盛の市費旅行となつたので非難の聲囂々と起り笠原野本兩議員は自發的辭退となつたその結果慰問地擔當の顔振れも左記の如く變更され一行は二十九日午後九時三十分發と同十時發との二回に渉つて出發した。なほ本來ならば緊急市會を招集し市會の決議により慰問狀を贈呈する事が大連市民の總意を明瞭に表示する事となり極めて效果的なものであるが便宜市長代理の名を以て左記の慰問狀を關東軍司令官並に第二師團長、獨立守備隊司令官、混成旅團長にソレ〲贈呈する手筈である

▲奉天へ石本、大内、若月▲奉天以南及び安奉沿線今村、高塚▲奉天以北及び四洮沿線仙波、熊谷▲吉敦線品田、芦刈

慰問狀

這回の事變に際し閣下並麾下諸將士が國權の擁護と治安維持との爲日夜奮闘せられつゝあるは衷心より感謝する所なり、庶幾くは益々御自愛御健闘あらむことを、玆に謹みて本市民を代表し御慰問申上ぐ此旨麾下各位に御傳達を希ふ

昭和六年九月

大連市長代理助役永井準一郎

非難さる慰問方法

效果的でない

大連市を代表する軍隊並に警官慰問使は二十九日午後九時三十分發列車で北行するが右慰問使は市囑託の名義により派遣されることになつてゐるが緊急市會を開きその決議により感謝狀を認めこれを携へ口頭を以て慰問の辭を述べる事になつて行の上形式的にも整へて慰問した方が市民の總意が判然と表示され效果的ではなかつたかと大連市折角の慰問使派遣に遺憾の聲が起つてゐる

旅順へ慰問

派遣軍隊ならびに警官慰問のため大連市から慰問使を派遣する事になつた事は既報の通りであるが、先發の田中、三宅兩議員および長濱市會課長の一行は二十九日午前十時赴旅關東軍司令部および步兵三十聯隊の留守隊並に關東廳警務局を訪ひ慰問の意思を傳達した

海運同業組合軍隊を慰問

大連海運同業組合では去る二十五日緊急役員會を開催今回の滿洲事變により我が權益確保のため出動せる我が皇軍の勞を犒ふため慰問員を派遣して、慰問品淸酒五樽を贈呈することを決定した、依つて組合長三村元介氏は組合を代表し久松書記長を帶同、二十六日奉天に赴き關東軍司令部を訪問して犒

我軍隊移動

長春駐屯中であつた平田大佐の率ゆる第二十九聯隊本部同聯隊及び步兵の一部並に野砲隊は二十九日午後一時三十分發臨時列車で南下四平街經由鄭家屯に移轉した、尙吉長鐵路沿線警備の任に當つた獨立守備隊第五大隊に四洮沿線警備の任にあたつて居た同隊第六大隊が二十九日午前八時二十時着臨時列車で長春着同十時二十分發列車で吉長沿線の警備についたのでこれと入れかへに午前十時三十分發列車で鄭家屯に南下四洮鐵路沿線の警備にあたることゝなつた

皇姑屯を警戒

皇姑屯方面は數日來土匪の集團地【奉天電話】

刑事課は廢止か

關東廳の行政整理で

關東廳刑事課はその事務の性質上新設當初以來最も刑事々件の多い大連に設けられてゐるが、目下同課の刑事は全部奉天事件以來沿線各署の應援に出據つて專らこの方面に全力をあげてゐるが時局柄警務局長以下局内各課との連絡緊密を要するところから廿八日星刑事課長心得以下庶務關係職員數名は關東廳に戾り課長室に陣取つて執務を開始した、なほこれは近く斷行さるゝであらう同廳行政整理の前提かとも見られてゐるが、目下大連の刑事課内には田口警部以下鑑識係員のみが殘つてゐるさ

わが斥候狙擊さる

【奉天電話】なり支那敗殘兵のため我が軍との連絡を遮斷される恐れあるので我軍では步兵一個分隊に斥候を附して現場の警戒に急行せしめた

【鄭家屯電報廿九日發】廿九日午後三時鄭家屯の西方三キロの地點において我が七十八聯隊第三中隊一等兵××三郎は斥候勤務中敗走兵に狙擊され腹部に重傷を負ひ入院した犯人は直に高粱畑に逃走し遂に逮捕することを得ず

鄭家屯支隊奉天に移動

【鄭家屯特電廿九日發】笠松鄭家屯支隊は廿九日午後十時發列車にて奉天に移動交代として步兵第廿九聯隊來鄭の筈

大連魚市場の改善運動擡頭す

話丈だらう　松丸孝三郎氏談

關東州水產會大連魚市場ではその制度や經營方法につき從來もかなり論議されてゐたが最近一部關係方面では頓に左の如き改善運動が内々運められてゐる、卽ち現在の糶は一ケ所で行はれるので自然獨占横暴に流れ易い、そこでこれが矯正策として制度は現行のまゝ水產會社を一鮮賣人とする單一制を維持するも、糶行爲につき京都の如く糶場を五ケ所位に增加せよといふ案にして某々氏等はその許可を受くべく旣に當局に出願したとも傳へられてゐる、然し當局では右にいふが如き弊害を殆ど認めてゐらず、從つて糶場を增加する必要もないといふ意向を有つてゐるやうである

そういふ運動が行はれてゐるとは思はない、話があるといふ程度のものでせう、そしてその根據は糶場が一つでは獨占に陷り易く從つて種々の弊害を伴ふので、これを緩和する方法として十ケ所も設けてゐる京都あたりのやうに糶場を相當殖やしたらよからうといふのであらう

自主同盟座談會

全滿自主同盟長春支部では二十八日午後來長中の貴族院議員の一行と共に時局に關する座談會をヤマトホテルに開き頗る盛會裡に午後九時散會した【長春電話】

人事

同　教育課　伊藤通
　　衞生課　柚原益樹
　　　　　　時田定弘【奉天電話】

▲張本政氏(大連華商公議會々長)同上
▲江口定條氏(滿鐵副總裁)廿九日二十時着列車にて沿線より歸連
▲八木聞一氏(滿鐵秘書役)副總裁に同伴同上
▲本村一市氏(滿鐵理事)同上奉天より來連

市政公所囑託

滿鐵地方部より奉天市政公所囑託として左記六名廿九日來任せるがその所屬並に氏名左の如し

總務課　阿部太郎
財務課　松田進
工程課　河野要三

大觀小觀

日本は爭闘に強いが宣傳には弱い、支那は爭闘に弱いが宣傳には強い▲日支の對照は相變らずだ▲遠慮勝ちな日本側の回答若くは聲明に比し、支那側の露骨な宣傳振りは一體何うだ▲ハルピンや内蒙や北寧鐵路などが何時の間にか占領されたことになつて居り▲支那の旅客列車に爆彈が投下されたり、何も知らぬ良民が掠奪や虐殺に遭つたり▲それは勿論支那敗殘兵や馬賊の仕業だらうと思つたら▲支那の對米回答にはチヤンと日本軍隊の遣つたことになつて居る▲驛から驛へ騷々しく出られては流石の日本側も敗北々々宣傳だけは相變らず支那は強い▲軍隊慰問の市議軍二名を減す、今更馬鹿に遠慮深くなつたものだ▲軍隊慰問で思ひ出したが中には飛んだ慰問もあると云ふ評判▲旅費討伐や軍隊慰問の代りに利權時代利權慰問――などは評判だけでも面白くない▲大連市民の代表者中にはそんな人はあるまい。

本日鹿報を添ふ

軍備一年休止案委員會にて可決

けふ聯盟總會に上程

【ゼネヴァ二十八日發】伊太利外相グランヂ氏の提唱にかゝる國際軍備一ケ年休止案の審議を行つてゐた聯盟總會第三(軍縮)委員會は今夜の會議で軍備一ケ年休止賛成決議案の草案を可決して、直に聯盟總會に回附した、聯盟總會は明二十九日の會議に此れを上提する模樣である

市況(廿九日)

株式

内地株强合　當市小睨り

内地主力株の强保合を眺めて當市東新引一圓高

◇延取引(單位十錢)後場

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	八〇	八〇	八〇	八〇
新豆	二一四	二一四	二一四	二一四
錢鈔	一	一	一	一
新氷	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
新大	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
新東	天二	天二	天二	天二
新鐘	奈二	奈二	奈二	奈二

特產

一服的に豆と粕反撥

後場の定期は前場一齊軟弱の後を受けて一服的に大豆、豆粕は反撥し豆油は保合、高粱は不申閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(反撥)單位厘　限月・寄付・高値・安値・大引
十月末　三三〇　三三〇　三三〇　三三〇
十一月末　三三〇　三三〇　三三〇　三三〇
十二月末　三四〇　三四〇　三四〇　三四〇
一月末　三三〇　三三〇　三三〇　三三〇
出來高　百四十八車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(反撥)單位厘　限月・寄付・高値・安値・大引
十一月限　一三〇　一三〇　一三〇　一三〇
一月限　一三〇　一三〇　一三〇　一三〇
二月限　一四五　一四五　一四五　一四五
出來高　一萬八千枚

▲豆油(保合)單位錢　限月・寄付・高値・安値・大引
十月限　一四〇　一四〇　一四〇　一四〇
十一月限　一三〇　一三〇　一三〇　一三〇
十二月限　一三〇　一三〇　一三〇　一三〇
一月限　一三〇　一三〇　一三〇　一三〇
二月限　一三〇　一三〇　一三〇　一三〇
出來高　三千五百箱

▲高粱(出來不申)
▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)
混保(袋込)大豆(裸物)　出來不申
普通(袋物)大豆　出來不申
豆粕　一八二〇　一八二〇
出來高　一萬二千枚
豆油　出來不申
高粱　出來不申
包米　出來不申

錢鈔

標金强調　當市緩む

標金の强調を眺めて當市一段と緩んだ

◇定期取引(單位錢)
期近　寄付・高値・安値・大引
遠期
出來高(期近)三百九十四萬圓(遠期)

◇現物取引(單位錢)
銀對金　銀對洋　金對洋
一時半
二時半
三時半
出來高(銀對金)二萬四千圓(銀對洋)一萬一千圓

商品

受渡休會

上海爲替情報

海外銀期待外れに昨日下げたのを訂正し十五兩に放れて寄り元茂永大連筋買ひに煽りして居たが正金瀧豐物十二月七片賣り大連筋は一五五兩から一五四見當賣り三井正金買ふ弗銀行間の出來値は三十二弗に八分一にて日米爲替換算四九、〇六となる故國としては此邊値頃にて海付くものと見て銀行筋も買氣乏しく標金は日本人との取引を拒絶銀行も含まれて居るので此後の日支經濟絶交懸念され從つて商内少く交易所にも日商の出入を禁止するとの貼紙が出て居る有樣である

上海標金

寄値　六九一兩〇
高値　六九七兩〇
安値　六八六兩二
引値　六九四兩八

奧地市況

▲奉天票　一三〇、〇〇
▲奉天大洋　四五、五〇
▲開原大洋　二二六、五〇　二三七、〇〇

市場電報

安東

▲安東鎭平銀　現物　四五九〇
當限　六五八　六五四
先限　六六四　六五六

神戸特產

大豆現物　三九〇
大豆先物　二八〇
豆粕現物　一〇二
豆粕先物　二〇五
滿洲小麥　三一〇
豆油現物　一五三〇

大阪株式

銘柄・後場寄・後場引
大株　六四二〇　六七二〇
大新　五八一〇　五九〇〇
鐘紡　一五二九〇　一五四七〇
鐘新　六二九〇　六三八〇
東株　不申　不申
東新　一〇二九〇　一〇〇三〇
日糖　不申　不申
郵船　三三四〇　三三四〇

東京株式(短期)

寄値　東新　一〇三三〇　鐘紡　一五三五
引値　一〇二六〇　一五四五〇
高値　一〇三〇〇　一五五五〇
安値　一〇一三〇　一五三五〇

寄値　鐘新　六二一六〇　滿鐵新　二四五〇
引値　六二三〇〇　不申
高値　六三四〇〇　二五〇〇
安値　六二一六〇　二三五〇

横濱生糸

限月・後場一節・後場二節
十月　五六六〇　五七二〇
十一月　五六九〇　五七〇〇
十二月　五六八〇　五七四〇
一月　五七〇〇　五七七〇
二月　五七二〇　五七八〇

神戸期米

限月・後場寄・當限落・後場引
九月　一八七二
十月　一九一〇　一八七四
十一月　一九一三

東京期米

限月・後場寄・當限落・後場引
十月　一八六五　一八七五
十一月　一九〇九　一九一九

大阪期米

限月・後場寄・當限落・後場引
九月　一八七四　一八七一
十月　一九〇六　一九一七
十一月

家庭

慰問袋

きのふ第一回の發送を終る

けふ第一回の募集を打切る　未屆の方は至急に

慰問袋の受附は日毎に激増して二十八日までに本社滿日婦人團本部まで持込まれた慰問袋の數は六千二百七十四個に上りました。この慰問袋は片つぱしから諸商店より寄贈された本箱に詰め頑丈に荷造りのうへ二十九日先づ六十一箱四千五百六十一個を二十臺の荷車に滿載して關東倉庫を經て滿洲各地に在る、動軍人並に警察官吏に宛て第一回の發送を終りました、なほ慰問袋の第一回募集は今日限り打切りますから未だお屆なき方は至急今日中に便宜左記の箇所へお屆け下さい

▲滿洲日報社内　滿日婦人團本部
▲沙河口　岡榮新聞店
▲濱速町　宮崎時計店
▲伊勢町　熊井洋行
▲連鎖街　備後商會
旅順滿日支社
滿日金州支局
滿日普蘭店支局
滿日貔子窩支局
滿日周水子販賣店
滿日城子瞳販賣店

慰問袋受附數

廿七日　▲一個宛鬼塚新治、池田やす子、燕井キヲ子、幸福すま子、梅本みつ子、直塚すて子、山田隆三、及川儉、最上五郎、山口洋行、井上きぬ、大連醬油會社、正木嘉一郎、同小千代、門田藤子、土川卓郎、松田松、吉田みき子、奈良島みち子、清水なつ子、大島春子、大西榮子、榮まん、岡照子、宮本かぎ、宮本壽之助、作田ミツエ、望月清郎、安岐阪市、宮松初枝、大野美都、仙波八重子、青田政子、三葉屋、香井隆三、菊岡博、勝山茂子、祐川マヤ子、長瀬喜八郎、明治軒、川染照、藤田、杉本、岩切、矢野ミサチ、中野市郎、佐田みえ子、野中種子、名藤秀子、中村、大川笑子、山岡綾子、荏崎カヨ子、扇一雄、大連亭支店、上郡山、星野重藏、大前、平林、平田、高宗格次、川添フジ、比良、高、堀家滿、北林照子、相部藤兵衛、向山武、濱岡てつ子、小林五郎、松尾ユキ、森フジ、橋川伊都子、吉田はる、原田愛子、千本木幸子、魚住雅一、吉原すみ子、本田洋行、高津久子、長斐、大野鉄三郎、直美、貝瀬、小西榮治、福田かつ、村山すえの、千葉かず江、福井新郎、本部日出子、中村よし子、萩原光雄、秋山正子、下村貞子、林半九、高來ノブ子、櫻井鋭二、淺野、有馬重美、山口みつ子、中川エイ子、林田ウメノ、崎山靜子、龜田初次郎、藏田信治、藏田絹子、富田道子、富田洋子、富田敏子、本田清、田中敏國、本田久美、藤田ハツヨ、川野正利、藤田泰輔、岡田藤井ちよ、渡邊魚店、志摩、宮崎柳平、福島ぬい、橋本ヤスリ店、鈴木、今城仲代、二階英夫

▲三個宛安藤サク子、谷山京子、助川ハヤ、山田和一郎、服部富子、齋藤、吉田康、松岡勝彥、矢作ヒロ、内藤彥三郎、丸峯運送店▲四個宛西村一郎、武田▲五個宛三浦順郎、一陽軒、二神太田悦治、内藤さち子、池上、宮本ふく子▲六個中村元▲七個松崎榮援▲八個東瀬戸援▲十個宛鈴木、久松、五十嵐兼司、錦水、山田履物店▲十五個宛ミドリカフエー、無名氏▲廿八個旅順支社援▲二千個大谷派眞宗婦人會

計　一千三百八十五個

數多いシドニー動物園のお猿さんから

選び出されたミセス・モンキー

赤ちゃんの

お乳を離すに　今がよい

で、その準備には斯ういたします

すつかり秋になつて寧ろ重ね着さへほしいこの頃の朝夕にはさみに新たな食慾を覺ます、馬のみが肥ゆるのでなく私共も確に健康な食慾を覺ゆる時です、一年近くもお母さんのオッパイだけで大きくなつた赤ちゃん方もこの頃ではいろいろした食物を欲しがられるでせう、ではもう

◇…ボツボツ 離乳の準備にとりかゝられては如何ですか？一體に日本人の子供は大切にしすぎる結果離乳期が大變おくれてゐるやうです、しかし母乳の成分は赤ん坊の歯が出るまで即ち咀嚼する事の出來ない半年か八ヶ月位までの赤ん坊に充分なだけの成分しか含んでゐませんので母乳ばかりで一年以上も赤ん坊を育てやうとするならばきつと營養不良や其他の悪い結果を招く事になりませう、さいつて母乳から一足飛びに他の食物にうつるさいふ事は、今まで家庭で自由氣儘に遊んでゐた幼兒が急に小學校に上つて嚴格的な訓練を受けるよりも

◇…赤ん坊に とつては更に烈しい生活上の變化に違ひありませんですから離乳させやうとするならばよほど細心の注意をもつて長い期間に亘つて徐々に乳から他の食物にうつるやうにしなければ後に大きい悔いをのこすやうなことがあります、そのため暑い間離乳を見合はしてゐた方も澤山ありませうが、かういふ方はこのよい氣候に一日も早く離乳にとりかゝらなければなりません、さきに申しましたやうに離乳は赤ん坊の生活にとつての一大變化ですから充分氣長に、毎日或は隔日に少しづゝ授乳をへらして食物を殖やし漸次に乳離れをさせるやうにしなければなりません、若し毎日午前六時、十時、午後二時、六時、十時、夜半の二時と六回母乳を與へてゐた赤ちゃんであれば

◇…最初の日 に適當な時間を見計らつて一回だけ母乳をやめて牛乳又は牛乳に重湯を混ぜたものを百瓦ほど與へて見ます二日位樣子を見て赤ん坊に別に異狀がなければ更にもう一回母乳をやめて牛乳か重湯をわつたものを與へます、若し百瓦で足りないやうでしたら多少の母乳で補つてもかまひません、かうして又二三日樣子を見て別段障りがなければ重湯に代へ次に重湯を毎日一匙づゝ殖やし漸次におまぢりからお粥さいふ風にかへて行きます、このおかゆは米の十倍以上の水で一時間半から二時間もトロ火でゆつくり煮たものでなければいけません、これでも障りがなければ更に一回おかゆをふやすさいふやうにして一ヶ月位の後には

◇…食事時間 を午前六時、九時、正午、午後三時、六時と夜一回さいふ風にし朝晝晩の三回はお粥にして間の時間にプッディングパンをやるとか、或は朝晝晩はお粥をやるとか、一合の牛乳を添へるさかいふ風にしますと大低支障なく割合に樂に馬鈴薯、ビスケット等の五匁乃至離乳が出來ます、若し滿一年以上も母乳だけ與へたりしますと子供が段々智慧がついて乳房にばかりぶら下るやうになり母子共に健康を害してしまひます、そしてお母さんが一時姿でもかくさない以上なかなか離乳することが出來ないやうになります

おはびらで

お酒を飲む　禁酒國人

お巡りさんはお金持

旅順醫院眼科部長　宮下忠雄博士談

今春來約半歳に亘り、歐米各國に於ける病院制度を視察した關東廳旅順醫院眼科部長宮下忠雄博士は、先ごろ郵船淺間丸で歸朝したが、これはそのお土産話【東京特信】

◇…半歳は夢の如く過ぎた。旅順を出發したのは、正月であつたが、途中シベリアの酷寒に先づ驚いた。ノボシビリスクでは零下五十度で、乘客の一露人がチョッさプラットホームに出て顔に凍傷を起すさいふ風であつた。

◇…ベルリンについたのは、丁度紀元節で、異郷に在る同胞さ共に先づ皇國の隆昌を祝つた事である。獨逸に於ける各地の有名な病院や醫學者を一通り訪問、見學して、それから伊太利、ハンガリー墺太利、或はチエッコ、スロバキヤ、瑞典、諾威、丁抹、和蘭、白耳義を視察し、佛蘭西をチョッさ見て、英國から米國に渡つて、歸朝したのである。

◇…自分は眼科專門であるから主さして此の方面の先輩や其の病院施設を視察して來た譯である。率直にいふさ、歐米人は概して手先が無器用だから、手術するにも非常に器械力にたよる風がある。それだけに器械力の發明が進んでゐる。病院さ器械の立派なのは何さいつてもドイツが一番で、診斷する器具の進んでゐるのは、ドイツについでイタリーである。デンマークの病院は細い點に進歩が認められた。

◇…フランスの如きは、これさ趣きを異にし、手術でも餘り器械を用ゐず、醫師も敏捷で、手術から繃帶まで自身でやるさいふ風であつた。それがドイツさなるさ、大勢の助手さ各種の器具を用ゐ、やり方が一體に大げさである。

◇…米國は、一般に設備がよくない。然し醫學者は非常に民衆的で、患者に對しても親切である。われわれに對しても非常にオープンハアトの態度で自分等の研究を見せて呉れた。たゞ驚いた事は、禁酒國のアメリカが、近來、殆ど大ピラで酒を飲み出した事であるめいめい自宅で酒を造つて飲んでゐるらしく、ビールの如きは家庭用さなり、主人公のみでなく奥さんまで平氣で用ゐてゐる。

◇…きいて見るさ、これは飲料水で酒ではないさいふのだ。夕方になるさカフエーで相當強い酒を密賣するらしく、自動車の運轉手などは、みんな酔つてゐる。紐育の盛り場では大ピラでビールを飲んでゐたものもあつた。警官に見つかつたらコツソリ袖の下を使へば檢擧しないさいふ仕末で、米國の警官は近ごろ大抵小金を貯蓄してゐるさ聞いた。

◇…ホテルなども非常に大規模のものが多く、ボーイにチップをやる者が少くなつた。入浴室には冷たいソーダウオーターなどがあり氣が利いてゐるさ思つた

童話　鐵砲（五）

政本いさむ

金兵衛清定は島主に頼まれて引一の仲間だから、何さいふかも知れないが、どんな難題でも引受けよう、さう決心した清定は一人で船に近づきました。船に乘込むとすぐチエモトを呼んで貰ひました。

チエモトは金兵衛が何なしにわざわざやつて來たのかと不思議に思ひました。

金兵衛はこれ迄の一部始終をすつかり物語つて、是非教へてくれろやうに頼みました。

チエモトは、金兵衛の涙を流して物語る熱心振に、すつかり動かされて、しばらくじつと考へてゐましたが、何か思ひついたらしくにつこりして

「でもそれは出來ない。船長からも固くさめられてゐることだし」

金兵衛はがつかりしましたが、「さうでもありませうが、何さか曲げてお願ひしたいもので、清定一生のお願ひでございます」

「どんなことでも？」

チエモトは小聲でいひました。

「私に出來ることなら、どんなことでも致します」

一寸小首を傾けてゐたチエモトが金兵衛の顔を見て

「では、お教へしよう」

「え、教へて下さるか」

金兵衛は躍り上つて喜びました

「靜かに！」

チエモトはそつとあたりを見廻しました。

「明日にもそちらへ參つてお教へしよう。だが、わしのいふ事は屹度聞いてくれるだらうな」

とチエモトは念を押していひました。

「確に、でもあなたのお望みさいふのは？」

「いや、一寸言ひにくいが、無理なことは言はない。お前には出來ることだから」

金兵衛は身體中がむくむくするやうで、嬉しくてたまりませんでした。

「確に、明日はお待ちしてゐますよ」

金兵衛清定は島主に頼まれて引受けて來た鐵砲の製造が、どうしても成功しないのであります。

「命に代へても」と島主の前で誓つた言葉がはつきりさ思ひ出されます。もう屹度島主もお待ちであらうに。もしこれが出來ないとなら何としよう。

切腹してお詫するより外はないと覺悟致しました。

然し自分が腹を切つても、結局鐵砲は製造出來ないんだ。腹を切ることはいつでも出來るそれより何とかいゝ方法はあるまいか。

とや角と考へあぐんだ末、やつと思ひついたのが「チエモトに教へて貰はう」といふ事でありました。

鐵砲を二千兩もで賣り付ける積

チエモトの顔色の變つたことに何かわけがあるのではないかと思ひました。

涙を流さんばかりに頼みました

「もし教へて頂けるなら、どんなことでも致しますが」

科學画報　十月特輯

全頁アート紙を使用・雜誌界空前の大英斷

定價六十錢　送料三錢

驚くべき最新の戰車

軍の機械化と共に益其新鋭を増して來た最新タンクの構造と性能とを解説したる大文字　陸軍歩兵大尉　吉松喜三

最新知識

▼革命的の超短波無線通信　武田元敏
▼樂器の王パイプオルガン　森治夫
▼飛行機を操縦するロボット　我孫子三郎
▼新裝成りたる米國戰艦　雨宮厚作
▼飛行機を積む最新式潜水艦　服部豊彦

宇宙線とは何か

地球の外界から間斷なく降り注いで來る問題の宇宙線、又如何なる物質のためにも吸集、散亂等により其進路を防げられる事のない宇宙線の正體に對する筆者獨特の最新研究の發表、刻下必讀の讀物　理學博士　仁科芳雄

自然界觀察

▼多產鷄は何故生れるか　芝田清吾
▼成功した牛の人工受精　羽部義孝
▼植物學が語る秋の七草　本田正次
▼面白い竹類の變態畸形　竹内叔雄
▼葉の神秘な作用と其驚異　岡現次郎

リンデー大佐物語

一萬二千粁の征空レコードを作つた空の英雄、リーデー大佐の飛行と經過と其人爲りに詳細　妹尾太郎

特別講座

世界發掘物語　一氏義良
地球生物の進化　早坂一郎

▼犯罪に使用されたる
銃器彈丸の鑑定

科學探偵術の發達は、彈丸に殘つた指紋により、其眞犯人を發見するに至つた。其鑑定の興味ある物語の詳細を發表した獨特記事　越川一男

製作記事

ロケット模型飛行機の作り方

天空飛行の出來るロケット飛行機の誰にも出來る製作法を發表す　我孫子三郎

農學博士　日野巖氏謹著

聖上陛下の生物學御研究

菊版二百六十頁上製　定價一冊　貳圓　書留送料十七錢

生物學者としての御研究の御業蹟を謹記せる御聖德記

陛下が一生物學者として親しく顯微鏡を取らせ給ひ、生物學上に重大な寄與を遊ばされつゝある事は、洩れ承るだに景仰に堪へない次第であります。著者は陛下の御幼少時よりの科學に對する深甚なる御趣味と最近に於ける生物學上の御業蹟の數々をあらゆる資料を基礎とし、且は一々奉仕の各官に訊し原稿完成後は山川博士、御研究の御補導を承つてゐる服部博士、土屋侍從等の校閲を經て最善の注意を拂ひ完成したのが本書で、科學者としての陛下の御聖德を傳へたものは本書が最初であります

謹んで全國民に捧ぐ

發行所　東京市神田區錦町一ノ一〇　振替東京四三二四〇番　新光社

鼻が高くなる

▲隆鼻器無料貸與▼

鼻は人生の花で最も大切な物で幸さ不幸の分れ道は眞にこの鼻の恰好一つである青年男女の内で▲獅鼻▲だんご鼻▲わし鼻▲裏天鼻▲其他鼻の格好の悪しき人○本法は簡式の注射隆鼻術でなく自宅で秘密に人の知らぬ間に鼻の形ちのよくする新案特許の隆鼻器を希望者に無料で貸與すハガキで申し込めば療法見本を進呈す

東京市牛込區通寺町廿二番地　東京醫療器械製作所

絶對に

無鉛無害のチタニューム白粉　エリのお化粧専用白粉です。とてもよくツイてはげたり、落ちたりお召物を汚したりしません。

眞實に

魅力の白粉です。幸福の、愛の白粉です。あなたのウテナ固煉白粉です。

白色、肌色、健康色　各色　五十錢

大景品の抽籤券つき

H. YUTA

ウテナ固煉白粉

東京本郷　久保政吉商店

6.9—811

御待兼の　金州新澤庵漬が出來ました

何卒御用命願ます

山縣通　岩崎商店　電話四六四八番

簡便なる金融機關

質屋の活躍

質物の持込入質の場合は若狹屋へ（一本用品を取扱ひます）御通知次第特別高價に買受けます

勉強　確實　嚴守　秘密

大廣場二葉町四ノ五八　若狹屋質店　電話六六三四番

乳兒・幼兒・専門

大連市信濃町電車通中程　幡井醫院

電話四八五九番

小兒科専門　金子醫院

醫學博士　金子甚藏

大連西通七八◆電七六六一　トキワ橋西広場電車通中側◆

滿日各地版

四洮沿線の警備に我軍の出動を請願 敗殘兵や馬賊横行

【鐵嶺】昌圖縣政府は縣內に於ける治安維持は必ず責任を以てこれにあたるといふ條件のもとに公安大隊の武裝解除を免ぜられたものなるが昨今の縣下各地は誠に物情騷然たるところに敗殘兵や馬賊の横行甚だしく殊に四洮沿線管內は九頭目聯合の優勢馬賊が跳梁し去る廿四日の如き八面城を包圍して一時は市街にまで襲擊し來り在留邦人の生命財產も危險に瀕する程の有樣でこれには縣政府も全く手のつけやうなく安全を保し難きこと明瞭となつたので遂に縣長祖繩廣は二十七日八面城の我領事館出張所に對し四洮沿線方面の治安維持に對し日本軍隊の出動を請願して來た

嘆願するのをむげに銃殺 家屋には放火灰燼に歸す 德廣氏遭難の詳報

【鐵嶺】新民縣下蘇旅堡子居住邦人原籍高知縣岡豐郡岡豐村字小龍特務商德廣貢(二)が去る廿四日敗殘兵のために虐殺されたりとの報は既報せる處なるが未だ詳報なきため幾分半信半疑とされてゐたが廿七日新臺子より派遣された調査員の報告によれば右虐殺事件は事實なることが證明された、即ち二十四日(時間不詳)約五十名の敗殘兵は德廣方を包圍攻擊を開始したが德廣は豫てより家屋の內外に嚴重なる防備を施設しゐるを以て屋內より頑强に應戰したるも敵軍容易に去らず益々攻擊するので遂に德廣も敗兵團に對し要求に應じ停戰の交渉をしたゝめ敵は金品と銃器を提出せしめた上屋內に侵入大掠奪を開始し德廣が避難せんとするや逮捕緊縛し哀訴嘆願するを肯かず部落の西北方に連行銃殺し死體は村長に命じて埋沒せしめ住宅は火を放つて灰燼とし引揚げたものである

鮮人續々避難

【鐵嶺】敗殘兵の横行は各地鮮農を極度に恐怖せしめ安全地帶を求めて避難する者陸續として鐵嶺にも大甸子を始め營盤牛莊山其他より來るもの多く二十三日以來十一家族五十二名に達したるが之等は何れも家を焼かれ家財を奪はれ重傷を負はされ辛苦完成せる八十五天地の水田も收穫を目前にしながら放棄避難の止むなきに至つたものである

軍司令官から小冊子を配布

【遼陽】本庄關東軍司令官の名を以て時局に對し帝國の方針と中國人の誤解なきを期するため城內外華人にパンフレットを配付したが楊縣長亦治安維持につき管內住民に布告するところがあつた

三輪大隊當分安東に駐屯

【安東】大隊本部の安東引揚げ內命は既報の通りであるが右に對し三輪大隊長は改めて關東軍司令部並に所屬師團の兩者に向つて安東駐屯の必要なる點につき意見を開陳したる結果改めて命令なき限り現狀の儘である旨二十七日三輪隊長より發表された

電線を切斷

【遼陽】遼陽南方首山驛の電柱四十四號の碍子十五個を廿四日四十六號の碍子六個を廿八日破壞された事が廿八日發見されたので遼陽署から新妻司法主任外二名現場に臨檢した處破壞電柱下には數十箇の石塊あり或は附近部落民の惡戯ではないかと認めらるゝので楊縣長に部落民の嚴重取締方を交渉した

長春の非常市民大會 廿七日開催

軍人の留守宅へ慰問使派遣 遼陽時局委員會決定

【遼陽】遼陽時局委員會は廿八日午前十時半から滿鐵社員俱樂部で開催種々協議の結果左の如く決定した

▲出動部慰問使派遣の件(軍司令部、第二師團司令部、歩兵第十五旅團司令部、歩兵第十六聯隊)は地方委員、區長、新聞記者團各代表一名宛

▲留守隊及出動軍人留守宅慰問の件(時局委員を六班に分ち)廿九日午後訪問の事

▲警察職員、在鄉軍人の警備團に對しては追つて市民より謝意の方法を講すること

▲時局委員會に要する經費は滿鐵側と市中側在住者と折半負擔のこと

▲時局委員會に常任委員を設け地方事務所長に員數と氏名の選任を一任

因に慰問袋は廿八日正午迄の締切二千二百五十六個であつた

旅順市から慰問使

【旅順】出動軍隊、警察官吏並に傷病將士慰問の件に關する旅順市會は二十八日午後一時から會議室に於て開催市長の説明あり附議の結果永山市長の他市會正副議長、市參事會若くは市會議員の中より一名は來る三日出發關東軍司令部を始め各部隊を訪問親しく慰問を行ひ同時に酒肴料を贈呈し尚又入院中の傷病將士に對しても慰問の上見舞品を贈ることに全會一致可決同五十分散會せるが市長同行の議員は市長において銓衡決定する

慰問品寄附者 關東軍受付

▲慰問金 金五百圓奈良縣丹波市町三島天理教管長中山正善、金一百圓奉天萩町十一番地原田孝七、金五十圓曹洞宗滿洲布教團、金一百圓曹洞宗大本山永平寺、金壹百圓奉天木曾町十一番地奉天醫師會長西田讓一、金一百圓滿鮮支那視察團貴族院議員第一班長大久保立、金六十圓妙心寺派布教會奉天駐在員、金五千圓滿鐵社員會、金一百五十圓大本教出口日出麿

▲慰問袋 六十個天理教滿洲傳道廳平野好松、五百個京都本派本寺の代表藤永彰隆、八十七個本派本願寺特命慰問使津村雅量、二百個奉天宇治町五龜山俊定、五百個奈良縣丹波市町三島中山正善、一〇一五個大連市沙河口在鄉軍人沙河口分會、青年聯盟沙河口支部、滿鐵社員會沙河口連合會、修養團沙河口支部、菓子朝日軒女給一同代表植田節子、辨當神習會奉天婦人會、守札(三〇〇個)長崎市八幡町宮地嶽神社、一百六十個旅順第一中學校、二百個旅順高等女學校、二百十四個安東地方事務所、二百個奉天宇治町上田光子、七百四十二個大連神明高等女學校、三百三十二個滿鐵婦人社、酒井光子、一萬個森永滿洲販賣株式會社、三千五百五十個天理教管長中山正善、三千個(菓子)奉天看護婦篤志婦人會

遭難鮮人避難 着のみ着の儘

【鐵嶺】新臺子西方腰長溝沿部落には在住鮮農九戸あり今回の事變に際し敗兵團から最も慘虐を加へられた部落で、高祥、朱光瑞、金斗吉、金聖模、金賢龍、柳白元の六戸は家を焼かれ家財は掠奪されて着のみ着の儘新臺子に避難し金南和(三九)柳白元(三九)の兩名は毆打

安東驛通過貨物事變以來激減す 平常の半數にも達せず

【安東】時局突發以來安東通過並に到着發送共貨物の輸送は激減し目下平常の半數にも達しないが支那人中には時局が平靜に歸したるにも拘らず取引を差控へる向もありて當分は一般貨物の輸送は現狀の儘と觀られて居る、尚安東驛は目下連絡以來の一般貨物並に旅客の取扱ひを開始し殊に貨物吸收については大童になつて活動を開始し最近貨物線內に案內係を專任し貨物に關する一切の相談に應ずることゝなり目下吸集策につき努力中である

滿蒙に亘る山河を駈け巡つた鬼羽山 四平街で戰況を語る

【四平街】鬼羽山の驍名を轟かし滿蒙の山河を風靡せる同部隊は目下鄭家屯に於て休養の姿勢をとりつゝあるが、二十七日午後一時二十一羽山少佐は或る任務を帶び當四平街守備隊司令部に來り各地新聞記者及び特派員に左の如く語る、連日に亘る軍務に些の疲勞の色を見せず日燒けた顔に精悍の氣を湛へてゐる內にも一脈温情の籠れるを窺はせ、双頰に蓬々たる髯の生じたるを見るも如何に東奔西走席暖まるの遑なきかを物語つてゐる「我軍の士氣は益々旺盛で今や興奮の極に達し部隊の中には動やともすれば氣の違ひ相な者が澤山居る」と前提して約四十分の長きに亘つて戰況を語り續けた

◇

去る二十二日四平街を出發してより何等の變化なく鄭家屯を占領、こゝに滯留する內二十四日朝に至る植田中佐の率ゐる大隊が到着したので大に力を得、之と合隊して洮南を占領の目的で鄭家屯を出發した、我が軍の士氣は愈々揚り裝甲車の前部には日章旗を揭げ後部には二輛の空貨車を連結した、這は一は傷者を收容し一は戰死者を安置する目的であつた、而も負傷者を收容する貨車には既に軍醫が乘り込んでゐたが此の事實を知つてゐたものは自分と參謀、副官軍醫のみであつた、自分は出發に臨み「假令自分が戰死しても決して戰死車に收容してはならぬ、戰死車に入るれば部隊の意氣が阻喪する故若し戰死しても部下の者に向つては大丈夫だといつて傳へて呉れ」と既に戰死を覺悟して洮南驛に着いたのである。

◇

在住邦人の歡呼は今更嚴々を須ひないが下車すると共に不思議に感じたことは彼の張海鵬の屋上に日章旗の翻へつてゐたことだ、竹村滿鐵道事務所の案內で先づ公所に入り此處に張を召喚したが彼は態を厚うし辭を卑うして無抵抗にて武裝解除を聲明したので自分は「決して貴下及び貴下の部下の武裝解除を欲するものではない、現時當地方は匪賊横行頻發の由なれば貴下は速かに部下を集め地方の安寧秩序に當られたし」と答へた其時顏色蒼白となつた傳令使が一通の書狀を持つてきたそれは本部よりの特電で「至急洮南より引返せ、鄭家屯以西に我が軍の出動を許さず」此の特電に自分は素より並居る竹村君も顏色を變へたが司令部よりの嚴命犯し難く鄭家屯に引揚げることに決した

◇

その時竹村君は「では一つ洮南市中を威示行軍をやつて貰ひたい」との懇願によりラッパの音を響かせつゝ約二時間以上洮南市內を行軍して驛に遡りつき乘車したがその際在住邦人は夥つて日本酒、ブランデー等を車內に持ち運び乾盃を始めた、お互に醉ひが廻るにつれ隨分面白い話が續出する內彼方此方に男の泣き聲が起つて部下の兵士の中にも貰ひ泣きといふ涙を眼に湛へてゐた者も澤山あつたが「國の鎭め」の吹奏を最後に洮南を後に親愛なる邦人と訣別することゝなつた、貰ひ泣き聲と萬歳の交錯して劇的シーンは展開された斯くして部隊は鄭家屯に引揚げたが途中線路警護の任に在る巡警は武器を所持させてゐた筈にも拘らず皆丸腰でその任に當つてゐる聞けば「馬賊の襲來を受けて掠奪されたゝめだ」と鄭家屯市中に入れば到る處の門戸に「被搶一空」と特筆大書した貼紙がある。

古池のやうに靜かな長春 展開されゆく平和鄉

【長春】南嶺への逆襲敗殘兵の掠奪、東支南行貨車の遊擲、列車顛覆事件、又戰ひの餘燼は燃えつかない線香花火みたやうな小競合が各地で行はれてゐるが、北滿のわが權益の最北端たる長春は今や全く靜肅な街に歸つた、人心は日支人を問はず軍司令部の布告によつてホツとしてゐる、市の諸般の行政機關は何の支障もなく、すらく實行されてゐる、支那側諸機關の首、支那各銀行の行務再開、すべてが嘗て經濟界は安定の一途を辿つてゐる誰かつい數日前この靜かな町が湧き返るやうな戰爭へ戰爭への行進曲をコーラスしたと想像しやう、今では古池の水のやうに靜かだ、あの劍付銃の颯爽たる歩哨の姿も必要ないといはれてゐる市中を示威行軍した我が精銳なる軍隊の軍靴の正しいリズムが

何時

の間にか支那人に大きな感じを與へてしまつてゐる、支那人自身があの足ごり確なわが軍の威容に壓倒され、驚嘆してゐるのだ、今日では「自分達も日本人になりたい」といつてゐる、大きな力の前に抱かれたいやうな感じは何時の間にか、一樣に持つてゐる、嘗て長春の街上でよく散見した慨歎、日、露、支、鮮人等の醜い爭ひが見られたがこの數日來の長春では見やうにも見られない今の所全くわが軍の前に擴げられた平和鄉だ、そして支那人は南支方面の抗日運動の

兇暴

な樣子を聞き傳へ「南方人は氣が違つた」と稱してゐる「長春迄行けば命だけは大丈夫だ、日本軍隊が保護してくれる」と地に逃げ込んだ敗殘支那兵の暴慮な掠奪を恐れた正直な土民達は安全な長春へと或は徒步で又列車によつて運ばれその數は夥だしいものである

皇姑屯驛平穩

【奉天】北寧線皇姑屯驛は廿六日より我憲兵により維持されてゐるので至極平穩である

安東附近平穩

【安東】目下鐵道沿線は絕對に安全であるが鐵道沿線から四五里程離れた部落に於ては依然として流言が放たれ多少不穩の狀態を呈してゐると

支那側の感謝

【安東】支那商會會長は、十七日安東商議に荒川會頭を訪問し荒川氏の同道にて大隊本部に三輪大隊長を訪ひ銀行、票以來財界も大いに安定し日本軍の嚴肅なる警戒に依つて治安維持も完全に保持され市民も感謝しつゝあると旨を述べ深甚の謝意を表した

列車妨害

【遼陽】遼陽署管內十里河驛北方三千四百五十米突(大連起點三百卅六粁七八八)の地點にて廿六日午後四時から五時頃迄の間に下り線路に石塊を並べ列車妨害があつたのを同日下り廿三列車の機關士が發見急停車して除去したので幸ひ大事に至らなかつた

鮮人密輸者

【安東】二十六日午後八時半頃安東寺前にて鮮人服の男が停止するを認め時節柄線路妨害を爲す者と認め直に取押へ取調べたるに鮮人の阿片密輸入者なる事が明かとなつた

軍隊の見舞

【奉天】三浦內務局長は塚本長官代理で上島驛と共に廿八日朝來奉同軍司令官、守備隊司令官等を訪問し陣中の見舞をなす處あつた

沿線往來

▲三浦關東廳內務局長 二十八日朝來奉

▲村上滿鐵理事 二十七日歸連

▲貴族院議員鮮滿視察團一行 二十八日長春へ

新發賣

サーワ白粉

チタニウムに 特殊の成分を配合して 絶對に無鉛無害 而も含鉛白粉同様に附着よく 伸び良く 水刷毛がよく利いて 特別の白さに冴え 汗に崩れず剝げ落ちず 頗る永保し 白粉界に一新紀元を劃した

貴顯 名流 貴婦人 御愛用
大日本俳優協會推奬 日本俳優學校專用
第三回化學工業博覽會優良賞受領

此特長を御覽下さい

(一) 普通白粉とは全く原料を異にし、絶對に鉛分を含まず、然も含鉛白粉と同様に附着伸自由で、汗に崩れず、また剝げ落ちません。◇

(二) 濃淡の化粧總て水刷毛が能くきゝ、水刷毛を使へば使ふ程艶良く冴えに眞に生彩ある化粧榮と成り、また二重塗がよく利きます。◇

(三) 濃化粧襟化粧に極小量の白粉下を用ひる他は、ミツワ石鹼で洗ひ整へた地肌なれば、化粧下は小量な程却つてムラ無く附きます。◇

(四) 料に被覆力大に好く冴えるから、普通白粉の半量以下にて却つて以上の効果を擧げ、仕上りはサラ〳〵として白粉が浮きません。◇

(五) 乾きが頗る速いから、濃化粧しても襟を汚さず、又衣類に附着ても乾かして叩けば、粉末と成つて綺麗に跡無く飛んで了ひます。◇

(六) 含鉛白粉と同じにお顏面ばかりか、手足迄も湯化粧ができて、白粉が地肌に滲込んだ樣に美しく沈んで、驚く程永保ち致します。◇

(七) 此白粉で化粧して撮影した寫眞は、他の化粧の時の寫眞とは全く違つて目鼻立全くくつきりと、實に鮮やかな美しさに寫ります。◇

(八) 白粉焦せず斑點を作らず、又溫泉や海水浴に湯焦日燒を防ぎ、若し又内容が乾いても、化粧水か清水で溶けば新らしく成ります。

近來チタニウムを原料とし、或は之を配合した所謂チタニウム白粉と云ふものが數十種販賣されて居りますが、此等は三木元子女史が研究創製しましたものとは、全く種類を異にしてゐます。混同なさいませぬやう御注意を願ひます。

サーワ化粧品の種類と定價

サーワ固煉白粉 白色 肌色 各六十錢
サーワ煉白粉 白色 肌色 各三十五錢
サーワ水白粉 白色 肌色 濃肌色 各五十錢
サーワ粉白粉 白色 肌色 濃肌色 各四十錢
サーワ化粧水 四十錢
サーワ白粉下 三十錢
サーワヴアニシングクリーム 五十錢
サーワコールドクリーム 七十錢
サーワ口紅 三十五錢
サーワ頬紅 三十五錢
サーワクリーム白粉 五十錢
其他

發賣元 ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店
東京市下谷區二長町 營業所
振替東京七一〇番・電略〇ミヤ
電話下谷(83)一一〇一—一一〇五番

尾上菊五郎丈の鏡獅子の彌生とサーワ化粧品の種類 各縮寫圖

晩酌の盃を傾け乍ら 將校の談論に微笑
司令部では絶對に面會せぬ 多門第二師團長

小柄で色が黒くて眼鏡の底にギラッと光る鋭い瞳、多門第二師團長は全く精悍と云ふ文字そのものだ

出動 を傳へた、次の瞬間には、軍の力強い歩幅と共に長春に現はれ、ハッと思ふ間に、バタ〳〵ッと吉林を占領、三日目の廿五日には「諸君に出動して貰ふまでに行かなくてお氣の毒だ」と出迎への長谷部第三旅團長と冗談を交し身體に似合はない大きな笑聲を長春驛頭で爆發さしたものだ、本庄軍司令官と多門師團長が一緒になると何か事變が起ると軍部筋には豫言めいた噂を傳へて居たが俄然軍事行動の開始となり「矢張り

噂通り だつた」といふことになつたのだ、忙しい地方事務所三階の師團司令部に多門師團長を訪ふと誰とも面會謝絶、軍略上のことで頭が一杯だから誰れにも會はぬことにしてゐると笑はれたが、廊下を前こゞみに歩いて來る所をキャッチする、將軍は只一言「元氣にやつて居るから貴紙を通じ在滿讀者に傳へてくれ、麾下の滿洲各地をはじめ内地の各方面から盛んに勵まされるので自分達も大に責任を感じて仕事をして居るよ」多門師團長の

日常 は全く軍務に忙殺されて居ると云ふ形で、朝六時キッカリに宿所たる滿洲屋旅館にポッカリ眼を醒ますと、參謀連とその日の軍務の大體を打合せ、九時半には司令部に出頭、司令官室に這入つたらそれこそ最後滅多に外には出ない、何れの方面の人とも面會をしないことにして居る、各方面から集まる情報を綿密な頭でそれ〴〵處理すると滿洲の土地の新聞を初め内地の

新聞 通信を細大洩らさず通讀する、その努力だけでも却々六ケ敷い、そして二時半から三時ころ宿舍に引揚げるがその歸途を擁し常に活動寫眞班の襲撃を受けフキルムに收められる、夜は晩酌一本、せめてものホッとする時間である、若い將校連の談論風發の樣子を靜かに盃を含みながら壁の上で聞き入つてゐる、將軍は時折若い元氣な將校連の

賴母 しさにソッと微笑を洩らすといふ、この三軍を叱咤する精悍其ものゝ如き多門將軍にして子煩惱であるとは心嬉しい話ではないか。（寫眞は多門師團長）

病魔の挑戰に 惱む軍醫部
南嶺、寛城子戰の負傷者はいづれも經過良好

目に見えない病魔の挑戰に對し最も頭を痛めてゐるのは軍醫部である、戰ひの後では常に無理な行動の結果軍隊内に惡疫が流行するのを常とするが今次の軍事行動後の第二師團管下の衛生狀態について龜井第二師團軍醫部長は語る

目下のところ大した變りなく頗る順調にいつてゐる、敵の軍隊は目に見えるがどうも病菌ばかりは何處から忍び込むか判らないので

心配だ 常に軍事行動の後では赤痢發疹チフスのやうな猛烈な傳染力を持つた病氣が流行するので眞實はこれからが我々軍醫部活躍の時代なのである、彈丸の創などは治療になんでもないが流行病のみは頭を痛めるよ、今のところ二名ばかり赤痢患者を出したところだがもう二三十日するとチフスの潛伏期間が經過するから危いと思つてゐる日露戰爭の時も日清戰爭の時も敵彈に當つて

名譽の 戰死を遂げたものよりこの目に見えない病魔の手に命をとられたものがずつと多いのだから心配せざるを得まい次ぎに南嶺、寛城子の戰鬪に於て名譽の負傷をしたものはその後何れも經過良好である、既に全快したものもあるとするからその旨を皆さんに知らせて貰ひたい【長春電話】

奉天經由歐亞 連絡切符發賣

【東京特電二十九日發】滿洲事變勃發と共に鐵道省では軍部滿鐵の意見にて同地方不安のため旅客の生命財産の保障のため奉天經由の歐亞連絡切符の發賣竝に貨物の取扱ひを暫時中止してゐたが、既に秩序も回復したので二十八日軍部の保障を得て二十九日より旅客貨物の取扱ひを全部復活する事となつた

内地での取扱 右につき滿鐵々道部では左の如く語る

滿鐵では十九日の事變勃發と同時に奉天經由歐亞連絡切符の發賣を中止したが、その後旅客の生命財産に大して不安もない狀態であるので翌廿日より旅客貨物の取扱を開始してゐる、廿九日より復活するといふのは内地における貨客の取扱である

芝の增上寺で 盛大な追悼會
戰死者の靈を弔ふ

【東京特電二十九日發】國士館關係大民俱樂部に於ては今回の滿洲事變に於て君國のため犧牲となりしわが忠勇なる將卒二百餘名及び民間の殉難者に對し盛大なる追悼會を催すこととなつた、顧問には内田滿鐵總裁、頭山滿翁、德富猪一郎の三氏贊助員には若槻首相、犬養政友會總裁、松山本社々長等三十名が擧げられ十月一日午後二時を期して芝增上寺に於て佛式を以て嚴肅に追悼式を擧行の筈である、全國より各團體の代表者も上京し各大臣他官民の參拜があるみこみである

秋祭りの仕度
きのふ大連神社前で

交々辯を振つて 郷軍の意氣揚る
昨夜協和會館に於て 大連郷軍の時局大會

在郷軍人大連聯合分會では現下時局の益々重大なるに鑑み、會員五千餘名の所信結束を鞏固にし任務遂行に關し、これが對策を決議すべく、九月二十九日午後七時より協和會館に於て時局緊急大會を開催したが參會するもの一千餘名、先づ穗刈少佐の開會の辭あり、全員起立して國歌の合唱をなし、續いて岩井獻六氏は在郷軍人に賜りたる勅語の捧讀をなし、右終つて鈴木在郷軍人會々長の訓辭あり、いよ〳〵講演に移つたが、駒屋第一分會長は「時局と軍人の言論に就て」岩井聯合分會長は「日支衝突事件發端の眞相」高柳中將は「今回の事件に對し所感を述ぶ」と題の下に交々立つて熱辯を振ひ、大いに在郷軍人の氣勢を揚げ次に軍部並に外務其の他當局に對する大連分會有志としての聲明書の決議をなし、高柳氏の發聲によつて大元帥陛下の萬歲を三唱し、最後に穗刈少佐閉會の辭を述べ午後十時過ぎ盛會裡に散會した、尙當夜の有志決議文左の如し

現在の支那に於ける排他就中排日の根柢は頗る牢く情勢は時と共に益々惡化して終に軍憲までを侵し彼我兩軍の接觸する滿洲の如きに於ては虎視眈々其の兇暴を我軍に擬する久しく爆發は唯時機の問題たるべきは豫見に難からざりき事態は斯くの如し

我軍は日夜之に處して萬全の策を樹て遺憾なき任務の遂行に努力中果然茲に彼軍の暴戻は南滿鐵道爆破に因を顯はし而かも皇軍一度蹶乎として之に應じて起つや平素準備のあるところ疾風迅雷彼をして狼狽其の極に達せしめ終に無抵抗主義に藉口して其の責任を脱れんとするに至らしめたるは皇軍の威武を發揚せること高く吾等の感激措く能はざる處なり此時に方り吾等の義務として國防の完備を双肩に擔ひ直接這時事件に直面して滿洲に在留するもの益々一致團結輿論の喚起に努め國軍を支持し當局を鞭撻し嚴として軍現在の狀勢を確保せしめて其の間相互の諸懸案を一擧に解決し延ひて相互の和親を恢復し年來の國是を中外に宣示し以て有終の美を濟さんことを期す

右決議す

反日運動重大化か
若しこの儘遷延せば 恐るべき事態を惹起

【北平電特二十九日發】滿洲事變を火として爆發した反日運動は今や政府に之を押へる力なしと觀て急速度に打倒蔣介石、張學良、鉄殺王正廷等の反政府運動に向ひつゝあり殊に當地では滿洲から續々引揚げて來た兵士苦力其他一般人等が差迫つた生活苦に自暴自棄となり寧ろ愛國の名で日本人を虐殺するか又は當局を窮地に陷れて事態を混亂に導き其處に乘じ何事か爲さんとする陰謀等も畫策されつゝある模樣で若し事態を此儘遷延せば恐るべき無政府狀態が惹起されはしないかと憂慮されてゐる

武漢も惡化

【漢口廿九日發】武漢要塞司令錢大鈞を校長とする中央軍官學校武漢分校學生約三千名は日本租界を奪還して奉天の恥辱を雪げといきりたち廿八日夜雷扇を打つて校門を出でたが逸早く警備司令部が手を廻し武裝解除し事なきを得たが武漢の空氣は一段惡化しつゝあり

南京形勢惡化

【南京廿九日發】上海より參加を得て益々強大となつた學生示威團は蔣介石が對日宣戰を肯ぜずば卽時下野要求に決した、此の裏面には蔣介石を絶對絶命に陷れんとする共産黨と反蔣派の煽動策謀あり事態漸く重大となつて來た

英軍隊出動 香港警備

【香港廿八日發】香港市外における邦人虐殺事件の擴大を憂慮し吉田總領事代理は屢々英軍憲に對し警備方を依賴したので香港政廳も重大を憂へ廿八日同政廳首腦部及び總督民政長官、吉田總領事代理等の聯合會議を開いた結果、陸海軍の出動を命じ警察力と協力領内の警護巡邏をなさしめ軍警に對しては支那人暴徒自由射擊を許可する事を決定した旨廿八日公電あつたので外務當局も英官憲の警備に信賴する一方事態の擴大に備へ萬一の用意に遺憾なきやう手配する事となつた

軍艦嵯峨 香港へ急行

【東京廿九日發】香港在留支那人の暴虐に同地居留邦人は頗る危險を感じつゝあるため馬公要港部司令官は二十九日廣東に碇泊中の軍艦嵯峨に香港に廻航を命じた、同艦は同日正午香港着直に吉田總領事及日本人會と連絡して詳細な情報を蒐集し同地の警備狀況と共に海軍省に報告することゝなつた

佐藤氏遭難の模樣
日本軍の仇を仕返してやると 文字通りになぶり殺し

十九日長春事變で寛城子方面の混亂最中ハルビンより南下した滿鐵哈爾濱事務所運輸課技術員佐藤忠氏が寛城子北方の一間堡驛で行方不明となり搜査の結果支那敗殘兵に慘殺されたことは昨報の如くであるが今その

詳報 を聞くに十九日朝ハルビン發南下した第三列車が一間堡驛に停車中多數の支那敗殘兵がドヤ〳〵と同列車に踏込み片ッ端から「日本人は乘つて居らぬか」と搜し廻つた揚句、二等車に乘つてゐた佐藤氏を發見するや「日本軍から受けた仇をお前に仕返してやる」と罵り叫びながら佐藤氏を車外に引下し銃を以て佐藤氏の全身を小刻みに肉を抉り骨を切り文字通りに嬲り殺して終つた、此の兇行を目擊してゐた一間堡驛の勤務支那巡警は直に此旨各驛に

通報 したので東支線各驛員は全部此の事實を知つてゐる筈であるが東支從業員は嚴重なる緘口令を申渡されたので沈默してゐたものである、なほ同列車の食堂車には數名の日本人が同乘してゐたが食堂車の入口は錠を下したので幸ひに暴虐なる支那兵に發見されず難を免れた

滿鐵から弔慰

佐藤忠氏の遭難に就いては滿鐵當局では出來るだけの弔慰方法を講ずべく目下考慮中であるが山崎總務部次長は語る

事實とすれば誠にお氣の毒の至りである、會社としては殉職として出來るだけの弔慰方法を採ることにならう

なほ花本人事課長は二十九日午後取敢ずナガヨ夫人を訪問して佐藤氏の消息不明に對し見舞を述ぶるところがあつた

『戰死者を弔ふて 胸がふるへた』
江口滿鐵副總裁歸る

奉天、長春、吉林、公主嶺各地の軍隊に謝意を表するため廿六日夜大連を出發した江口滿鐵副總裁は恙なく任務を果し奉天から乘合せた木村理事と同車廿九日夜八時着列車で歸連したが驛頭には村上理事を始め在連各理事その他多數出迎へた、車中出迎への記者に副總裁は語る

全く短時日であつたが廻るところはすつかり廻ることが出來て何よりだつた、軍部關係方面は勿論、領事館なども訪問し病院に戰傷兵士を見舞ひ、國家のために戰死した勇士の墓にも參詣して燒香をして來たが、この新らしい戰死者の墓にお參りしたときには流石に感激に胸がふるへて思はず心が緊張した、戰蹟を弔ふことは第二の目的であつたので時日の關係上さう〳〵何處も弔ふことは出來なかつた、感想つて言ふのもなんだが兎に角日本の軍隊の態度は非常に支那一般人に好感を與へてゐるからこれを機會によつて日支關係は好轉するのではあるまいか、奥地も相當の寒さだつたが御覽の通り元氣で歸つて來た

香港に入港

【香港二十九日發】香港の支那人の排日形勢重大化の爲め第一遣外艦隊砲艦嵯峨は本日正午香港に入港した

反日運動に 支那紙警告
時事新報の論評

【東京特電二十九日發】二十九日の時事新報は「反日運動惡化」と題し社說を揭げ今回の排日が空前の擴大を見るかも知れぬと按じ國際聯盟が日本に對し撤兵促進を勸告すると同時に支那に我生命財産の保障の責任を課し支那も之に服したのだから南京政府は誠實に排日鎭壓の義務ありとし此點に對する支那の怠慢は結局撤兵を阻止するものだと論じ事態の平和的解決に對し全責任を負ふものだと主張してゐる

留日支那學生
引揚げを決議

【東京廿九日發】東京官私立大學專門學校在學中の支那留學生一千餘名は二十九日神田青年會館に會合中華留學生會を緊急組織し協議の結果日本留學の中華學生は速かに歸國することの決議を爲し既に百餘名の學生は本日本國に向つて出發した

解剖體供養 大連醫院では十月三日午後二時より若草山西本願寺に於て解剖體供養の法要を營むことになつたが本年九月二十五日までの解剖體總數は九百三十六名でその遺族に對しては案内狀を發送したがなほ案内漏れの人も成る可く多數參詣されたしと

水災救濟は停頓
「大利丸も斷はられたよ」 金井滿鐵衛生課長歸連

長江水災救濟の爲め滿鐵の大利丸提供の用務打合せの爲め上海に行つてゐた滿鐵衛生課長金井章次博士は二十九日午後一時入港の奉天丸にて歸連したが船中に訪へば語る

大利丸は到頭斷はられて了つたよ、支那の方でも今日支時局の爲め宋子文以下救濟委員會の幹部は皆南京へ行つて了つて水害救濟事業は頓の有樣だ、日支時局が喧しいので水災被害の方は目下社會から閑却されてゐるが被害はなか〳〵大きいものできれいに水がひくのは來年だらう、上海の排日はビラ張りとか運動は猛烈なものだが邦人に對しては危害を加へるやうなことは未だない、支那側も救濟事業のプランに大利丸使用を既定してゐたのだからこれを拒絶したことには内心非常に惜しがつてゐたのだ、今月初旬僕が第一回交渉に上海に行つた際は支那側はこの申出に大變喜び對日感情は常に良くなつたと思つたのですが時局後二回目の今回行つた時對日感情の空氣のころりと違つてゐるのには驚きました

六大學リーグ 法政雪辱
對立教二回戰

【東京二十九日發】六大學リーグ法立第二回戰は二十九日午後零時三十五分より錢村（球）三谷、森（壘）三氏審判の下に立教の先攻にて開始、結局六アルファー對五で法政雪辱す、閉戰二時三十五分

バッテリー 立教辻、小笠原、法政若林、倉

太平洋橫斷機
淋代に空輸

【淋代二十九日發】パングボン、ハーンドン兩氏の太平洋橫斷機は今朝九時五十五分立川を出發し午後一時十分青森縣淋代海岸に村民歡呼の裡に着陸した

赤露脱出露人

夕刊既報、二十九日入港のはるびん丸で送還されて來た赤露脱出露人十二人は一應水上署で取調べたが本人等は各自懷中所持金僅か十圓足らずであり一同ハルビンに行くと稱してゐるが取り敢ず一行を二十九日夜發列車で奉天へ送ることゝした

虛弱兒保健座談會

南山麓小學校では去る七月廿一日より八月十一日まで三週間に亙り彌生林で林間聚落を實施したので二十九日午後二時より同聚落指導者たる滿鐵の遠藤博士を中心に虛弱兒童保護者二十餘名會合し虛弱兒童の健康增進、指導方法その他につき座談會を開き種々意見の交換をなす所あり同五時過ぎ散會

玩具のフィルムに 引火して大火傷
磐城町の火事騷ぎ

二十九日午後四時十分ごろ市内磐城町卅一番地おもちや商かぎやの主人增田市左衞門が卷煙草を口にくわへながら店頭で玩具用フィルムを檢査中、煙草の火がフィルムに引火したので增田は夢中でフィルムを投げ出したところ、あたりに積んであつた多數フィルムに俄然引火し、パッと猛烈に燃え上り、逃げ出さんとする增田の着物に燃え移り、さながら生不動の如くなつて打倒れたのを家人が發見直に吉野町堀江病院に擔ぎ込み應急手當を加へたが、全身燒けただれ生命危篤である、一方フィルムの火勢は店頭の一部を燒いたのみで消防隊員が馳つけ消し止め、被害者は大連署千葉司法主任出張檢視した

安樂椅子

我軍の惡口を盛に飛ばして愚民を煽動し「我軍の長春奪回は近きにあり」など豪語し、武裝解除後の寛城子の治安を攪亂した排日の巨頭李明恩は去る廿五日憲兵隊の手に逮捕され目下留置中である。

◇

所で此の先生却々の大男で身長まさに七尺に近い、豚のやうに肥えた男だが警務會長の名で巾をきかし日本人、ロシア人を眼下に見て侮辱し、殊に若いロシア人の娘ッ子などを片ッ端から犯すといふ暴振りであつたゝめ、彼れの逮捕を見るやロシヤ人等の喜ぶこと一通りでない。

◇

同じ仲間の支那人の間でも彼れの逮捕後「當分あの大男のダンスは見られないだらう」と冷笑を向けてゐるが、彼れの豚そのもの如きダンスはそれ程寛城子では有名であつた（寫眞は李明恩）【長春電話】

解剖體追弔法要

十月三日午後二時市内西本願寺に於て當院解剖體追弔法要相營候間御參詣被下度候

昭和六年九月三十日　大連醫院

御遺族各位

母シナ儀兼て病氣自宅療養中の處昨廿九日午前五時十五分死去致し候間此段御通知に代へ謹告候也

追而明一日午後二時小崗子自宅出棺[?]津町大聖寺に於て葬儀相營可申候

昭和六年九月三十日

男 三好敬一郎
三好製綿所主 前川喜三郎
親族 一同
友人 一同

曙の鐘 (64)

倉田潮 作 / 河野想多 畫

格鬪(四)

あけみはたえ子が洋館の門内に這入つて行つたのを見とゞけると、外塀の方に出て行つた。そこには春木が大勢の暴徒の者を對手に烈しい闘爭を續けてゐた。

腕力は人並より強い春木も大勢に一人で、上着は破られ帽子は飛んで、眼のわきから血潮が流れ出してゐる。しかし、春木は負けぬ氣の死力をつくして、大勢の攻撃をさゝえてゐるのだつた。あけみはそれを見ると驚いて走りよりながら、

「みんな、何をするのよ。亂暴はやめて下さいよ」

と、あらん限りの大聲で叫んだ。あけみの聲を聞くとそこにゐた男達は急に力を失つて爭ひをやめて、すご／＼と隠れるやうに後にひさつた。

春木は千切れた上着をつけたまゝ、息を切りながらあたりを見廻してゐたが、

「たえ子さんは、何處へ行きました」

あけみにたづねた。あけみのそこにゐることさへ氣もつかない様子だつた。あけみは口惜しげにきつと春木を見返したが、直其の表情をかくしてわざとなれ／＼しく、

「お父さん今停留場の方へ逃げて行きましたわ」と答へた。「もう大丈夫よ」

「さうですか。いろ／＼何うも」

と其の時初めて春木はあけみに禮を云つた。

あけみは半ば憐れむやうに、半ば憎しげに春木を見つめた。先頃は今少しで彼女のものになりさうだつた春木が――西洋人形のやうなマリアと云ふ女に魅惑されなかつたら、おそらく自分の戀人になつてゐたゞらう春木が――死をさへ賭してかつてゐる其の春木が……今はあけみのことなど忘れたやうにたえ子の爲に死力をつくして闘つてゐる。おそらく春木はたえ子を救ひ出さうとした一人であるに相違ない。さうだ、今日春木はあけみのことなど念頭にもおいてゐないのだ。そして、たえ子の爲なら、命までさへ惜まないと思つてゐるのだ。

あけみはさう思ふと、いつそ事件が發覺して、その結果毒盃をはいて斃れて了つた方が幸福だつたと思ひかへすのだつた。

彼女は凝と眼を輝かして、じつと春木を見つめてゐた。

春木は破れた衣を正し、亂れたネクタイをかき合せると、烏渡あけみに目禮をして慌しく停留場の方に行きかけた。たえ子の後をしたつて行くのは解り切つてゐる。あけみは白い歯を見せて狩的に笑つたが、半町ばかりも行き過ぎた後から、

「春木さん。烏渡待つて」

と、何事か思ひついたやうに呼び止めた。春木は振りかへつたが歩み戻つては來なかつた。あの日再び顔を見せないと云つたあけみが、何處へも行かずに家にゐたこと、が其の時ふと彼の心に思ひ出されたが、そんなことを深く考へてゐる餘裕のないほど、彼の心はたえ子の爲に搔き亂されてゐるのだつた。果して無事に逃げることが出來たらうか。逃げられたなら最初に何處へ行くだらうか。母のもとへか、彼の下宿へか……

「あけみさん、また後でゆつくり……」

とさう云ひ殘して春木は逃げるやうに其處から歩み出した。あけみは其の後姿を憎悪と怨んだ愛とに燃えるやうな眼で、身じろぎもせず凝と見守つてゐた。洋館の門の内で其の時壯三の狂つたやうな叫び聲に續いて、鐵の扉が烈しく打ち叩かれる音が聞えて來た。

滿日臨時碁戰 【1】

六段 岩本薫氏 / 三子 初段 井上太市氏

ツソレタヨカワヲルヌリチトヘホニハロイ

○一レの四 ●二ヨの三 ○三チの四 ●四レの三
○五ソの三 ●六タの二 ○七レの三 ●八レの五
○九タの三 ●十タの四 ○一一レの二 ●一二ヨの四
○一三ソの五 ●一四レの六 ○一五ツの六 ●一六レの七
○一七への三 ●一八ニの六 ○一九ヨの六 ●二〇ワの五

▲岩本六段評 黒八は定石ではあるが三子の碁としては(い)に伸ぶるが無事である其の時白九に取れば黒十白粘ぎ黒(ろ)白十四のときに詰めて打つがよい

滿日俳壇

募集規定 次回課題「秋の雲」「栗飯」「大豆」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十月五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

けふの放送

大連 JQAK

九月三十日午後六時五十分 ▲ニュース ▲英語講座「テキスト第廿四課」大連神明高等女學校山田長三郎 ▲マンドリン獨奏「夜の鐘」パパレロー作「夢」シューマン作「演奏會用マズルカ」ムニエル作 伊藤十五郎 ▲連續講談「愛國心千人針終席」白藤六郎 ▲講談琵琶「乃木將軍遺族慰問」大伊達不朽 ▲ラヂオ體操 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報

東京 JOAK

九月三十日午後六時三十分 ▲演説「寄生虫病豫防に就て」社會局長官松本學 ▲ラヂオレヴュー「秋いろ／＼」第一景田園の秋、第二景山の秋、第三景スポーツの秋、第四景海濱の秋、第五景郊外の秋、第六景月の秋、第七景驛路の秋、第八景水の秋、第九景雨後の秋、第十景東海の秋終曲、出演者大木惣太郎社中、常磐津松加、常磐津福子、同松房、同松次、二村定一、同松清、落合緑、落合三千代、大照秀子、石川民枝、芳村伊勢三郎、福田蘭童、同民之助、清元小寅、杵屋榮次郎、同榮家、同榮之助、竹本宮古太夫、天野喜久代、野澤条造、福田宗吉

婦人倶樂部(十月號) 「型紙式圖入毛糸編物」「基礎編模様編一切の講習」其他料理等の家事は勿論一般家庭讀物として推奨に値するものが多い

少女倶樂部(十月號) 新時代の少女に讀ませる雑誌として最も好評ある少女倶樂部には「世界黒人アルバム」「最新科學博物館」等實質本位の好讀物がある

我軍撤退時期決定の委員會新設に同意す

我代表領土的野心なきを斷言

きのふの聯盟理事會

【ジユネーヴ二十八日發】國際聯盟理事會は二十八日午後の會議で滿洲事變に關する討議を再開、先づレルー議長と芳澤日本代表の王正廷氏遭難に關する慰問演說あり、次で更に芳澤代表は滿洲における日本軍の撤退は確實に行はれつゝあり予は日本代表として何等領土的野望を有せずと斷言すと述べ次で支那代表施肇基氏立ち日本軍總撤退の期日を聯盟において確定されんことを望むと提議し芳澤大使はこれにつき本國政府に訓電を求めやうと約した結果、理事會も新委員會を設置して右期日確定につき研究せしめることに同意した施肇基氏は更に日本軍撤退期日決定委員會には日支兩國のみならず中立第三國からも委員を選定したいと述べ、芳澤大使は憤然これに反對し茲にこの問題は停頓狀態に陷り、ために議長は日支紛爭に關し今日まで理事會が爲した努力及び兩國の態度に關し公正なるステートメントを作成しこれを二十九日の聯盟最終總會に提出發表することゝ宣し閉會した

保障程度に應じ撤兵

芳澤代表會議劈頭に聲明

【東京特電廿九日發】ジユネーヴ發電によると、芳澤大使は廿八日の理事會劈頭大要左の如き聲明を爲した

前會議に於て余は日本は在留民に危險を感ぜざる範圍にて撤兵する覺悟あり又支那は外人保護の責任を執ると宣言した、吉林における日本軍は金曜日(廿五日)余が理事會に報告した後更に撤兵を行つた、吉林、奉天以外で鐵道地域外に尙駐在せるは新民屯と鄭家屯のみである、日本は事件の現場及び解決の方法を詳しく理事會に報告するであらう、現在の狀態にあつては他の方法は全く無用と信ずる、日本政府は邦人の生命財產の安全保障が出來る程度に應じて撤兵する意向で之が實現の速かならん事を切望する

日本を誣ふる支那の回答

米國務長官に提出

【ワシントン二十八日發】滿洲事變に關する米政府の通牒に對する支那政府の回答文は本日支那公使館を通じ國務長官スチムソン氏に提出された、その內容左の如し

日本軍の侵略的行動の結果、支那の領土は侵害され或る場合の如きは掠奪の暴擧を受け、支那公吏及無辜の市民にして或は侮辱を加へられ、或は負傷を受け又は虐殺された者もある、現に米國々務長官スチムソン氏が支那へ通牒を發せられたる去る二十五日にも奉天、北平間の鐵道において支那 客列車が飛行機よりの爆彈投下機關銃の亂射を浴びて多數の被害者を出したのである、而して日本軍の戰事行動は今なほ繼續して居り日本側が國際法を滿足せしむべき途は發見されてゐない、支那は日本軍が卽時完全に撤退し支那政府及國民に對し損害賠償陳謝その他によつて充分滿足を與へられんことを期待するものである

對米回答

聯盟支持要望か

【ワシントン二十八日發】本日支那公使館より米國務長官スチムソン氏に提出された滿洲事變に關する米政府の通牒に對する支那政府の回答文においては支那政府はケロッグ不戰條約並にその他國際的諸條約は支那の現在の立場を支持するものなりとの見地から滿洲事變に對し右諸條約の精神を喚起せんことに極力努力しつゝありと解せらる、右支那政府の回答提出後駐米日本大使出淵氏は同じくスチムソン氏に對し日本は支那に對して毫も戰爭を構へる意圖なく事態を制御するに全力を盡しつゝある旨を聲明せる日本政府の回答を手交した

寫眞說明

(上)は林出征軍慰問に向つた江口滿鐵副總裁、廿八朝十時吉長線プラットホームにて、向つて左副總裁、佐堂滿鐵理事、南里本社特派員、八木副總裁秘書(下)は長春驛頭における貴族院議員團一行向つて前列左より二人目ステッキを手にせる黑外套姿が團長大久保立子爵

中村大尉事件の「責任者關玉衡」

威張りちらして評判の惡い男

日支衝突の一原因である中村大尉事件の責任者たる屯墾軍第三團長關玉衡(三)は吉林双城縣生れで屯墾督辦の鄒作華氏と同郷關係で砲兵科に身を投じ奉天講武學堂の第四期卒業である、鄒松齡事件の折は少校で鄒氏の副官を勤めて居た、其後中校に昇進し軍械處長に就任した、其後鄒氏の屯墾督辦に任ぜられるや其軍務處長に補せられ陸軍砲兵上校となり今年五月頃前任趙三團長病氣にて歸奉するや其代理となり間もなく大事件を惹起したのである、關玉衡の性質は非常な惡人といふよりも輕率で空威張りする方で同僚や部下にも氣受けがよくなかつた、寫眞は民國十七年鄒氏の砲兵司令部が北京郊外萬壽寺に在つた時、同所で撮影したもので、中校軍械處長時代のものである

南京政府が密にわが意嚮を探る

齊世英氏が既に渡日

【南京二十八日發】國民政府は滿洲問題に關する日本朝野の意嚮を探るため齊世英氏を極秘裡に二十五日渡日せしめた

駐米我大使館撤兵を言明

【ワシントン二十八日發】駐米日本大使館は滿洲事件に關し記者團に左の如く言明した

日本軍は既に新民屯及鄭家屯から撤退した、目下吉林及奉天に一部軍隊が留まつてゐるに過ぎない狀態である

經濟絕交徹底決議

上海市商會で

【上海特電二十九日發】上海市商會は昨日臨時特別會員大會を開催國難對國策を討論の結果中央政府へ對日出兵を請願、廣東政府に妥協勸告等を決議した外

一、對日永久經濟絕交を徹底させるため對日經濟絕交委員會を組織す

一、錢業公會に日本銀行との取引中止を通告し違反者は民衆裁判により嚴罰す

等を決定し、出席代表は即日一切の日本品を賣買せざる事を申合せなほ同會では昨夕在滬各國商業會議所代表約三十名を招待し日本軍の行動につき報告した

學生軍事教育施行準備を命令

【上海特電廿九日發】南京來電に依れば蔣介石氏は學生運動の昂なるを押へ切れず國民軍事教育處長に對し中學校以上の學生に對する軍事教育施行の準備を命じたが、南京、上海、漢口、杭州各地から先づ着手し二ケ月間に教育を完成し銃器の經費は總司令部で負擔支給すると

黑龍江省その他でも獨立宣言を準備

省行政刷新を目的として

吉林省熙洽參謀長の吉林獨立政府組織宣言は全く從來の東北政權から離れ獨自の立場より省行政に當らんとするもので一般省民より歡迎されて居るが、吉林省の獨立宣言と共に日和見的態度を執つて居た黑龍江省その他各方面においても吉林に倣つて省行政刷新の意味でそれぞれ獨立を宣言すべく諸般の準備を進めて居る【長春電話】

遼寧省政府の移動愈よ準備に着手す

米春霖氏錦縣へ赴く

【天津特電廿九日發】遼寧省政府は愈々錦縣に臨時政府移動設置に決し、新任代理主席米春霖氏以下建設廳長彭濟群氏、財政廳長張振鷺氏、省政府委員邢士廉氏等は昨夜十二時當地を通過錦縣へ向つた米春霖氏は語る

余今回の錦州行きは省政府維持のためだ、臧式毅氏は奉天にあるが職權を行使せず事務停滯し全く無政府狀態に陷つてゐるので張副司令が取敢ず自分に命じた譯だ、自分は萬事中央と步調を一致してやつて行くつもりだ日本軍が若し現在の占領範圍を擴大して更に前進するが如き事あらば我方としても已むを得ず正當なる防衛手段に出るかも知れない

尙學良氏秘書朱光沐氏には天津から米氏等と同行した

南京妥協使節廣東到着

【廣東特電二十八日發】南京と廣東の和平解決を圖るため南京代表として南下した張繼、蔡元培、陳銘樞三氏は本日香港に到着した、之に對し廣東側から汪精衛、唐紹儀、孫科三氏が香港に赴き同地で交涉を開始するが妥協條件の要點は

一、蔣介石氏は主席を辭するも總司令は留任する事

一、王正廷氏は外交部長たらしめざる事

といふにあると云はれてゐる

全國在鄉軍人に蹶起を促す

第一師團管下支部大會宣言

【東京二十九日發】滿洲事變の勃發に鑑み感奮した在鄉軍人會第一師團管下聯合支部では二十七日靖國神社に大會を開き宣言を發し全國三百萬在鄉軍人の蹶起を促したこの結果近く全國代表東京に參集滿蒙問題に對し態度を決する事となつた

順承王府は支那軍隊で嚴戒

【北平廿八日發】市民大會示威行列を終つた學生の一團約一千名は午後二時半副司令部行營に押し寄せ張學良氏に面會し日支開戰の決議文を手交せんとし同署門內に頑張つてゐた、急を聞いた順承王府では學生が同方面に押寄せん事を懼れ軍隊憲兵多數を以て同所を固め門前には輕機關銃を据え附近の交通を禁止し物々しき戒振を見せた

學良氏代表と會見

【北平廿八日發】副司令部に押寄せた北平學生團は、學良氏の代表として會見した戢翼翹氏に市民大會の決議を東北政府當局の[illegible]

王外交部長生命に別條無し

【上海廿八日發】南京における學生暴動事件で王正廷氏重傷せる事は既報のごとくであるが、その後我領事館に達した公報によれば學生暴徒は午前十時半外交部警衛の巡警を叩き伏せ亞細亞司長室を目茶々々に破壞した後外交部長室に闖入し折柄執務中の王氏を棍棒で毆り飛し王氏は頭部に重傷を負ひ昏倒したものである、日本領事館はこの暴徒の襲來を惧れ時を移さず支那公安局に保護を要求し百餘名の武裝警官隊急派され來り警衛に當つたが暴徒は雪崩れをうつて國府に向ひ領事館は事なきを得た上海より來た學生代表は南京學生と共に「聯盟における失敗は王の責任である」と王打倒のビラを全市に貼り廻り殺氣險惡である、なほ王氏の負傷は相當重傷なるも生命に別狀なき模樣である

學生運動の裏に共產黨動く

【南京特電廿九日發】學生運動の背後には共產黨の手が動いてをり排日救國の名のもとに蔣介石政府打倒の陰謀あり、政府虐めのため日本領事館乃至邦人襲擊の作戰に出づべしとも傳へられるが、支那當局は民衆の愛國運動抑壓は反つて彼等の憤慨を増す惧れありとて居留民保護はするか反日取締は出來ぬといつてをり王正廷氏が學生に襲はれ流血の慘事を起しても何等停止の方法を講じなかつた事實は正に國民政府が民衆を取締る事の出來ぬ證據で邦人の不安は益々たかまりつゝある

宣戰請願學生團

六千名南京へ向ふ

【上海廿八日發】交通大學々生を中心とする學生五千名は對日宣戰布告の第二次請願團として南京に赴くべく停車場に殺到、鐵道當局に特別列車仕立を要求し鐵道當局及び公安局は事件の發生を虞れ之を制止する能はず十時までに特別列車を三回に仕立て三千名を出發せしめ殘り二千名は十一時の普通急行で出發せしめたが學生等は狂亂の限りを盡し猛り立つ抗日運動に拍車をかけてゐる、二十九日朝南京着蔣介石氏に會見を強要し

一、對日卽時宣戰布告

二、王正廷彈劾

三、張學良の處罰

その他七ケ條の猛烈なる反日決議を突きつけ實行を要求するはず

書を交附し更に午後四時半から市內遊行を行つて氣勢をあげ午後六時頃無事散會した

吉林敗走兵五常方面へ移動

吉林の北方五常と吉林の間に約一個旅の支那敗殘兵が集結し附近土民より食料その他の徵發をなし漸次五常の方面へ向つて移動しつゝある【長春電話】

對馬上海到着

【上海二十八日發】軍艦對馬は荒天のため離航を續け今朝八時半入港三井碼頭に着石炭補給の上本日午後南京に向け遡江することゝなつた

▲矢野恒太氏(第一生命社長) 二十九日午前十一時半大連入港のはるびん丸にて來連

▲竹內寬氏(陸大教官) 同上

▲井上輝夫氏(滿洲製麻會社專務) 同上歸連

▲宮下忠雄氏(關東廳醫院眼科醫長) 同上

▲相川米太郎氏(辯護士) 同上

▲松本松五郎一座二十九名 同上

▲川村龍雄氏(大汽上海支店長) 二十九日午前十一時出帆の大連丸にて上海へ

▲旭川視察團一行十一名 同上

▲首藤正壽氏(滿鐵理事) 事務打合のため廿八日夜奉天へ

鄭家屯の治安維持

公安隊が當る

廿八日午後四時笠松支隊長は領事館に徐縣長、李同業公會長、新治安維持會常務委員の三名を招致し領事立會の下に日本軍占據後無警察狀態に在りたる鄭家屯治安維持に關し協議の結果

一、臨時公安大隊長を任命し日本軍憲兵直接指揮の下に公安隊において二十九日より治安維持に當ること

二、治安維持方法に就いては從來の慣習に從ひ一切は縣長において全責任を負ふことを誓約せしむること

三、公安隊には差當りさきに解除の小銃五十挺を貸與すること

となつた【鄭家屯電話】

蛇角

全支に亘る反日と慘虐とその損害、倍加する赤字、それは誰が征伐する、今度は下駄船から火花が飛ぶ番だ。

◇

女房から亭主を離緣した、道樂亭主にはもうこりた、女房のための亭主が欲しいと遼寧省民衆はいふ。そんな亭主はないか。

◇

王正廷は棍棒で毆られた瞬間に自己の曲道外交を知つた、蔣介石は斬られてから橫道政治を覺るそうである、學良は漸くにして知つたが、既に生きたるミイラとなつてからではもう遲い。

◇

生きたるミイラが泣き出した、南京からもらつた菓子の味はうまい、は面目上その淚を拭いてやる。

◇

事變で驟馬はのびた、馬賊らは秋に肥えてアクビをして居る、理事長は馬よりも[illegible]た。

東亞の謎(75)

國枝史郎　挿畫　伊藤順三

犧牲の女(二)

ダットと武村とは奧へ通り、それから二階へ上つて行つた。武村の居間の前まで來ると、武村は鍵を出して錠を開けた。部屋へ這入ると武村俊三は、加工的の嚴しい顏をして、部屋のソファーに腰をかけて古雜誌を讀んでゐた光子の顏を、先づグット睨みつけ。

「さうだ、すべた、寂しかつたらう」

すると光子は媚を含んだ、甘へたやうな笑ひ方をしたが

「えゝ隨分寂しかつたわ」それからダットの顏を見たが「お客樣いらつしやいまし」そこで一層媚をつくり「ねえ貴郎、お茶でも入れませうか」

「うん、さうだな、入れて貰はう待て待て、チエッ、てめえでは不可ねえ!」

「あら何うして、いゝぢやアないの」

「なんかんと云つて、下へ行つてそれつきりトッぱしらうといふんだらう」

「いやアな人、そんなことないわ」

「ほんとかな、あぶないものだ」

「大丈夫、疑ひ深いのね」

「よからう、それぢやア、茶を入れて來てくれ」

——で、光子は部屋を出て行つた。

朱仁卿と彼とが共謀して、朱仁卿の部下のホテルの通譯の、李といふ男を利用して、洋子と次郎と光子との三人を、城內で掠奪して擔いで來るや、彼は自分の妾だといふので、光子だけをこの家へ連れて來た。

さうしてこの部屋へ監禁し、自分を裏切つた怨みを晴らした。が、元々光子といふ女を、好きで妾にしてゐた彼だ、裏切りと云つても他に情夫を、新しく作つたといふのではなく、憎んでゐるといふもの、憎しみの性質が別であつた。逢つてみれば矢ッ張り可愛かつた。それに光子そのものが、途方もなく手管に富んでゐる女で、武村の性質なども知り拔いてゐた。で、甘えたり拜み倒したりした。そこで武村は最初の程は、怒りにまかせて頰ッぺたのあたりを、三つ四つくらはせたが、今では却て可哀さうなと、そんなやうに思つてゐる有樣なのであつた。

「さあ、ダットさん、おかけ下さい」

まだ立つてゐるダットに向つてかう武村は聲をかけ、自分も腰かけて煙草を喫ひ出した。

ダットも椅子へ腰かけたが

「貴郎の有仰つた小夜子といふ女は?」

「隣室に居ります、次の部屋に。」

氣が忙くやうにさう云つた。

……が、まあ可いぢやアありませんか」

「いそいで見せていたゞき度いものです」

「まあ、咽喉でも濕らしてからにしませう」

「見たいですな早く見たいです」

「よろしい、それではお目にかけませう」

——ひどくせつかちの野蠻人だ!が、無理ではないかもしれない……。

かう思つて武村は立ち上がり、この部屋と隣室とを境してゐる、扉の前へ行つて突つ立つた。が、そこで躊躇するやうに、ダットの方へ振り返り

「女つていふ奴は變なもので、下らないことを氣に病んで、ヒステリカルになるものですから、何をその女が云ひませうとも、氣にかけないでいたゞき度いですな。どんな行動を取らうとも、雲煙過眼していたゞき度いですな……何も彼もお互に納得づくですからな」

と、興味のことを云ひ出した。

それから鍵を出して、錠をあけた。

外國人を暗殺して奉天擾亂計畫
列國干渉の口實を狙ひ張氏から密命

二十六日以來張學良氏より二、三十名の密偵が奉天に放ち奉天の治安を攪亂し我軍の行動を密かに探査しをることは既報の通りであるが、その密偵張德勝の學良氏より受けた任務はその目的のほか英、佛、獨、米、露の各國人を暗殺し奉天を擾亂の巷と化し列國をして干渉の口實を與へしめんとするものであると傳ふ【奉天電話】

い、又官憲は奉天事變の死者及び又二十六日の列車遭難者中苦力の屍體の腕類を切取り當地驛前に曝き日本軍の所爲なりとして群衆の反日感情を高めてゐる

香港の邦人
軍艦派遣を要請
場合により全部引揚　依然無警察狀態續く

【香港廿八日發】在留日本人會の陳情により邦人保護のためイギリス軍六十名増派されたが、暴徒の跳梁依然として邦人の避難留守宅は破壞掠奪され通行邦人を襲撃する等依然たる無警察狀態に陷つてゐるが、邦人の外出市場の買出しも不可能のため食糧飢饉の叫び本會では本日も非常理事會を開き外務省を通じ帝國軍艦の派遣方を要求し場合によつては在留民全部の引揚げを斷行するに意見一致したので香港政廳長官の意向を確めた上手配する模樣である、

邦人會社銀行の支店を除く一般在留民全部は日本人小學校に九百名千歲ホテル、九龍三菱社宅、邦船淺間丸に各百名、その他各ホテル本願寺旅館邦船に各十名宛收容してゐるが、各方面に擴り不安は刻々加はりつゝある暴動による邦人死傷判明の分は死者八名、重輕傷者十五、六名である

廣東でも人心惡化
沙面に引揚げ

【東京二十九日發】在廣東遠藤總領事より二十八日發電によれば廣東の人心惡化し在留邦人全部沙面に引き揚げた

天城丸
門司歸港

【東京特電廿九日發】支那水災同情會の天城丸は傭船料其他の費用十餘萬圓は空しくして空しく一夜門司入港救恤使深尾隆太郎男も二十八日午後四時五十五分東京着と共に直に同會議議員倶樂部で委員會を開催幹部全部出席の上深尾男の報告を聽取し救恤品の處置に就き協議處分法を決定し六時半散會した

寄附金は返還

【東京特電二十九日發】支那水災同情會本部の二十八日受付寄附金總額は四十九萬六千百五十二圓で大阪各地未着分十五萬圓に達したがこれが處分方法は總額中三十萬圓で購入した白米毛布其の他は現金に替へ名前のわかつた人達には返金無名代の義捐金は全部同情會に寄附する事となつた

宮下醫長歸る

本年一月留學を命じられ歐洲諸國を歷遊、科治療手術を研究した旅順關東廳醫院科醫長宮下忠雄氏は二十九日入港のはるびん丸にて歸連した

上海租界境に支那兵駐屯
陸戰隊と對抗計畫か

【上海廿八日發】今朝十時頃共同租界の東方街外れにある邦人經營中華電氣工場に松滬警備司令部の支那正規兵約四百名が來り附近の警備に當るから我等の駐屯所として工場（休業中）を貸して呉れと申込みしも邦人番人はこれを謝絶するや附近の家屋を宿舍として駐屯する事となつたが、多數租界外に本陸戰隊進出の際は武裝對抗せよとの中央からの指令に基くものらしく附近には邦人工場多數あり我陸戰隊にてはこれを監視してゐる

邦人外出の差留要求
危險極る南京

【南京特電二十九日發】本日の學生暴動は上海各大學代表三十名の使嗾煽動によつたものだと斷ぜられてゐる、上海學生代表は之によつて對日宣戰の請願を達成するまでは上海各大學々生六千を上京せしめ野營しても政府を督促すると決意してゐる程で之に連れ一般の對日惡感は加速度的に惡化し邦人の外出危險となり外交部は領事館に對し邦人の外出差留めを要求して來た、在城内にある邦人は領事館員陸海軍武官新聞記者のみで他は一部日清汽船々に生活してゐるが、數十名の邦人に對し暴戾な糧食不賣運動起り愈々生活まで脅かされるに至つた

出稼ぎ苦力續々歸る
關内へ避難民

【天津特電廿八日發】奉天事變以來關内への避難民は毎日三個列車に滿載今朝までに當地を通過した總數は三萬五千九百餘に達しその…

秋冷深まる
昨年よりは暖い
氣溫は上つても永續せぬ

二十八日の明け方から急に寒さが加はつて早くも合オーヴァーを着た姿が增えた、この天候の急變について若草山觀測所の話を聞くとこれは氣壓配置の急な變化のためで廿七日渤海に起きた低氣壓は日本海岸を北東に進行してゐた七百四十四ミリの颱風と合流して東方へ進みその後へ蒙古内部に發生した七百六十五ミリと云ふかなりの高氣壓が漸次發達して行つたゝめ、風の方向は北にまわり、今まで暖かゝつた滿洲地方は急に溫度が下ることゝなつた

廿八日の最低溫度は大連が一〇度三長春が四度九で滿鐵沿線は大體この間の溫度をとつてゐるものと思へばよい、天候は日本内地より滿鮮地方まで一樣に、曇りがちで所々驟雨をもよほしてゐる所もある、しかし溫度の點から云ふと昨年よりもむしろ暖かい方で、決して秋の深まるのが早いとは云へない、今後の模樣は、今朝の測に依ると高氣壓は南下して揚子江下流に移つたから風も西から南へ移るものと思はれ、從つて溫度も幾分昇るものと思はれる、しかしもう十月も迫つたことであるから天氣も段々大陸性氣候の特徵を發揮し、暖かくなつても長續きはせず所謂三寒四溫的な形式をとる

長春に初霰

長春における溫度昨夜來急に低下し北滿都市らしい朔風に襲はれてゐる廿九日このシーズンの最低溫度四度二を示し、午前十時過ぎより初霰がバラ〳〵襲つた、駐剳の軍隊も急激の溫度の變化に閉口し…

敗兵、西安で邦人婦女虐殺說
鐵嶺領事館で調査命令

西安大病院の在住邦人は一部十四名のみ開原に避難したが、なほ殘留せる者あり何れも避難準備中であつたが如二十七日約一千名の敗兵集團同地に流れ込み暴行掠奪を開始し殊に邦人に對する暴行甚だしく遂に邦人婦女一名（氏名不詳）は敗等の毒手に罹つて虐殺され他の者は全部縣公安隊に避難保護を受けてゐるが當時の狀況不明につき鐵嶺領事館では西安出張所に對し至急眞相調査を命じた【鐵嶺電話】

躍如たる綽名『うさぎの參謀長』
一齊射擊の板垣高級參謀
關東軍オンパレード

本庄軍司令官の片腕となつて計畫帷幕の中に廻らし、一萬二千の獄を滿洲の曠野に縱橫に動かしてゐる三…參謀長、この人は陸軍省時代に省詰の新聞記者達から「うさぎ」といふニックネームを頂戴した、中來は三宅さんは非常に丁寧で、廊下トンビの記者達に捕まへられていろんな質問を受ける際決して立止まつて突つ立つたまゝでは答へないで、チョコ〳〵…そつくりの「うさぎ」…

擧手の禮をした上で返事をする、そのこまめな動作が茶目な記者達に親み深い「うさぎ」の綽名をつけられたのだが、こんどの日支事件で東拓樓上の參謀長室に收まつてゐる三宅さん、面會人の隊を觀らつて應接する記者達との立話にもこの癖が拔けず、チンと對話者と位置を代へ、擧手の禮をして始める樣子がニックネーム…

三宅參謀長を補佐してゐる參謀部の首腦板垣高級參謀は、昭和四年卅三聯隊長として奉天に駐屯し、河本大佐の後を繼いで高級參謀になつた人で、無口だが豪放な人、奉天の聯隊長時代は支那側を驚倒する豪快さで、練兵の時は有名な大音聲を張り上げ「射てッ」と號令すると必ず張學良官邸を目標一齊射擊をやつて衆人のドギモを拔いたものだが、颯爽たる板垣さんの事、姿を知つてゐる奉天の邦人「もう一度あの人を聯隊長にして本當の一齊射擊をやらせたかつた」と當時の勇姿を懷しがつてゐる。

◇……「支那人よりも支那語がうまく日本人にしては日本語が下手だ」と口善惡ない關東軍出入記者から陰口されてゐるのが石原次級參謀この…はわが東北は山形の出身でお國訛が拔けず、おきまりのサ行音がうまく出ない、だからわが士官學校出身で、とても日本のうまい支那の將校と會ふ時など、始めの中は對話者が得意然として話すが、いよいよ日本語のおつきあひをしてゐるがいよ〳〵込入つた話になると石原さんはスグ支那語でシヤベル、相手の支那將校驚いて「おや〳〵貴方は北京育ちのやうですね」と奇妙な質問をされる位に堂に入つたものだ。

◇……「滿洲における劍法の創始者」と綽名されてゐるが、新井少佐參謀ペン〳〵たる太鼓腹を突き出してノッシ〳〵と歩くところを布袋さんがアンヨしてゐるやうだが、見かけによらぬ敏捷さで劍道は四段の名手、劍道の創始者だといはれる所以は、この人、試合で鍔ぜり合ひになると、きつと對手の睾丸をサッと蹴上げる妙手を出し、驚く間に勝を占める「變な劍法もあるもンだなア」と對手が首を捻ると新井さん澄ましたもので「あれは鍔競りや鍔ぜり合の時に必勝を期する劍の妙技さ、士官學校や戸山學校ぢやア、あれを必ずやるんだよ」太鼓腹で誤られて、睾丸を蹴上げる新戰術を日支事件で應用したらうと知人間で噂とり〳〵【寫眞は三宅參謀長】

赤露から脱出した露人送還され來る
虐殺されるから樺太へ逃げた
甲板に集り心配顏

二十九日入港のはるびん丸でソウエート、ロシアを脱出し南樺太に逃げ出して來た十二人のロシア人が神戸から送還されて來た、何れも二十代の至つて質朴な若者揃ひで「皆獨身か」と問へば「さア、一人々々聞いて見なければ解らない」と答へる程の暢氣さ、それでも今後の身の振り方を心配して何とかして仕事にありつけないものかと甲板に集まつてしきりに相談してゐた、百姓や、漁師や脫獄者などが混じつてゐる、團長格のラード・は語る

沿海州のラゲルから脱け出して來たのです、六人の一組、四ケ月前船で南樺太にたどりつい て他のものは一ケ月半前に思ひ〳〵に逃げ出して北樺太から徒歩で來たものもあります、何故逃げたかつて？虐待されるからです、それに職業はなし金はないし稀に職業にありついても月六留位の收入ではとても食へません、上海には避難民協會があつて世話をしてくれると聞いたからそこに行きたかつたのですが、行くことが出來なくて送還されて來ました當地の避難民協會を…れたいのですが何でも支部長が最…死んで現在あるのか無いのか解らないとのことで心配してゐます、われ〳〵の中には鍛冶屋もゐるし自動車の運轉出來るものもゐるし音樂の出來るものもゐるから何とか當地で職業にありつきたいと思つてゐます【寫眞は送還されて來た一行】

講會不始末の告訴が激增
調査員を設けて内偵の上嚴罰主義で取締る

深刻な不況のため最近庶民金融機關たる講會が續々不始末を露し告訴沙汰となつて毎日大連署司法係に二三件の訴狀が提出されてゐる、これ等告訴の内容は最初から詐欺を目的に架空人物を會員に加入せしめ落札後掛金を怠り尻尾を出したもの、講長の橫領など辛辣な手段によるものが多く被害者多數に上り某知名士に絡る講金橫領事件なども發覺したもの如く目下司法係が鋭意取調べを進めてゐるが大連署では細民階級に打擊を與へるが如き非社會性の犯罪は年末を控へて斷然嚴罰主義をもつて臨むことゝなり特に不講會調査員を設け徹底的内偵を行ふことゝなつた、更に最近また不許可の講會が簇出し八月以來告發處分されたもの十數件の多數に達してゐる

てゐるが、バラつく霰の中に軍歌を口ずさむ士氣益々旺盛、一廉日中にすつかり冬仕度に變る筈【長春電話】

世界難局を說く
矢野第一生命社長來る

第一生命保險相互會社々長矢野恒太氏は秘書多田登氏を同伴二十九日午前十一時半入港のはるびん丸にて來連したが船中に訪へば頭巾を被り壯者を凌ぐ元氣な有樣で特別室に納まつた氏は語る保險會社の社員代表選擧を機會に來たのだが僕の來連はこれで五、六回目だ、日支時局かれ、振り上げた拳固なら下されば、ならぬ、大きく我々から云へば支那の問題は寧ろ小さい問題で今の世界難局に際してこれ位のことが解決出來ないやうなら日本は潰れて了つても仕方がない、英國の財政破綻は世界の大問題たれ、銀問題とからまつて實に經濟界の前途は暗たんたるものだ英國の金本位廢棄聲明から既に爲替は四弗を割つたらう、平常五弗近いものが二割以上も下るのだから、新平價の國なら良いが諸國の蒙る影響は大きいだらう、この世界的經濟難に善處するにはやはり英國の如く政治家が國家のために考へて黨派を棄て擧國一致内閣をつくらればならぬ、その點日本の政治家は英國とは違つて駄目だ、英國の聲明以來既に日本の圓價が始つて正金は六、七千圓買つたらう、あれ以來既に日本の金貨が一億圓近く出てゐると思ふ、英國の波瀾は既にわが國にびし〳〵と響ひかけてゐるのだ、無產階級の連中が英國の金本位廢棄をもつて資本主義の自壞だといふのか、はそれは反動的議論だと思ふ、獨逸のパウルハッターだつたか、現在は資本主義の黎明期だと云つてゐる、即ち資本主義は未だ子供の時代でこれから成長するので其の間に色々缺點も現はれるだらう、現にレーニンの行つた共產主義もスターリンに至つて資本主義化し後退せざるを得なくなつてゐるぢやないか、尤も成長期にある資本主義社會にも色々缺點もあるから俺だつて大學を出たばかりの若者なら共產主義者になつたらう大連で講演會をするさうだが俺は財界の前途についてこの點を少し論じてみたいと思ふ（寫眞は矢野恒太氏）

橫斷機淋代へ

【東京二十九日發】パングボーンハンドン兩氏の太平洋橫斷機は午前九時五十五分橫斷出發基點淋代に向つた

昨日から出火頻々

廿九日午前二時二十分市内若松町五八番地張寶珍方から出火し折柄の北風に煽られて同家木造建三坪を全燒した原因は目下大連署で取調中

◇

廿九日午前四時市内千代田町三六番地鍍工職徐仲泉方から出火、木造建四坪を全燒した、原因は火の不始末から

◇

廿八日午後九時二十分市内若狹町六三番地松本與次郎方大工小屋から發火し直に消止めたが煙草の吸殼が鉋屑に燃え移つたものである

◇

廿八日午後四時二十八分市内黃金町九六番地魚利彥方風呂場から出火し炊事場の一部を燒いたのみで消止めたが原因は煙突の不始末から

密告したと毆り込む
苦力が兇行

廿八日午後六時三十分大連管内革鎭堡會第七十九番戸小野田セメント會社苦力金上殿（三）は仲間の范先順（三）方へ毆り込み梶棒で頭部を滅多打ちに長さ一寸五分深さ骨膜に達する重傷を負はせこれを引止めた被害者の妻林氏（三）をも毆打重傷を負はせて逃走した、急報により小杉巡査馳つけ加害者金を逮捕した

兇行の原因は金は將來の不頼漢で二十七日革鎭堡派出所警官から說論されたがこれは被害者范が密告したものであると誤解した結果である

大連神社の祈念祭

今回の日支衝突事變に關し大連神社では二十九日午前十時から國威宣揚平安祈念祭を執行した、永野神官の祈詞に次いで山中大連民政署長代理、濱鍋市長代理、田中前市長、有賀滿鐵總裁代理その他民子役員多數の玉串奉献あり極めて嚴肅に行はれた

汎太平洋產業博覽會
東京で開催計畫
昭和十年に大々的規模で

【東京特電廿九日發】今回東京府市商工課が相謀つて政府その他の後援下に汎太平洋產業大博覽會を東京で開催の大計畫を進めてゐる、期日は昭和十年三月十五日より六月廿五日まで會場面積二十萬坪總經費九百五十萬圓の豫定で民間有力團體に主催させることになつてゐる、出品は教育、社會、美術、學藝、交通、運輸各種產業等凡ゆるものを網羅し參加を勸誘する國は北米、中米、南米、其他中國、オーストラリア、シヤム、ニウジーランド、ボルネオ、スマトラ、佛領印度支那海峽植民地その他で催し物として運動競技音樂其他の設備もする

天氣豫報　三十日
南西の風　晴時々曇

各地溫度

	廿九日午前十一時	廿八日最高
大連	一五、一	一六、二
旅順	一四、二	一九、六
營口	一四、六	一七、六
奉天	一三、〇	一七、〇
長春	七、九	一三、一

滿潮（午前 零時／午後 六時）
干潮（午前 五時／午後 五時五十五分）

けふの小洋相場（正午）金百圓は二三三九圓一五錢

暗流阿修羅館 200

生田蝶介　挿畫 藤井耕達

田沼問答(四)

「侍はあまり行つて居なかつたでせう」

「はい」

新左衛門は俯向いて笑つた。

「遊び人、職人のやう　客が多いと云つて、おかげで大變にもてました」

「さうでせう、鶴が下りたやうなものですから、以左見屋も格が上つたわけです。喜んだでせう」

「やはり、さういふところでなければもてません、いゝところへ行つてれこかしん食はせられたらいゝ氣持はしませんからな」

「なかなか通な廓言葉をご存じですね」

「昨夜覺えたばつかりです」

と、新左衛門は急いで誤魔化した。

「それでは貴方と私とで老中にぶつつかつて行きませうか」

と云つて、また奉行は、書類の方へふりかへつて、積み重ねたものゝ二三下すと、そこに、折り疊んだ小さい紙片が出た。

奉行は紙片をとると、

「これが、その、葭原で、章信の駕籠から、章信の代りに出たものです。見て下さい」

章信が連れて行く、といふ短い手紙である。

「これは、なゝな、美事な手跡でござるな。小戦輩の、章信の懐に目をつけての仕業ではありますまい。よほど、陰にかくれた大きなものがあるとおもひます」

「貴方もそのやうにお思ひですか」

「その書の容子では……」

「御樣子!」

この時、はじめて由比が口を出した。いままでおとなしく二人の話をきいてゐた、であつた。奉行は由比の方を見た、比由は奉行のうしろの方へ坐つてゐたのであつた、

「これを」

と、由比は懐から、書入れを出した。

「これを」

もう一度云つて、とり出したのは、同じやうな懐紙に、何か書いてあるものであつた。

「ごらん下さい」

二人は、のぞき込むやうにしてそれを見た。

奉行は受取ると、

「あゝ、いゝ匂ひだ」

と云つた。麝香の香が染みてゐる。

くある仕草であつたが、新左衛門、目はちかりと光つた。それを由比は見たかどうか?

「それから」

と、奉行はまたこちらに顔を向けた。時は、新左衛門は、やはり薄笑ひをしてゐた。

「一昨々日、章信が、行方不明になつたのです」

「何處で、どうして」

「さ、それがわからないのです。葭原へ行く道すがら駕籠をすりかへられてしまつたのでせう」

「……」

「これも田沼老人は、私が、私の部下がしたことだと睨んでゐるやうです、が、こちらは一向に覺えがないのです。老人の方から、もつと、思つてゐるだけでなく、お前の仕業だらうとぶつつかつて來てくれると、こちらから切り込み様もあるのですが、いまあるきつかけを待つてゐる形です」

「もし章信殿が、私の目附だとすると、そして、私が、それを感付いてゐると思ひ込んでゐるとすると、田沼殿は私に嫌疑をかけてゐるかも知れませんね」

「なる程、これは大きにさうかも知れませぬな、それは面白い、そ

キネマと演藝

現代映畫の全盛期　時代劇は下火

本邦映畫は時代物と現代物と比較すると一昨年迄は時代物全盛時代であつたが時代につれて昨今は現代物が時代物を壓倒して來た、昭和五年度の内務省の検閲に於ける統計を見ても時代物は四十九パーセントに對する現代物は五十一パーセントとなつてゐる、この時代物に對し現代物が稍優勢なる現象は五年に於て始めて見る現象であつて從來は常に時代物は現代物を壓し昭和四年に於て時代物五十三パーセントに對し現代物四十七パーセントであつた、本年に入つていづれも大評判をとつた邦畫を見ると現代物よりも遙かに多いな　米國映畫にあつては現代物九十四パーセントで時代物は僅かに六パーセントに過ぎない、現代各國は現代物八十二パーセント時代物は十八パーセントといふ數字を見せてゐる

阪妻の相手に　望月禮子出演

「戸雲長門城」に次ぐ獨立第三回作品として得意の三尺物長谷川伸氏原作「雪の渡鳥」に決定した阪妻は相手女優をいろいろ物色の結果新興キネマのスター望月禮子の應援出演で仲秋映畫陣に封切るべくいよいよ撮影を開始した、(寫眞は阪妻と望月の顔合せ)

噂話

滿洲事變から俄然軍人映畫の全盛期が訪れた花火線香式が知らぬが今のところ物凄い勢ひである▲スタヂオから來る通信はこれもこれも軍事映畫の宣傳ばかり▲各社とも物だけに他の撮影を一切中止して滿洲事變映畫に全力を傾注してゐる▲新興キネマの太秦撮影所内には忽ち奉天城内のオープンセットが出來上つたといふ騒ぎ▲たゞこの機會をさらへて撮影中止を巧に發表したのは右太プロの「恩讐三巴」だけ▲また各社のニュース班が來滿して克明に働いてゐるが、このうち相當なネガを軍事劇映畫に挿入して滿洲ロケーション大作品とする計畫らしい▲各社の作品が滿洲で上映された時は、アスコが映つてゐるココが映つてゐるといふことになりさうである▲松竹映畫は中央館

軍人慰問の歌舞伎劇　卅日から大劇

大連消防組にては大連新聞社後援にて東京梨園の若手人氣俳優松本松五郎一座の東京歌舞伎若手一座を招き來る三十日より向ふ七日間大連劇場にて出動軍人慰問品贈呈興行を主催することになつた、松本松五郎は松本幸四郎門の若手俳優として重きをなし、その他一座は何れも新進錚々たる花形揃ひで御目見得、言として「義經千本櫻」(木の實より鮨やまで)三場、中幕「鈴ケ森」目塚の場、二番目新門辰五郎五場を上演、入場料は階下二圓階上一圓三十錢、小人半額均一である【寫眞は松五郎の新門辰五郎】

落成まで賓館に行き當分用事がなくなつたといふので來月早々中野松竹声務は内地に引揚げの準備中

棋戰(六)

香落　四段　△坂口　允彦
二段　▲毛利　勝喜

【圖は前號指了迄の局面】
▲毛利氏　持駒　角桂歩

△坂口氏　持駒　飛歩

▲	△
四四角	七五銀
八六歩	同　歩
六六角	同　銀
八六飛	七七銀
四六飛	四七歩
四四飛	六六角
四五飛	

【土居八段講評】▲毛利氏は攻守兩用の意味を持つて四四角と打ち、以下飛車の捌きに努めたが、坂口君の應手宜しきを得、依然不利の局面に陷つたのは止むを得ない。

【萩原六段解説】毛利氏四四角は攻防を兼ねての應手である　その時坂口氏七五銀も、四四角と交換しては同飛と取られて、その時一四歩では一六歩と打たれ、同香では二四桂の手があつて上手不利となるから、七五銀は當然であつた。毛利氏八六歩も敵八四銀なら六六角で有利であるから、飛車の活用を圖る意味がある。毛利氏の四六飛は敵に四七歩と打たれて後手を引くから、強く八八飛、同銀、六六角と決戰しても白陣が惡い故に先手を取つてよい　その時七七角なら五七角成以下四六馬の手や六六歩打があるから相當指せるりである。

滿洲日報

吉林省の獨立を宣言

煕參謀長自ら長官として臨み 政府委員其他を任命

吉林にある煕參謀長は二十八日吉林省を獨立行政區域とすると各方面に宣言してセンセイションを捲き起した即ち煕參謀長は自ら長官として行政權を握ることゝなつた、宣言と共に省政府委員及主なる縣知事を任命それぞれ發表した【長春電話】

四省民衆を基礎に獨自の新政權樹立

地方維持委員會中心に根本方針決定

今回の滿洲事變は東北四省の民衆に取つては𨻶らずして張作霖、學良二代に亘る張家の壓制から解放された結果となり心ある支那人はこの際多年の張家の專制政治に代るべき新政權の樹立を希望する機運が漸次濃厚となりつゝあるが、そのうち東北の元老袁金鎧氏等によつて組織された地方維持委員會を中心とする支那側有力者間は過般來數次に亘り會合協議を行ひた結果略東北四省民衆を基礎とする獨自の新政權を樹立する根本方針を決定したがその趣旨は次の如きものである

一、新政權の本體は東北三千萬民衆總意に合する人物を以て組織し且つ適合する政體たるべきこと

二、右人物及び政體は民衆の公選したる委員制たるべきこと

三、地域は東北四省とし中央政府とは分離せしむべきこと

而してアメリカの聯邦制に倣ひ各省の機會均等の理想郷を建設する目的であると【奉天電話】

新政權の樹立には相當の時間が掛る

地方委員會の見解

奉天獨立政權樹立に關しては東三省民衆一般の民意に基き既に東北紳民時局解決方策討論會が廿八日附にて宣言文を發表し新憲法の制定をも終つたといふことであるが右に對し地方維持委員會の袁金鎧、丁鑑修氏等の談話を綜合すると左の如きものである

二十八日さういふ話を聞いたが奉天としては何もさう急ぐことは無いと思ふ、吉林には煕洽氏を主席とする臨時政府が成立し黑龍江省にも同樣の臨時政府が成立するであらうが奉天は吉黑兩省とはその趣を異にしてゐる、吉黑兩省が手足ならば奉天は頭である、その頭が無くなつた上對內對外關係の複雜なることこそ吉黑兩省の比ではない、從つてさういふ自治機關が出來るにしても未だ〳〵時間が掛るまたそんなに急ぐこともない我等は一般民衆の意嚮に依り時局收拾のため起つたものでそんなことよりも先づ第一に治安維持、糧食、金融問題の整理完成が當面の急務である、そんな譯で今朝も兵工廠職工の救濟問題で委員會一同多忙を極めてゐるやうな有樣である【奉天電話】

野砲聯隊の閱兵式

(上)二十七日午前十時長春臨時競馬場における海城野砲第二聯隊の閱兵式(河野聯隊長の閱兵)と(下)閱兵式

廿八日北平で救國市民大會

【北平二十八日發】救國市民大會は本日午前大和殿廣場で擧行約二十萬の參會者あり近來稀な活氣を呈し滿場一致日支開戰を決議し之を張學良氏へ傳達するに決し十一時閉會後日本を罵倒しつゝ市內の示威行列を開始した、日本駐屯軍は萬一に備へ警戒した

省廢合の一段落で愈豫算編成に着手

昨日閣議で大藏省査定案を說明 各省との折衝を開始

【東京特電廿九日發】省廢合問題一段落とともに大藏省では愈々明年度豫算編成に着手する事となり井上藏相は二十八日藤井主計局長を官邸に招き協議の結果二十九日定例閣議で行政整理を含む歲出豫算の大藏省査定案を說明して各省との折衝を開始することゝなつた、尙井上藏相は二十八日首相との協議の結果當日閣議の席上で若槻首相は各閣僚に原案承認方の希望を爲すことゝなつた

注目さる鐵相の態度

【東京廿八日發】若槻首相は原鐵相が拓務省廢止に極力反對し來つたため又廢止か正式に決定した際原鐵相の政治的責任問題が起つて來る譯で之が處置に關して若槻首相も苦心してゐるが、原鐵相も內閣を瓦解して迄主張を固執すまいから原鐵相の態度は注視さる

原鐵相語る

【東京廿八日發】私としては拓務省廢止反對説はまげないが政黨內閣の一員として處置を總理に一任した以上假へ如何なる裁斷を下されやうと之に服さない譯には行かぬ私の立場は非常に苦しいが世人は私の苦衷を理解して呉れる事と信ずる

不愉快だ 棟居課長談

拓務省廢止の報をもたらして目下恰も關東廳で開會されてゐる稅制調査委員會に出席中の棟居殖產局

他の行財政整理で藏相、原案承認を求む

豫算編成上責任が持てぬと

【東京二十八日發】三省の廢合は井上藏相最後迄奮鬪したに拘らず反對閣僚の强硬なる異論のため遂に拓務省廢止のみに止むる事に決したが、井上藏相は明年度豫算編成の唯一の打開策として立案せる行政整理案が斯くの如く讓步の餘地あるものと一般に解されては到底豫算編成上責任を持つ能はずとなし若槻首相に對して

省廢合は已むを得ず讓步するも交換條件としてこれ以外の行政整理案はこれ以上妥協の餘地なし財政整理案も是非原案全部を承認されねば豫算編成は不可能であり藏相として責任が持てないからその點を了承され度いと一本釘を打ち首相もこれを承認した模樣である、よつて藏相は豫算編成期切迫せる關係上最近の閣議に行財整理案を提出して直に各省との交渉を開始し原案通り纏め上げる方針である

樞府本會議 けふ十時から

【東京特電二十九日發】樞府定例本會議は三十日午前十時より開催日本とリスアニアとの條約御批准

の件を可決後樞府側の非公式要求に依り南陸相より日支軍の衝突事件突發以來の狀況軍の行動及び今後の方針事件の經過を詳細報告幣原外相は又同事件に對する臨機の處置全支に亘る反日狀勢今後の對滿對支外交方針並に聯盟の經過につき說明を求める事となつた

刑事課は廢止か

關東廳の行政整理で

關東廳刑事課はその事務の性質上新設當初以來最も刑事々件の多い大連に設けられてゐるが、目下同課の刑事は全部奉天事件以來沿線各署の應援に出張つて專らこの方面に全力をあげてゐるが時局柄警務局長以下局內各課との連絡緊密を要するところから廿八日刑事

我軍撤兵期は交渉相手決定の時

首相と今後の方針を協議後 金谷參謀總長語る

【東京特電廿八日發】金谷參謀總長は廿八日午後四時官邸に若槻首相を訪ね關東軍の配備行動今後の

時局上した金谷參謀總長は語る滿鐵沿線外の部隊は逐次撤兵しつゝある目下一部が吉林と鄭家屯に派出されてゐるが滿洲

か又は今回の事件の交渉相手が決定した時撤兵すべきものと

滿蒙時局につき陸海軍巨頭會議

昨日陸相官邸で開く

【東京廿九日發】滿洲事變に關し二十九日午後三時より陸相官邸に陸海軍巨頭參集重要協議會を開いた、出席者は陸軍側は閑院宮殿下を始め白川、井上、鈴木菱刈各大將、南陸相、武藤教育總監、金谷參謀總長、二宮參謀次長杉山次官海軍側よりは伏見宮殿下東郷元帥、岡田、財部兩大將、安保海相、谷口軍令部長、永野次長小林次官等で滿蒙對策につき重要協議を遂げた

定例閣議

【東京二十九日發】二十九日の定例閣議は午前十時より開會先づ幣原外相より

香港においてはイギリス軍隊の出動に依り漸次鎭靜に歸しつゝあると述べ安保海相は香港の情勢を補足說明し次で南陸相より

ハルビンにある張景惠が治安維持會を設立し其の會長となり全力を盡し各國人を一樣に保護する事を聲明してゐる然して二十七日を以つて黑龍江省の獨立が聲明されたと傳へられてゐるが此の黑龍江省獨立は黑龍江省全體でなく恐らくハルビン治安維持會の事であらう

と報告し井上藏相より

イギリスに總選擧が行はるゝとすれば其の期日は來月二十日頃であらう

と述べ正午散會した

約五十萬圓節約

【東京廿八日發】拓務省廢止の結果拓務院が設置される場合は大體內閣拓殖局に準ずるものとして約五、六十萬圓の節約と見られる新拓務院の經費を三十萬圓とし約五十萬圓程度の節約となる、なほ移管諸經費左の如し

一、經常部樺太廳特別會計繰入れ百六十萬二千圓

一、臨時部

(イ)移民收容所費九萬三千圓

(ロ)移植民及び海外拓殖事業保護獎勵費二百四十八萬圓

(ハ)特別會計補助金二千百三十七萬三千圓

朝鮮一千五百四十七萬三千圓

關東廳四百萬圓、樺太廳百六十萬圓、南洋廳三十萬圓

副總裁は堀切次官 任用の模樣

【東京二十八日發】拓務院總裁は大臣が兼ねる規定となつてゐるので若槻首相が兼攝すべく副總裁には現拓務次官堀切氏を任用する模樣である、なほ同院の官制はまだ發表されぬが定員は拓務省の三分の一となる

課長心得以下庶務關係職員數名は關東廳に歸り課室に陣取つて事務を開始した、なほこれは沿線に行さうゝであらう同廳行政整理の前提かとも見られてゐるが、目下大連の刑事課內には田口警部補以下係員のみが殘つてゐるさうだ

獨佛經濟問題審査委員會

【ベルリン二十八日發】二十七日午後非常なる歡迎裡にベルリンに到着したフランス首相ラヴァル氏及び外相ブリアン氏等は二十八日直にドイツ外相クルチウス氏等と會見の結果兩國に關係ある諸種の經濟問題を審査する爲め常設委員會を設置するに決した旨發表した

歐亞連絡小荷物輸送を開始

【東京特電廿九日發】今春の歐亞連絡會議で決定された歐亞小荷物輸送(浦鹽經由)はこの程ソヴィエトから鐵道省國際課へ英、獨、佛、露語等で印刷した小荷物送狀や書類を送つて來たので愈々十月一日より實施に決した、このため日本から歐洲へ四十日を要したがスエズ經由の船便も今回の改正により十六日から二十日位迄で配達される事となつた

府縣議戰結果

【東京特電二十九日發】府縣會議員選擧も愈々大詰となつたが二十八日午後十時までに開票した總數は如くで總計一千百四十七名中民政六六二、政友五〇八、無產一七、中立其他五三となり民政の差百五十四名であった

海運同業組合軍隊を慰問

大連海運同業組合では去る二十五日緊急役員會を開催今回の事變により我が皇軍の勞を犒ふため委員を派遣して、慰問品を贈呈することを決定した、久留島組合長三村元介氏は組合を代表し

邦人雇傭支人に辭職勸告

【上海特電二十九日發】上海市抗日會は昨夕第二回常務會議の結果、日本人會社に働く支那人を日本人會社と關係を斷絕せしめ、日本人會社の從業員約五萬八千人總罷業を決行せしむる計畫で其際の工員生活保障は一ヶ月約七十萬元

竹內中佐來連

廿九日午前十一時大連入港のはるびん丸にて陸軍大學教授竹內寬中佐が來連したが船中に訪へば語る 來春の陸大生の戰蹟視察旅行の準備に來たのです、時局がこんなになりましたので忙しくなりましたが、來年も學生は平年通り來ます、來年の一行には宮樣はいらつしやいません

第二の反抗 (45)

三宅やす子 作
阿部金剛 畫

戀ごゝろ (十一)

母は父の部屋を氣にするやうになだめて

「ちやあ」

云ひかけて、母は一寸息をつく云はふか、云ふまいか、こんなことを云つてしまつて、あとで取り返しもつかないへんなことになりはしまいか、さう案じながら、

「察一さんと、何か約束でもしたやうなことはないのかい」

「………」

思ひがけない母の言葉だつた。それはまるで、佐枝子にとつて、きく豫期のない、意外な質問であつた。

「嫌よ、母さん、改まつて」

佐枝子は笑ひ出した。

「だつて、私がさう思つたことなんだもの」

「嫌、母さん、改まつて」

佐枝子は疑ひ付いて、「佐枝子さん。誰か、この人なつてきな人でもあるのかい。それならあたしに云つといて貰へば、何か約束でもしたやうに

「嫌なこと、母さん、察一さんは御承知にはなるまいけれど、姉さんはいやらないだらうよ。父樣にはお話のつけやうもある。佐枝子は仲善しだから、鮫島さんと縁談しろつて、すぐ鮫島さんに察一さんだけ話してあるのか、察一さんは何のつもりで

「嫌ふ、邪推、遠慮のない從兄妹同志だから、それに、佐枝子さんは、見さんよりも察さんの方に、よけい遠慮がない位だから、ひよつとしてか何さか――」

佐枝子は、いきなり、母の言葉を遮つた。

「あたし、察一さんのお友達なんか、一人も知らないことよ。だもの、好きな人なんかありつこないわ。」

「さうかい」

母は半信半疑の聲で

「それぢや、どう云ふ人だらうね」

「どういふ人でもありやしないわ。あたしは、鮫島さんが嫌ひなの」

「何故さ」

「何故つて、嫌ひだから嫌ひなんだわ。ほかに何も理由はないわ」

「そんな駄々を云つたつて」

「駄々ぢやないことよ。はつきりした理由よ。これ以上、明瞭な理由はないことよ」

母は口籠つた。

「………」

佐枝子は何かしら、眼くなつた。

「もしか、他の人とは約束しないといふやうな、約束でもありやしないか、つて氣がさして來たんだよ、あんなに、察さんが、熱心に橋本の縁談に反對するところを見るとね」

「違ふわ。違ふわ」

佐枝子は急テムポに叫んだ。

「察一さんは、そんなつもりで父樣に話して下すつたんぢやないわ。察一さんは、私が不幸になるのを見て居られないからなのよ。只それだけよ。察一さんはそんな人ぢやないわ。そんな計畫的に口を利く人ぢやないわ」

さう云ひ乍ら、佐枝子は急に

家庭

慰問袋

きのふ第一回の發送を終る

けふ第一回の募集を打切る　未屆の方は至急に

慰問袋の受附は日毎に激増して二十八日までに本社滿日婦人團本部まで持込まれた慰問袋の數は六千二百七十四個に上りました。この慰問袋は片つぱしから諸商店より寄贈された本箱に詰め頑丈に荷造りのうへ二十九日先づ六十一箱四千五百六十一個を二十臺の荷車に滿載して關東倉庫を經て滿洲各地に在る我が軍人並に警察官吏に宛て第一回の發送を終りました、なほ慰問袋の第一回募集は今日限り打切りますから未だお屆なき方は至急今日中に便宜左記の箇所へお屆け下さい

▲滿洲日報社內　滿日婦人團本部
▲沙河口　岡榮新聞店
▲浪速町　宮崎時計店
▲伊勢町　熊井洋行
▲連鎖街　備後商會
旅順滿日支社
滿日金州支局
滿日普蘭店支局
滿日貔子窩支局
滿日周水子販賣店
滿日城子疃販賣店

慰問袋受附數

廿七日　▲一個宛鬼塚新治、池田やす子、藤井キワ子、幸福すま子、梅本みつ子、直塚すて子、山田隆三、及川𢎭、最上五郎、山口洋行、井上きぬ、大連…

赤ちやんの

お乳を離すに今がよい　で、その準備には斯ういたします

おはびらで

お酒を飲む禁酒國人　お巡りさんはお金持

宮下忠雄博士談

童話　鐵砲（五）

致本いさむ

數多いシドニー動物園のお猿さんから選び出されたミセス・モンキー

滿日各地版

四洮沿線の警備に 我軍の出動を請願
敗殘兵や馬賊横行

【鐵嶺】昌圖縣政府は縣内に於ける治安維持は必ず全責任を以てこれにあたるといふ條件のもとに公安大隊の武裝解除を免ぜられたものなるが昨今の縣下各地は誠に物情騒然たるところに敗殘兵や馬賊の横行甚だしく殊に四洮沿線管内は九頭目聯合の優勢馬賊が跳梁し去る廿四日の如き八面城を包圍して來た 一時は市街にまで襲撃し來り在留邦人の生命財産も危險に瀕する程の有樣でこれには縣政府も全く手のつけやうなく安全を保し難きこと明瞭となつたので遂に縣長組織は二十七日八面城の我領事館出張所に對し四洮沿線方面の治安維持に對し日本軍隊の出動を請願し一般に布告するところがあつた

三輪大隊當分 安東に駐屯

【安東】大隊本部の安東引揚げ内命は既報の通りであるが右に對し三輪大隊長は改めて關東軍司令部並に所屬師團の兩者に向つて安東駐屯の必要なる點につき意見を開陳したる結果改めて命令なき限り現狀の儘である旨二十七日三輪隊長より發表された

嘆願するのを むげに銃殺
家屋には放火灰燼に歸す 德廣氏遭難の詳報

【鐵嶺】新民縣下藍旗堡子居住邦人原籍高知縣岡豐郡岡豐村字小籠特務商德廣貢（三二）が去る廿四日敗兵のために虐殺されたりとの報は既報せる處なるが未だ詳報なきため幾分半信半疑されてゐたが廿七日新臺子より派遣された調査員の報告によれば右虐殺事件は事實なることが證明された、卽ち二十四日（時間不詳）約五十名の敗殘兵は德廣方を包圍攻擊を開始したが德廣は豫てより家屋の內外に嚴重なる防備を施設しゐるを以て屋內より頑強に應戰したるも敵軍容易に去らず益々攻擊するので遂に德廣も敗兵團に對し要求に應じ停戰の交渉をしたゝめ敵は金品と銃器を提出せしめた上屋内に侵入大掠奪を開始し德廣が避難せんとするや逮捕緊縛し哀訴嘆願するを肯かず部落の西北方に連れ銃殺し死體は村長に命じて埋沒せしめ住宅は火を放つて灰燼とし引揚げたものであると

電線を切斷

【遼陽】遼陽南方首山驛の電柱四十四號の碍子十五個を廿四日四十六號の碍子六個を廿八日破壞された事が廿八日發見されたので遼陽署から新妻司法主任外二名現場に臨檢した處破壞電柱下には數十箇の石塊あり或は附近部落民の惡戯ではないかと認められるので楊縣長に部落民の嚴重取締方を交渉した

鮮人續々避難

【鐵嶺】敗殘兵の横行は各地鮮農を極度に恐怖せしめ安全地帶を求めて避難する者陸續とし鐵嶺にも大甸子を始め營盤牛莊山其他より來るもの多く二十三日以來十一家族五十二名に達したるが之等は何れも家を燒かれ家財を奪はれ重傷を負はされ辛苦完成せる八十五天地の水田も收穫を目前にしながら放棄避難の止むなきに至つたものである

遭難鮮人 避難
着のみ着の儘

【鐵嶺】新臺子西方腰長溝沿部落には在住鮮農九戸あり今回の事變に際し敗兵團から最も慘虐を加へられた部落で金寬裕、朱光瑞、金斗吉、金聖模、金賢龍、柳白元の六戸は家を燒かれ家財は掠奪されて着のみ着の儘新臺子に避難し金南和（三）柳白元（三九）の兩名は毆打暴行されて重傷を負ひ目下新臺子で療養中である

軍司令官から 小冊子を配布

【遼陽】本庄關東軍司令官の名を以て時局に對し帝國の方針と中國人の誤解なきを期するため城内外華人にパンフレットを配付したが楊縣長亦治安維持につき管内住民

安東驛通過貨物 事變以來激減す
平常の半數にも達せず

【安東】時局突發以來安東通過並に到着發送兵貨物の輸送は激減し目下平常の半數にも達しないが安東支那人中には時局が平靜に歸したるにも拘らず取引を差控へる向もありて當分は一般貨物の輸送は現狀の儘と觀られて居る、尚安東驛は目下連絡以來の一般貨物並に旅客の取扱ひを開始し殊に貨物吸收については大童になつて活動を開始し最近貨物線内に案内係を專任し貨物に關する一切の相談に應ずることゝなり目下吸集策につき努力中である

軍人の留守宅へ 慰問使派遣
遼陽時局委員會決定

【遼陽】遼陽時局委員會は廿八日午前十時半から滿鐵社員倶樂部で開催種々協議の結果左の如く決定した

▲出動部慰問使派遣の件（軍司令部、第二師團司令部、歩兵第十五旅團司令部、歩兵第十六聯隊）は地方委員、區長、新聞記者團各代表一名宛

▲留守隊及出動軍人留守宅慰問の件（時局委員を六班に分ち）廿九日午後訪問の事

▲警察職員、在鄕軍人の警備團に對しては追つて市民より謝意の方法を講ずること

▲時局委員會に要する經費は滿鐵側と市中側在住者と折半負擔のこと

▲時局委員會に常任委員を設け地方事務所長に員數と氏名の選任を一任

因に慰問袋は廿八日正午迄の締切二千二百五十六個であつた

旅順市から 慰問使

【旅順】出動軍隊、警察官吏並に傷病將士慰問の件に關する旅順市會は二十八日午後一時から會議室に於て開催市長の說明あり附議の結果永山市長の他市會正副議長、市參事會若くは市會議員の中より一名は卅日出發關東軍司令部を始め各部隊を訪問親しく慰問を行ひ同時に酒肴料を贈呈し尚又入院中の傷病將士に對しても慰問の上見舞品を贈ることに全會一致可決同五十分散會せるが市長同行の議員は市長において詮衡決定する

慰問品寄附者
關東軍受付

▲慰問金 金五百圓奈良縣丹波市町三島天理教管長中山正善、金一百圓奉天萩町十一番地原田孝七、金五十圓曹洞宗大本山永平寺、金一百圓曹洞宗滿洲布敎團、金壹百圓奉天木曾町十一番地奉天醫師會長西田讓一、金一百圓滿鮮支那視察團貴族院議員第一班長大久保立、金六十圓妙心寺派布教會奉天駐在員、金五千圓滿鐵社員會、金一百五十圓大本教出口日出麿

▲慰問袋 六十個天理教滿洲傳道廳平野好松、五百個京都本願寺の代表藤永彰隆、八十七個本派本願寺特命慰問使津村雅量、二百個奉天宇治町五龜山俊定、五百個奈良縣丹波市町三島中山正善一〇一五個大連市沙河口在鄕軍人沙河口分會、靑年聯盟沙河口支部、滿鐵社員會沙河口連合會、修養團沙河口支部、菓子朝日軒女給一同代表植田節子、辨當神習會奉天婦人會、守札（三〇〇個）長崎市八幡町宮地嶽神社、一百六十個旅順第一中學校二百個旅順高等女學校、二百十四個安東地方事務所、二百個奉天宇治町上田光子、七百四十二個大連神明高等女學校、三百三十二個滿鐵婦人社員酒井光子、一萬個森永滿洲販賣株式會社、三千五百五十個天理教管長中山正善、三千個（菓子）奉天看護婦篤志婦人會

長春の非常市民大會 廿七日開催

古池のやうに 靜かな長春
展開されゆく平和鄕

【長春】南嶺への逆襲敗殘兵の掠奪事件、又戰ひの餘燼は燃えつかない線香花火みたやうな小競合が各地で行はれてゐるが、北滿のわが權益の最北端たる長春は今や全く靜肅な街に歸つた、人心は日支人を問はず軍司令部の布告によつてホツとしてゐる、市の諸般の行政機關は何の支障もなく、すらく實行されてゐる、支那側電燈廠の鐵坤、支那各銀行の行務再開、すべてが擧げて經濟界は安定の一途を辿つてゐる誰かつい數日前この靜かな町が湧き返るやうな戰爭へ戰爭への行進曲をコーラスしたと想像しやう、今では古池の水のやうに靜かだ、あの劍付銃の颯爽たる步哨の姿も必要ないといはれてゐる市中を示威行軍した我が精鋭なる軍隊の軍靴の正しいリズムが

何時の間にか支那人に大きな感銘を與へてしまつてゐる、支那人自身があの足どり確なわが軍の威容に壓倒され、驚嘆してゐるのだ、今日では「自分達も日本人になりたい」といつてゐる、大きな力の前に抱かれたいやうな感じは何時の間にか、一樣に持つてゐる、曾て長春の街上でよく散見した慨歎、日、露、支、鮮人等の醜い爭ひが見られたがこの數日來の長春では見やうにも見られない今の所全くわが軍の前に擲げられた平和鄕だ、そして支那人は南支方面の抗日運動の**兇暴**な樣子を聞き傳へ「南方人は氣が違つた」と稱してゐる「長春迄行けば命だけは大丈夫だ、日本軍隊が保護してくれる」と奥地に逃げ込んだ敗殘支那兵の暴虐な掠奪を恐れた正直な土民達は安全な長春へ長春へと或は徒步で又列車によつて運ばれその數は夥だしいものである

皇姑屯驛平穩

【奉天】北寧線皇姑屯驛は廿六日より我憲兵により維持されてゐるので至極平穩である

安東附近平穩

【安東】目下鐵道沿線は絶對に安全であるが鐵道沿線から四五里程離れた部落に於ては依然として流言が放たれ多少不穩の狀態を呈してゐると

支那側の感謝

【安東】支那側商會會長は二十七日安東商議に荒川會頭を訪問し荒川氏の同道にて大隊本部に三輪大隊長を訪ひ銀行、栗以來財界も大いに安定し日本軍の嚴肅なる警戒に依つて治安維持も完全に保持され市民も感謝しつゝある旨述べ深甚の謝意を表した

列車妨害

【遼陽】遼陽署管内十里河驛北方三千四百五十米突（大連起點三百卅六粁七八八）の地點にて廿六日午後四時から五時頃迄の間に下り線路に石塊を並べ列車妨害があつたのを同日下り廿三列車の機關士が發見急停車して除去したので幸ひ大事に至らなかつた

鮮人密輸者

【安東】二十六日午後八時半頃安東寺前にて鮮人服の男が停止するを認め時節柄線路妨害を爲す者と認め直に取押へ取調べたるに鮮人の鹽密輸入者なる事が明かとなつた

軍隊の見舞

【奉天】三浦內務局長は塚本長官代理で上島縣と共に廿八日朝來奉同軍司令官、守備隊司令官等を訪問し陣中の見舞をなす處あつた

沿線往來

▲三浦關東廳內務局長 二十八日朝來奉

▲村上滿鐵理事 二十七日歸連

▲貴族院議員鮮滿視察團一行 二十八日長春へ

滿蒙に亘る山河を 駈け巡つた鬼羽山
四平街で戰況を語る

【四平街】鬼羽山の驍名を轟かし滿蒙の山河、木を風靡せる同部隊は目下鄭家屯に於て休養の姿勢をとりつゝあるが、二十七日午後一時二十分羽山少佐は或る任務を帯び當四平街守備隊司令部に來り各地新聞記者及び特派員に左の如く語る、連日に亘る軍務に些の疲勞の色を見せず日焼けた顔に精悍の氣を湛へてゐる内にも一脈溫情の溢れるを窺はせ、双頬に蓄へたる髯の生じたるを見るも如何に東奔西走席暖まるの遑なきかを物語つてゐる「我軍の士氣は益々旺盛で今や興奮の極に達し部隊の中には動やともすれば氣の逸び相なる者が澤山居る」と前提して約四十分の長きに亘つて戰況を語り續けた

◇

去る二十二日四平街を出發してより何等の變化なく鄭家屯を占領、こゝに滯留する内二十四日朝突に至る補田中佐の率ゐる大隊が到着したので大に力を得、之と合隊して洮南を占領の目的で鄭家屯を出發した、我が軍の士氣は漸く揚り後裝甲車の前部には日章旗を掲げ後部には二輛の空貨車を連結した、一は傷者を收容し一は戰死者を安置する目的であつた、而も其傷者を收容する貨車には既に軍醫が乗込んでゐたが此の事實を知つてゐたも[illegible]自分と參謀、副官軍醫のみであつた、自分は出發に臨み「假令自分が戰死しても決して戰死車に收容してはならぬ戰死車に入るれば部隊の意氣が阻喪する故若し戰死しても部下の者に向つては大丈夫だといつて傳へて呉れ」と既に戰死を覺悟して洮南驛に着いたのである。

◇

在住邦人の歡呼は今更嘖々を須ひないが下車すると共に不思議に感じたことは彼の張海鵬の屋上に日章旗の翻へつてゐたことだ、竹村鐵道顧問の案内で先づ公所に入り此處に張を召喚したが彼は誠を厚うし耕な事うして無抵抗にて武裝解除を聲明したので自分は「決して貴下及び貴下の部下の武裝解除を欲するものではない、現時當地方は匪賊横行頻發の由なれば貴下は速かに部下を集め地方の安寧秩序に當られたし」と答へた其時顔色蒼白となつた傳令使が一通の書狀を持つて來たそれは本部よりの急電で「至急洮南より引返せ、鄭家屯以西に我が軍の出動を許さず」此の急電に自分は素より並居る竹村君も顔色を變へたが司令部よりの嚴命犯し難く鄭家屯に引揚ることに決した

◇

その時竹村君は「では一つ洮南市中を威か行軍をやつて貰ひたい」その態度によりラッパの音を嚠喨に響かせつゝ約二時間以上洮南市内を行軍して驛に辿りつき乗車したがその際在住邦人は醵つて日本酒、ブランデー等を車内に持ち運び乾盃を始めた、お互に醉ひが廻るにつれ隨分面白い話が續出する内彼方此方に男の泣き聲が起つて部下の兵士の中にも貰ひ泣きといふ涙を眼に湛へてゐた者も澤山あつたが「國の靜め」の吹奏を最後に洮南を後に親愛なる邦人と訣別することゝなつた、啜り泣き聲と萬歳の交錯して劇的シーンは展開された斯くして部隊は鄭家屯に引揚げたが途中線路警護の任に在る巡警は武器を所持させてゐた筈にも拘らず皆丸腰でその任に當つてゐる聞けば「馬賊の襲來を受けて掠奪されたゝめだ」と鄭家屯市中に入れば到る處の門戸に「被偸一空」と特筆大書した貼紙がある。

新發賣

サーワ白粉

チタニウムに特殊の成分を配合して　絶對に無鉛無害　而も含鉛白粉同樣に附着よく　伸び良く　水刷毛がよく利いて　特別の白さに冴え汗に崩れず剝げ落ちず　頗る永保し白粉界に一新紀元を劃した

貴顯名流　貴婦人　御愛用
大日本俳優協會推奬　日本俳優學校專用
第三回化學工業博覽會優良賞受領

此特長を御覽下さい

（一）普通白粉とは全く原料を異にし、絶對に鉛分を含まず、然も含鉛白粉と同樣に附着伸白由で、汗に崩れず、また剝げ落ちません。◇

（二）濃淡の化粧總て水刷毛が能くきゝ、水刷毛を使へば使ふ程艶良く冴えて眞に生彩ある化粧榮と成り、また二重塗がよく利きます。◇

（三）濃化粧襟化粧に極小量の白粉下を用ひる他は、ミツワ石鹼で洗ひ整へた地肌なれば、化粧下は小量な程却つてムラ無く附きます。◇

（四）特に被覆力大に好く冴えるから、普通白粉の半量以下にて却つて以上の効果を擧げ、仕上りはサラ〳〵として白粉が浮きません。◇

（五）乾きが頗る速いから、濃化粧しても襟を汚さず、又衣類に附着ても乾かして叩けば、粉末と成つて綺麗に跡無く飛んで了ひます。◇

（六）含鉛白粉と同じにお顏面ばかりか、手足迄も湯化粧ができて、白粉が地肌に滲込んだ樣に美しく沈んで、驚く程永保ち致します。◇

（七）此白粉で化粧して撮影した寫眞は、他の化粧の時の寫眞とは全く違つて目鼻立全くくつきりと、實に鮮やかな美しさに寫ります。◇

（八）白粉焦せず斑點を作らず、又溫泉や海水浴に湯焦日燒を防ぎ、若し又內容が乾いても、化粧水か淸水で溶けば新らしく成ります。

サーワ化粧品の種類と定價

品名	色	定價
サーワ固煉白粉	白色・肌色	各六十錢
サーワ煉白粉	白色・肌色	各三十五錢
サーワ水白粉	白色・肌色・濃肌色	各五十錢
サーワ粉白粉	白色・肌色・濃肌色	各四十錢
サーワ化粧水		四十錢
サーワ白粉下		三十錢
サーワヴアニシングクリーム		五十錢
サーワコールドクリーム		七十錢
サーワ口紅		三十五錢
サーワ頰紅		三十五錢
サーワクリーム白粉		五十錢
其他		

近來チタニウムを原料とし、或は之を配合した所謂チタニウム白粉と云ふものが數十種販賣されて居りますが、此等は三木元子女史が研究創製しましたものとは、全く種類を異にしてゐます。混同なさいませぬやう御注意を願ひます。

發賣元　ミツワ石鹼本舖　丸見屋商店
東京市下谷區二長町　營業所
振替東京七一〇番・電略〇ミヤ
電話下谷(83)一一〇一―一一〇五番

尾上菊五郎丈の鏡獅子の胡蝶と　サーワ化粧品の種類　各縮寫圖

理事者の腹案を一蹴し 市議お手盛り旅行 人選で紛糾を生じた市の慰問使

今回の滿洲事變に際し滿蒙に於けるわが既得權益を擁護し併せて在滿同胞の生命財產保護のため派遣され日夜活動してゐる帝國軍隊ならびに警察官の勞苦を犒ふため大連市より衷心感謝の意を表すべく慰問金贈呈および慰問使派遣の大連市理事者、市會議員の協議會は二十八日午後二時から市役所議員控室に於て開かれた、協議の結果慰問金は市豫備費の中より陸軍へ五千圓、警察官へ一千圓、計六千圓を支出して贈呈するに決したが慰問使派遣には旅費五百圓を支辨し當日市理事者の考へでは市長代理市會議長に二、三の議員を加へる程度の豫定であつたが、市會議員の希望者意外に多く中には戰跡視察を目的とする遊山氣分も手傳つて十七名に達しこれが人選に一紛糾を起した、處が滿鐵と交渉の結果無賃乘車券の支給は出來ぬと斷られたので尻込みする議員も出て結局左記十一名の議員が派遣される事に決定したが、市理事者の腹案は一蹴され而も市役所を代表する者は一名も加へられず議員御手盛で市長問題を他所に一行は二十九日午後九時三十分大連驛發北行する事になつた、因に一行は三班に分れ左記箇所に下車慰問の使命を果す筈である

▲第一班 奉天へ（大内、石本、若月）▲第二班 旅順、瓦房店、營口、遼陽の奉天以南および本溪湖、連山關、鳳凰城、安東の安奉沿線（今村、仙波、高塚、笠原）▲第三班 昌圖、四平街、鄭家屯、洮南の四洮沿線および公主嶺、長春、吉林、敦化の滿鐵沿線並に吉敦線（品田、野本、熊谷、芦刈）

依然纏らぬ 市長詮衡 第四回委員會

第四回市長詮衡委員會は二十八日午後五時三十分から市役所市長應接間に於て開かれた、從來話題に上つてゐた人々に就て各派の意見を持ち寄り詮衡に取りかゝつたが革新倶樂部で推薦する適任者は中正倶樂部で反對し中正倶樂部で推薦する候補者は革新倶樂部、滿鐵派が贊成しないと云ふ工合で甲論乙駁し又しても議論分れとなり同六時散會したが新人を拉し來らざる以上從來の顏觸れでは全會一致の推薦は頗る困難となつたなほ各派の意見は右の如くでありそれに慰問使派遣となつて中には委員の者も參加して派遣される事になつたので當分委員會開會は見合せとなつた

旅順へ慰問

派遣軍隊ならびに警官慰問の……

慰問方法 非難さる 效果的でない

大連市から慰問使を派遣する事になつた事は既報の通であるが、先發の田中、三宅兩議員および長濱市社會課長の一行は二十九日午前十時赴旅關東軍司令部および步兵三十聯隊の留守隊並に關東廳警務局を訪ひ慰問の意思を傳達した大連市を代表する軍隊並に警官慰問使は二十九日午後九時三十分發列車で北行するが右慰問使は市總託の名義により派遣されるもので口頭を以て慰問の辭を述べる事になつてゐるが緊急市會を開きその決議により感謝狀を認めこれを攜行の上形式的にも整へて慰問した方が市民の總意が判然と表示され效果的ではなかつたかと大連市折角の慰問使派遣に遺憾の聲が起つてゐる

奉天の滿洲商議聯合大會

南支各方面の狀勢 わが領事館の襲擊を圖る 南京の暴行學生團

【南京特電廿八日發】今朝外交部を襲つた學生五百名は同所から日本領事館襲擊の氣勢を示したので衛戍司令部は百二十名の武裝巡警を派し領事館を警戒した學生隊はこのため途中から道を變じ國民政府に押掛け領事館は事なきを得た

【上海特電二十八日發】南支各方面の狀勢は左の如くである

重慶 反日會は十月十日まで二割……

漢口 人心漸く惡化し共產……

陸海軍出動 香港政廳の取締

英軍隊出動 香港警備

荷役苦力罷業

晚酌の盃を傾けつゝ將校の談論に微笑 司令部では絕對に面會せぬ 多門第二師團長

奉天經由歐亞連絡切符發賣

病魔の挑戰に惱む軍醫部 南嶺、寬城子戰の負傷者はいづれも經過良好

吉林軍の砲彈中にダムダム彈を發見

佐藤氏遭難の模樣 日本軍の仇を仕返してやると文字通りになぶり殺し

滿洲事變の戰死者大追悼會 一日芝增上寺で執行

滿鐵から弔慰

南嶺兵營を敗兵襲ふ 二度とも擊退

敗殘兵と我軍交戰 吉林の北方で

滿洲事變寫眞帳

大利丸の傭船契約解除さる

時局安定まで兒童出張敎授

艦載飛行機 愈よ絕望 種子ヶ島附近で

六大學リーグ 立教勝つ 五A對三

早大雪辱 六對二で 對帝大二回戰

反日空氣なほ濃厚 哈市情勢

敗兵匪賊橫行

母シナ儀……

曙の鐘 (64)

倉田潮

河野想多畫

格鬪(四)

あけみはたえ子が洋館の門内に這入つて行つたのを見とゞけると、そこから外塀の方に出て行つた。そこには春木が大勢の屋敷の者を對手に烈しい闘爭を續けてゐた。腕力は人並より強い春木も大勢に一人で、上着は破られ帽子は飛んで、眼のわきから血潮が流れ出してゐる。しかし、春木は負けぬ氣の死力をつくして、大勢の攻撃をさゝえてゐるのだつた。あけみはそれを見ると驚いて走りよりながら、

「みんな、何をするのよ。亂暴はやめて下さいよ」

とこん限りの大聲で叫んだ。あけみの聲を聞くとそこにゐた男達は急に力を失つて爭ひをやめて、すごくと隱れるやうに後にひさつた。

春木は千切れた上着をつけたまゝ、息を切りながらあたりを見廻してゐるのだ。

あけみはさう思ふと、いつそ事件の眞相が發覺して、その結果蔭んあほぎ血をはいて離れて了つた方が幸福だつたと思ひかへすのだつた。

彼女は涙に眼を輝かして、じつと春木を見つめてゐた。

春木は破れた衣を正し、亂れたネクタイをかき合せると、鳥渡あけみに頭をさげて慌しく停留場の方に行きかけた。たえ子の後をしたつて行くのは解り切つてゐる。あけみは白い齒を見せて狡猾に笑つたが、半町ばかりも行き過ぎた後から、

「春木さん。鳥渡待つて」

と、何事か思ひついたやうに呼び止めた。春木は振りかへつたが歩み戻つては來なかつた。あの日再び顔を見せないと云つたあけみが、何處へも行かずに家にゐたと云ふことが其の時ふと彼の心に思ひ出されたが、そんなことを考へてゐる餘裕のないほど、彼の心はたえ子の爲に搔き亂されてゐるのだつた。果して無事に逃げることが出來たらうか。逃げら……

したが、

「たえ子さんは、何處へ行きましたか」

さあけみにたづねた。あけみのそこにゐることなぞ氣もつかない様子だつた。あけみは口惜しげにきつと春木を見返したが、直其の表情をかくしてわざとなれくしく、

「お冬と今停留場の方へ逃げて行きましたわ」と答へた「もう大丈夫よ」

「さうですか、いろく何うも」

と其の時初めて春木はあけみに禮を云つた。

あけみは半ば憐れむやうに、半ば恨めしげに春木を見つめた。先頃は今少しで彼女のものになりさうだつた春木が――西洋人形のやうなマリアと云ふ女に邪魔されなかつたら、おそらく自分の戀人になつてゐただらう春木が――死をさして戀をたつてゐる其の春木が……今はあけみのことなぞ忘れたやうにたえ子の爲に死力をつくして戰つてゐる。おそらく春木はたえ子を救ひ出さうとした一人であるに相違ない。さうだ、今け春木はあけみのことなぞ念頭にもおいてゐないのだ、そして、たえ子の爲なら命までもすてゝ悔ひないと思つて……

滿日臨時碁戰

梅毒根治法 コロイゲン

斷然効く 定評ある

千古不變 水銀劑の威力

專賣特許

中村醫學博士發見
岡本醫學博士推奬
山田醫學博士推奬
橋醫學博士推奬
川村醫學士推奬
森崎醫學士推奬
他數十名各地大家推奬

絕對的眞價 水銀劑の威力

最古の歴史 最新の學理 最上の効力

リウマチス 神經痛

ふしぶしの關節と筋肉が治つてテニス競技へ

永年苦しむ

初秋――大いに食慾は增進す

料理に手腕を振ふ時節は今!

然も手間も無用、經費も不用

お手傳ひは味の素が一手引受

味の素

(登錄商標)

宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店

クスリとお化粧品は

電六六〇六 小寺藥局へ

但馬町西広場上ル

建築設計・監督 構造計算・鑑定

大連市連鎖商店街広小路

宗像建築事務所

工學士 宗像主一

電話二二五五・二二六六番

氣の利いた家具と裝飾は

カーテン・敷物 ブラインド・リノリーム 壁紙・其他 商店陳列設計

大連伊勢町銀行向

滿蒙工業所

電話七九六八番・振替大連三一〇九番